

科目名	JAZZ FUNK1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺裕子 永嶋 英佳 久次亜希子 福丸朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZ FUNKダンス 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzFunkダンスの内容。JAZZFunkで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に着けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	ストレッチの強化	次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	アイソレーションを中心に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	フロアでセクシーに表現。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	フォーメーションで踊る①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	フォーメーションで踊る②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	フリーでのダンス強化	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	セクシーな振り付けで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	胸部と腰をしっかり使う。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	魅せ方、表現の練習	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZ FUNK2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺裕子 永嶋 英佳 久次亜希子 福丸朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZ FUNKダンス 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzFunkダンスの内容。JAZZFunkで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	アイソレーション(胸)	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	アイソレーション(肩)	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	アイソレーション(首)	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	フロアでセクシーに表現①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	フロアでセクシーに表現②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	フォーメーションで踊る①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	フォーメーションで踊る②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	胸部と腰をしっかり使う。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	セクシーな振り付けで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	フリーでのダンス強化①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	フリーでのダンス強化②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZA-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺祐子 久次亜希子 福丸朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ピルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ デベロッパ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。パットマンからピケシェネ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。半シェネーピルエット	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを少人数で鏡無しで踊れる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZA-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺祐子 久次亜希子 福丸朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ピルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ デベロッパ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。パットマンからピケシェネ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。半シェネーピルエット	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを少人数で鏡無しで踊れる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZB-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺祐子 久次亜希子 福丸朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習内容	プロのダンサーになるために必要なことを取得。ストレッチ、基礎トレーニング、応用					
到達目標	もらった振り付けを正確に覚えて表現する。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチの強化	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	アイソレーションを中心に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	プリエなどバレエの基礎	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	振り付けを覚える。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	振り付けを正確に踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	表情もつけて踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	何回踊っても間違えない。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	スローな動きで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	手足がしっかり伸びるようにする。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	感情をこめて踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	少人数に分けて大きく踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	アップテンポのダンス	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	グルーブとアイソレーションを大切に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
14		講義・演習	フォーメーションで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
15		講義・演習	総復習	テストの復習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】		シューズ		

科目名	JAZZB-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺祐子 久次亜希子 福丸朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習内容	プロのダンサーになるために必要なことを取得。ストレッチ、基礎トレーニング、応用					
到達目標	もらった振り付けを正確に覚えて表現する。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチの強化	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	アイソレーションを中心に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	セクシーに歩く練習	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	軽いコンビネーションのクロスフロア	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	腰をしっかり動かせるように	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	可愛い歩き方	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	笑顔で歩く	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	アイドルらしい振り付け	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	表情を大切に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	フリーでのダンス強化	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	セクシーな振り付けで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	胸部と腰をしっかり使う。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	フロアでセクシーに。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
14		講義・演習	フォーメーションで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
15		講義・演習	総復習	テストの復習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】		シューズ		

科目名	JAZZC-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺祐子 久次亜希子 福丸朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャズダンス基礎の確認、徹底 ・ダンスを通して表現の実践 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①正しい姿勢を理解し、実践できる。 ②基礎の大切さを理解している。 ③振りを覚え、曲の意味に沿って表現しながら踊ることが出来る。 					
評価方法と 基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの説明、ピルコット・コンビネーション	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	ウォームアップの解説 ①姿勢・コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	ウォームアップの解説 ②パラレルの重要性・コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	ウォームアップの解説 ③ルルベ・コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	プリエの説明、実践	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	タンデュ・デガジェの説明	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	体重移動 タンデュ→タンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	片足になる パッセ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	体重移動 タンデュ→パッセ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	ロンデジャンプ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	ロンデジャンプ→ピケ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	ピルエットダブルを安定させる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	前週の復習。次週に向けての自主練習。
14				前週の復習。次週に向けての自主練習。
15				テストの復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZC-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺祐子 久次亜希子 福丸朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①テクニックの向上 ②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。 					
評価方法と 基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振りうつしが出来る	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	フロアでセクシーに。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
14		講義・演習	フォーメーションで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
15		講義・演習	総復習	テストの復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 時々ゴムやボールを使用				

科目名	バレエA-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知 子 吉村真弓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 屋間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ歴18年/23年/23年/26年/36年					
授業の学習 内容	バーを使つての基礎練習、バーレッスンとセンターレッスン。					
到達目標	バレエの基礎練習を通して、ダンス全般に通じ、役立つ、強い体幹、美しい姿勢、身体のポジションを手に入れる。基本的な動きを反復練習することで、飽きずに継続する力を身につける。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング
2		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
3		講義・演習	足1～5番のポジションでのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
4		講義・演習	足1～5番でのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
5		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
6		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
7		講義・演習	前後のタンジュを確認し、そのポジションを通してロンドゥジャンプする練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
8		講義・演習	バーを使つて、スス、パッセの作り方を学ぶ。スス、パッセでバランスをとる。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
9		講義・演習	バーを使つて、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
10		講義・演習	バーを使つて、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
11		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
12		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
13		講義・演習	試験課題振付	復習
14		講義・演習	試験	実施
15		講義・演習	試験の反省と復習。	復習・課題出し
準備学習 時間外学習		クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエA-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知 子 吉村真弓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 屋間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ歴18年/23年/23年/26年/36年					
授業の学習 内容	バーを使つての基礎練習、バーレッスンとセンターレッスン。					
到達目標	バレエの基礎練習を通して、ダンス全般に通じ、役立つ、強い体幹、美しい姿勢、身体のポジションを手に入れる。基本的な動きを反復練習することで、飽きずに継続する力を身につける。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング
2		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
3		講義・演習	足1～5番のポジションでのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
4		講義・演習	足1～5番でのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
5		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
6		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
7		講義・演習	前後のタンジュを確認し、そのポジションを通過してロンドゥジャンプする練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
8		講義・演習	バーを使って、スス、パッセの作り方を学ぶ。スス、パッセでバランスをとる。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
9		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
10		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
11		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
12		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
13		講義・演習	試験課題振付	復習
14		講義・演習	試験	実施
15		講義・演習	試験の反省と復習。	復習・課題出し
準備学習 時間外学習		クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエB-1		必修 選択	選択	年次	1	担当教員 下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知子 吉村真弓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ歴18年/23年/23年/26年/36年						
授業の学習内容	エクササイズ、コンビネーション、クールダウン 全て呼吸を使って身体を動かし踊るための身体を作る。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸と連動して動けるようになる。 ・筋力と柔軟性を上げる。 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義・演習	呼吸を意識する	授業前のストレッチと筋力トレーニング			
2		講義・演習	身体のアライメントを理解する	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習			
3		講義・演習	エクササイズ1つ1つ、どこを使うかを考えて動かす。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
4		講義・演習	筋感覚だけに集中(形に捉われない)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
5		講義・演習	筋力と柔軟性を同時に意識する。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
6		講義・演習	座位、ストレッチ(股関節周り意識)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
7		講義・演習	体幹トレーニング(呼吸を伴う筋トレの中で)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
8		講義・演習	アイソレーション(流されず部分部分を丁寧に)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
9		講義・演習	ジャンプ足上げ(効果的に行えるようにする)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
10		講義・演習	ターン(重心と軸を探る)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習			
11		講義・演習	総括(エクササイズも振りも全て呼吸)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
12		講義・演習	試験(見られている意識の中で発揮できる)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
13		講義・演習	今までの稽古の留意点を全て意識する。	復習			
14		講義・演習	試験	実施			
15		講義・演習	今までの稽古の留意点を全て意識する。	復習・課題出し			
準備学習 時間外学習		クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	バレエB-2		必修 選択	選択	年次	1	担当教員 下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知子 吉村真弓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ歴18年/23年/23年/26年/36年						
授業の学習内 容	ストレッチ、パー、センター 常に呼吸を意識し、体重を感じるようにする。						
到達目標	バレエを通して、重心と軸を感じられるようになり、他のダンスにも応用できるようにする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義・演習	呼吸を意識しストレッチから	授業前のストレッチと筋カトレーニング			
2		講義・演習	アライメントを理解し、立ち方を学ぶ。	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習			
3		講義・演習	プリエ(関節を固めない)	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
4		講義・演習	プリエタンデュ(体重を感じることで重心を知る)	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
5		講義・演習	体重移動を身につける。	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
6		講義・演習	正しいターンアウト	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
7		講義・演習	ストレッチ、パー、センターの流れを学ぶ	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
8		講義・演習	方向(8つの方向)を学ぶ。	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
9		講義・演習	ポールドブラ(基本のアームズ)	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
10		講義・演習	エポールマン	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習			
11		講義・演習	エポールマン②	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
12		講義・演習	身体を総括的に意識し動かせるように。	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
13		講義・演習	今までの稽古の留意点を全て意識する。	復習			
14		講義・演習	試験	実施			
15		講義・演習	今までの稽古の留意点を全て意識する。	復習・課題出し			
準備学習 時間外学習		クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	バレエC-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知子 吉村真弓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ歴18年/23年/23年/26年/36年					
授業の学習内 容	・クラシックバレエの技術を身につける。 ・舞台人としての礼儀を学ぶ。					
到達目標	・プロとしてステージに通用するスキルを身につける。 ・オープンクラスの中級レベルが通用する技術・レベル。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング
2		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
3		講義・演習	足1～5番のポジションでのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
4		講義・演習	足1～5番でのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
5		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
6		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
7		講義・演習	前横後ろのタンジュを確認し、そのポジションを通過してロンドウジャンプする練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
8		講義・演習	バーを使って、スス、パッセの作り方を学ぶ。スス、パッセでバランスをとる。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
9		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
10		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
11		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
12		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
13		講義・演習	試験課題振付	復習
14		講義・演習	試験	実施
15		講義・演習	試験の反省と復習。	復習・課題出し
準備学習 時間外学習		クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエC-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知子 吉村真弓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ歴18年/23年/23年/26年/36年					
授業の学習内 容	・クラシックバレエの技術を身につける。 ・舞台人としての礼儀を学ぶ。					
到達目標	・プロとしてステージに通用するスキルを身につける。 ・オープンクラスの中級レベルが通用する技術・レベル。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング
2		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
3		講義・演習	足1～5番のポジションでのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
4		講義・演習	足1～5番でのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
5		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
6		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
7		講義・演習	前横後ろのタンジュを確認し、そのポジションを通してロンドゥジャンプする練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
8		講義・演習	バーを使って、スス、パッセの作り方を学ぶ。スス、パッセでバランスをとる。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
9		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
10		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
11		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
12		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
13		講義・演習	試験課題振付	復習
14		講義・演習	試験	実施
15		講義・演習	試験の反省と復習。	復習・課題出し
準備学習 時間外学習			クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP A-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	基礎となる身体の使い方や体力作りとステップ、表現トレーニング					
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		試験・演習	試験	各自授業内容を復習
14		試験・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		試験・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP A-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	基礎となる身体の使い方や体力作りとステップ、表現トレーニング					
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		試験・演習	試験	各自授業内容を復習
14		試験・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		試験・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP B-1		必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習内容	①Hip Hopのカルチャーの基本がオールドスクールにあるので、まずそのリズムの動きを知ることが大切。 ②全てのストリートダンスに繋がる原点。 ③社会人として常識のある人になって欲しい。そこからダンス界に羽ばたいて欲しい。						
到達目標	①1年生の間に基本的な身体作り、リズムコントロールが出来るようにする ②基礎トレーニングの実施。自宅でも出来るトレーニングのレクチャー ③聞く曲が偏らないよう色々なジャンルを聞けるようになる。またレッスンでも使用する。 ④言葉使いの徹底、挨拶						
評価方法と基準	実技テストによる採点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習			
2		演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習			
3		演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習			
4		演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習			
5		演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習			
6		演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習			
7		演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習			
8		演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習			
9		演習	模擬バトル	各自授業内容を復習			
10		演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習			
11		演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習			
12		演習	プレ試験	各自授業内容を復習			
13		演習	試験	各自授業内容を復習			
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出			
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出			
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。				
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	HIPHOP B-2		必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習内容	①Hip Hopのカルチャーの基本がオールドスクールにあるので、まずそのリズムの動きを知ることが大切。 ②全てのストリートダンスに繋がる原点。 ③社会人として常識のある人になって欲しい。そこからダンス界に羽ばたいて欲しい。						
到達目標	①1年生の間に基本的な身体作り、リズムコントロールが出来るようにする ②基礎トレーニングの実施。自宅でも出来るトレーニングのレクチャー ③聞く曲が偏らないよう色々なジャンルを聞けるようになる。またレッスンでも使用する。 ④言葉使いの徹底、挨拶						
評価方法と基準	実技テストによる採点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	HIPHOP基礎		各自授業内容を復習		
2		演習	HIPHOP応用(ステップの変化)		各自授業内容を復習		
3		演習	HIPHOP応用(リズムの変化)		各自授業内容を復習		
4		演習	フリーで踊ろう		各自授業内容を復習		
5		演習	ゲーム形式で踊ろう		各自授業内容を復習		
6		演習	オリジナルムーブを作ろう		各自授業内容を復習		
7		演習	ここまでのまとめ		各自授業内容を復習		
8		演習	HIPHOP基礎～応用		各自授業内容を復習		
9		演習	模擬バトル		各自授業内容を復習		
10		演習	試験の課題を提示		各自授業内容を復習		
11		演習	試験に向けての指導		各自授業内容を復習		
12		演習	プレ試験		各自授業内容を復習		
13		演習	試験		各自授業内容を復習		
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。				
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	HIPHOP C-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の向上。 ・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養う。 ・ストレッチ→基礎→振付(基本的な授業の流れ。) 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・振付を自分の踊りに変換して、踊ることができる。 ・素早く振付を覚える。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP C-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の向上。 ・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養う。 ・ストレッチ→基礎→振付(基本的な授業の流れ。) 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・振付を自分の踊りに変換して、踊ることができる。 ・素早く振付を覚える。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP D-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の向上。 ・リズム感の向上と細やかな表現力向上 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・表現力を身につける。 ・素早く振付を覚える。 ・フリーに対応できるようになる。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP D-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の向上。 ・リズム感の向上と細やかな表現力向上 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・表現力を身につける。 ・素早く振付を覚える。 ・フリーに対応できるようになる。 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Freestyle A-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎浩太郎 木本雄
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年/12年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	修学旅行	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時により複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	Freestyle A-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎浩太郎 木本雄
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年/12年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	修学旅行	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時に複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義・演習	後期試験	後期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ	理解できていないこと、質問等をまとめて
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	Freestyle B-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎浩太郎 木本雄
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年/12年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	修学旅行	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時により複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	Freestyle B-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎浩太郎 木本雄
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年/12年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	修学旅行	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時により複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義・演習	後期試験	後期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	コンテンポラリー1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー 経験年数30年						
授業の学習 内容	体の中心(軸)と体幹の筋肉を理解してアカデミックな動きに繋げる。 (ダンスで大事なものは正しい姿勢を理解すればケガの防止になります。)						
到達目標	体幹軸を習得する事で、アカデミックな動きに対応出来、正しい骨と筋肉の使い方を理解できる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	PART2ストレッチ、ムーブメント①、フロアーテクニク・ジャンプ①	ストレッチ等
2		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント②、フロアーテクニク・ジャンプ②	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
3		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント③、フロアーテクニク・ジャンプ③	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
4		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント④、フロアーテクニク・ジャンプ④	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
5		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑤、フロアーテクニク・ジャンプ⑤	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
6		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑥、フロアーテクニク・ジャンプ⑥	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
7		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑦、フロアーテクニク・ジャンプ⑦	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
8		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑧、フロアーテクニク・ジャンプ⑧	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
9		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑨、フロアーテクニク・ジャンプ⑨	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
10		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑩、フロアーテクニク・ジャンプ⑩	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
11		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑪、フロアーテクニク・ジャンプ⑪	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
12		講義・演習	成長のプロセス講義(日程変更)	筆記用具持参
13		講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンテンポラリー2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー 経験年数30年						
授業の学習 内容	コンテンポラリーダンスの基礎(ポジション、ダンスクラシック)の理解。姿勢、筋肉の使い方を学ぶ。 (コンテンポラリーダンスは、高い柔軟性と強い体幹が大切です。言い換えると、どんな動きやダンスにも通用する身体が必要という事になります。最初は、ポジション、ムーブメントなど分からない事ばかりですが、継続することでダンサーの身体になっていきます。)						
到達目標	初歩的な身体構造の理解。正しい姿勢、筋肉の使い方、動き方の習得。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	PART1ストレッチ、ムーブメント①、フロアテクニック・ジャンプ①	ストレッチ等
2		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント②、フロアテクニック・ジャンプ②	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
3		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント③、フロアテクニック・ジャンプ③	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
4		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント④、フロアテクニック・ジャンプ④	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
5		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑤、フロアテクニック・ジャンプ⑤	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
6		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑥、フロアテクニック・ジャンプ⑥	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
7		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑦、フロアテクニック・ジャンプ⑦	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
8		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑧、フロアテクニック・ジャンプ⑧	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
9		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑨、フロアテクニック・ジャンプ⑨	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
10		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑩、フロアテクニック・ジャンプ⑩	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
11		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑪、フロアテクニック・ジャンプ⑪	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
12		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑫、フロアテクニック・ジャンプ⑫	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
13		講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークA-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習 内容	クラシックバレエを基礎としたアイソレーションを繰り返し行い、基礎を身につける。 身体の柔軟性を上げるためのストレッチ。 ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上のためのクロスフロア。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、しっかりとしたダンス能力を身につける。 プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	身体の使い方を学ぶ	授業内容を自主練習
3		講義・演習	アームスの正しいポジションを学ぶ	授業内容を自主練習
4		講義・演習	ストレッチのやり方を学ぶ	授業内容を自主練習
5		講義・演習	バレエポジションを覚える	授業内容を自主練習
6		講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ	授業内容を自主練習
7		講義・演習	様々なターンの説明	授業内容を自主練習
8		講義・演習	ターンをきれいに回る	授業内容を自主練習
9		講義・演習	様々なジャンプの説明	授業内容を自主練習
10		講義・演習	ジャンプを正しく飛ぶ	授業内容を自主練習
11		講義・演習	ターンとジャンプの組み合わせ	授業内容を自主練習
12		講義・演習	クロスフロアを行う	授業内容を自主練習
13		講義・演習	今までの授業内容のテストを行う	授業内容を自主練習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークA-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習 内容	前期で行ったテクニックの練習を引き続き行う。 振りうつしをカウントで行い、振り覚えのスピードを上げる練習後、 音楽に合わせて踊る。						
到達目標	リズムをしっかりと感じ、個性豊かな創造性を身につける。 プロの世界でも通用するようなダンススキルを習得できることを 目的とする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	苦手なテクニックを自覚し練習	授業内容を自主練習
3		講義・演習	ターン、ジャンプなど確認	授業内容を自主練習
4		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
5		講義・演習	振りの中でのテクニックの応用	授業内容を自主練習
6		講義・演習	振りの中での表現力の向上	授業内容を自主練習
7		講義・演習	振り覚えのスピードを上げる	授業内容を自主練習
8		講義・演習	振りの中での表情をつける	授業内容を自主練習
9		講義・演習	より高度な振りを覚える	授業内容を自主練習
10		講義・演習	舞台などでの魅せ方	授業内容を自主練習
11		講義・演習	テクニックの向上練習	授業内容を自主練習
12		講義・演習	集中力の作り方	授業内容を自主練習
13		講義・演習	オーディションでのメンタル	授業内容を自主練習
14		講義・演習	長めの振りでテスト	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習			常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークB-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習 内容	クラシックバレエを基礎としたアイソレーションを繰り返し行い、基礎を身につける。 身体の柔軟性を上げるためのストレッチ。 ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上のためのクロスフロア。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、しっかりとしたダンス能力を身につける。 プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	身体の使い方を学ぶ	授業内容を自主練習
3		講義・演習	アームスの正しいポジションを学ぶ	授業内容を自主練習
4		講義・演習	ストレッチのやり方を学ぶ	授業内容を自主練習
5		講義・演習	バレエポジションを覚える	授業内容を自主練習
6		講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ	授業内容を自主練習
7		講義・演習	様々なターンの説明	授業内容を自主練習
8		講義・演習	ターンをきれいに回る	授業内容を自主練習
9		講義・演習	様々なジャンプの説明	授業内容を自主練習
10		講義・演習	ジャンプを正しく飛ぶ	授業内容を自主練習
11		講義・演習	ターンとジャンプの組み合わせ	授業内容を自主練習
12		講義・演習	クロスフロアを行う	授業内容を自主練習
13		講義・演習	今までの授業内容のテストを行う	授業内容を自主練習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークB-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習 内容	前期で行ったテクニックの練習を引き続き行う。 振りうつしをカウントで行い、振り覚えのスピードを上げる練習後、 音楽に合わせて踊る。						
到達目標	リズムをしっかりと感じ、個性豊かな創造性を身につける。 プロの世界でも通用するようなダンススキルを習得できることを 目的とする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	苦手なテクニックを自覚し練習	授業内容を自主練習
3		講義・演習	ターン、ジャンプなど確認	授業内容を自主練習
4		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
5		講義・演習	振りの中でのテクニックの応用	授業内容を自主練習
6		講義・演習	振りの中での表現力の向上	授業内容を自主練習
7		講義・演習	振り覚えのスピードを上げる	授業内容を自主練習
8		講義・演習	振りの中での表情をつける	授業内容を自主練習
9		講義・演習	より高度な振りを覚える	授業内容を自主練習
10		講義・演習	舞台などでの魅せ方	授業内容を自主練習
11		講義・演習	テクニックの向上練習	授業内容を自主練習
12		講義・演習	集中力の作り方	授業内容を自主練習
13		講義・演習	オーディションでのメンタル	授業内容を自主練習
14		講義・演習	長めの振りでテスト	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークC-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習 内容	クラシックバレエを基礎としたアイソレーションを繰り返し行い、基礎を身につける。 身体の柔軟性を上げるためのストレッチ。 ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上のためのクロスフロア。 振り付けを行いカウントで覚えて、その後音楽で踊る。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、しっかりとしたダンス能力を身につける。 プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。 オーディション合格に向けて振り覚えのスピードを上げる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	覚えた振りで表現の練習	授業内容を自主練習
3		講義・演習	振りの正しいポジションを確認	授業内容を自主練習
4		講義・演習	新しい振り付けを覚える	授業内容を自主練習
5		講義・演習	それぞれの個性をいかして踊る	授業内容を自主練習
6		講義・演習	それぞれの苦手な所を練習	授業内容を自主練習
7		講義・演習	様々なパターンの振りを覚える	授業内容を自主練習
8		講義・演習	振りで全体的に緩急をつける	授業内容を自主練習
9		講義・演習	振りの中でのテクニックを確認	授業内容を自主練習
10		講義・演習	新たな振り付けを覚える	授業内容を自主練習
11		講義・演習	ターンとジャンプのクオリティー強化	授業内容を自主練習
12		講義・演習	自分にしかできない表現力を考える	授業内容を自主練習
13		講義・演習	新しい振りでテストを行う	授業内容を自主練習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークC-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習 内容	前期で行ったテクニックの練習を引き続き行う。 振りうつしをカウントで行い、振り覚えのスピードを上げる練習後、 音楽に合わせて踊る。						
到達目標	リズムをしっかりと感じ、個性豊かな創造性を身につける。 プロの世界でも通用するようなダンススキルを習得できることを 目的とする。オーディション合格を目標とする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	苦手なテクニックを自覚し練習	授業内容を自主練習
2		講義・演習	ターン、ジャンプなど確認	授業内容を自主練習
3		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
4		講義・演習	振りの中でのテクニックの応用	授業内容を自主練習
5		講義・演習	振りの中での表現力の向上	授業内容を自主練習
6		講義・演習	振り覚えのスピードを上げる	授業内容を自主練習
7		講義・演習	振りの中での表情をつける	授業内容を自主練習
8		講義・演習	より高度な振りを覚える	授業内容を自主練習
9		講義・演習	オーディションなどでの魅せ方	授業内容を自主練習
10		講義・演習	テクニックの向上練習	授業内容を自主練習
11		講義・演習	集中力の作り方	授業内容を自主練習
12		講義・演習	オーディションでのメンタル	授業内容を自主練習
13		講義・演習	長めの振りでテスト	授業内容を自主練習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ヴォーカルダンス1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩崎 浩 太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年					
授業の学習 内容	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ					
到達目標	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを実践できる					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
15		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ヴォーカルダンス2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩崎 浩 太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年					
授業の学習 内容	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ					
到達目標	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを実践できる					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3		演習	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4		演習	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
15		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	TAP1		必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小勝久生
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンス教授50年							
授業の学習内容	舞台で活躍することを目標とする者にとって必要不可欠であるタップダンス。 近年特に人気のミュージカルでも、テーマパークでも取り入れられるため基礎をしっかり取得する。 授業を踏まえ、リズム感も養う。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッフル、スラップ、スタンプ等基礎ステップの取得 ・イーブン、スウィングのシムシャムを覚える。 ・タイムステップ、ローダウンを覚える 							
評価方法と基準	実技テストによる採点							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール、ヒール使い分け ・シャッフル、スラップ取得 ・タイムステップ、シムシャム取得 			次週に向けての自主練習。		
2		講義・演習				前週の復習。次週に向けての自主練習。		
3		講義・演習				前週の復習。次週に向けての自主練習。		
4		講義・演習				前週の復習。次週に向けての自主練習。		
5		講義・演習	クランプロールを用いてターンステップの練習			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
6		講義・演習				前週の復習。次週に向けての自主練習。		
7		講義・演習	イーブンタイムステップ			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
8		講義・演習	ローダウン①			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
9		講義・演習	ローダウン②			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
10		講義・演習	ローダウン③			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
11		講義・演習	ローダウン④			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
12		講義・演習	ローダウン全体をつなげる。			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
13		講義・演習	プルバックの練習			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
14		講義・演習	テスト課題			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
15		講義・演習	テスト			前期の復習		
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	TAP2		必修 選択	選択	年次	1	担当教員:小勝久生
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	TAPダンサー・映画「座頭市」50年						
授業の学習内容	舞台で活躍することを目標とする者にとって必要不可欠であるタップダンス。 近年特に人気のミュージカルでも、テーマパークでも取り入れられるため基礎をしっかり取得する。 授業を踏まえ、リズム感も養う。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッフル、スラップ、スタンプ等基礎ステップの取得 ・イーブン、スウィングのシムシャムを覚える。 ・タイムステップ、ローダウンを覚える 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール、ヒール使い分け ・シャッフル、スラップ取得 ・タイムステップ、シムシャム取得 	次週に向けての自主練習。			
2		講義・演習		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
3		講義・演習		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
4		講義・演習		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
5		講義・演習	クランプロールを用いて ターンステップの練習	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
6		講義・演習		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
7		講義・演習	イーブンタイムステップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
8		講義・演習	ローダウン①	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
9		講義・演習	ローダウン②	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
10		講義・演習	ローダウン③	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
11		講義・演習	ローダウン④	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
12		講義・演習	ローダウン全体をつなげる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
13		講義・演習	プルバックの練習	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
14		講義・演習	テスト課題	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
15		講義・演習	テスト	後期の復習			
準備学習		時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	ヴォイストレーニングA-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングA-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングB-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングB-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングC-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングC-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングD-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。						
授業の学習 内容	体感・腹筋・姿勢・呼吸法・発声・滑舌などの基礎レッスン。課題曲の歌唱及びレクチャー。 個々の理想を大切にしながら、目標に則した歌唱レッスンを行う。 発声・音程・リズム・表現・歌唱テクニック、あらゆる角度からレクチャーを行う。						
到達目標	「歌う声」とは何か？を理解しながらボーカルの大切な基礎を反復練習し、自分のスキルとして扱えるようになる。 じっくりレクチャーして「歌える声と体」を作って行き、同時に声優アーティストとしての心の育成にも努めることで、 「趣味としての歌」から「仕事としての歌」へシフトできるように技術と精神を身につけることができるようになる。 学んだ事を授業以外でも自身で反復練習を実施できるようにする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、課題曲ディスカッション、ボイトレ基礎	決まった課題曲の歌詞の準備歌唱ができるように練習
2		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
7		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
8		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
9		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
10		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
11		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
12		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
13		講義・演習	歌唱テスト 発声・音程・リズム・表現	後期に向けた、歌唱への課題を見つける
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲は最初の授業でディスカッション選曲します。次週その曲の歌詞を各自2部プリントアウトして持参。 服装は稽古着もしくは動きやすい服(体幹トレーニング等の為)。持ち物は筆記用具とペットボトル等の水(水分補給の為)。				

科目名	ヴォイストレーニングD-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。						
授業の学習 内容	体感・腹筋・姿勢・呼吸法・発声・滑舌などの基礎レッスン。課題曲の歌唱及びレクチャー。 個々の理想を大切にしながら、目標に則した歌唱レッスンを行う。 発声・音程・リズム・表現・歌唱テクニック、あらゆる角度からレクチャーを行う。						
到達目標	「歌う声」とは何か？を理解しながらボーカルの大切な基礎を反復練習し、自分のスキルとして扱えるようになる。 じっくりレクチャーして「歌える声と体」を作って行き、同時に声優アーティストとしての心の育成にも努めることで、 「趣味としての歌」から「仕事としての歌」へシフトできるように技術と精神を身につけることができるようになる。 学んだ事を授業以外でも自身で反復練習を実施できるようにする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、課題曲ディスカッション、ボイトレ基礎	決まった課題曲の歌詞の準備歌唱ができるように練習
2		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
7		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
8		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
9		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
10		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
11		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
12		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
13		講義・演習	歌唱テスト 発声・音程・リズム・表現	来年に向けた、歌唱への課題を見つける
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲は最初の授業でディスカッション選曲します。次週その曲の歌詞を各自2部プリントアウトして持参。 服装は稽古着もしくは動きやすい服(体幹トレーニング等の為)。持ち物は筆記用具とペットボトル等の水(水分補給の為)。				

科目名	ヴォイストレーニングE-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	元劇団四季俳優であり、「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。						
授業の学習 内容	ミュージカル俳優としての、体感・腹筋・姿勢・呼吸法・発声・滑舌などの基礎レッスン。課題曲の歌唱及びレクチャー。 個々の理想を大切にしながら、目標に則した歌唱レッスンを行う。 発声・音程・リズム・表現・歌唱テクニック、あらゆる角度からレクチャーを行う。						
到達目標	「歌う声」とは何か？を理解しながら、ミュージカル歌唱の大切な基礎を反復練習し、自分のスキルとして扱えるようになる。 じっくりレクチャーして「歌える声と体」を作って行き、同時にミュージカル俳優としての心の育成にも努めることで、「趣味としての歌」から「仕事としての歌」へシフトできるように技術と精神を身につけられるようになる。 学んだ事を、授業以外でも反復練習を実施できるようにする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、課題曲ディスカッション、ボイトレ基礎	決まった課題曲の歌詞の準備歌唱ができるように練習
2		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
7		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
8		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
9		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
10		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
11		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
12		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
13		講義・演習	歌唱テスト 発声・音程・リズム・表現	後期に向けた、歌唱への課題を見つける
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲は最初の授業でディスカッション選曲します。次週その曲の歌詞を各自2部プリントアウトして持参。 服装は稽古着もしくは動きやすい服(体幹トレーニング等の為)。持ち物は筆記用具とペットボトル等の水(水分補給の為)。				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	ヴォイストレーニングE-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	元劇団四季俳優であり、「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。						
授業の学習 内容	ミュージカル俳優としての、体感・腹筋・姿勢・呼吸法・発声・滑舌などの基礎レッスン。課題曲の歌唱及びレクチャー。 個々の理想を大切にしながら、目標に則した歌唱レッスンを行う。 発声・音程・リズム・表現・歌唱テクニック、あらゆる角度からレクチャーを行う。						
到達目標	「歌う声」とは何か？を理解しながら、ミュージカル歌唱の大切な基礎を反復練習し、自分のスキルとして扱えるようになる。 じっくりレクチャーして「歌える声と体」を作って行き、同時にミュージカル俳優としての心の育成にも努めることで、「趣味としての歌」から「仕事としての歌」へシフトできるように技術と精神を身につけられるようになる。 学んだ事を、授業以外でも反復練習を実施できるようにする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、課題曲ディスカッション、ボイトレ基礎	決まった課題曲の歌詞の準備歌唱ができるように練習
2		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
7		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
8		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
9		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
10		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
11		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
12		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
13		講義・演習	歌唱テスト 発声・音程・リズム・表現	来年に向けた、歌唱への課題を見つける
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲は最初の授業でディスカッション選曲します。次週その曲の歌詞を各自2部プリントアウトして持参。 服装は稽古着もしくは動きやすい服(体幹トレーニング等の為)。持ち物は筆記用具とペットボトル等の水(水分補給の為)。				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	Heels 1		必修 選択	選択	年次	1	担当教員 関根 彩乃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴							
授業の学習内容	自分と向き合い、短所と長所を知り個性を伸ばす。						
到達目標	Heels を履きながらバランスがとれた身体作りと表現力						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	ストレッチへの理解①		次週に向けての自主練習。		
2		講義・演習	ストレッチへの理解② 応用		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
3		講義・演習	筋力トレーニングへの理解①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
4		講義・演習	筋力トレーニングへの理解② 応用		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
5		講義・演習	振り付けの中で基礎を活かす①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
6		講義・演習	振り付けの中で基礎を活かす② 応用		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
7		講義・演習	表情をつけて表現する①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
8		講義・演習	表情をつけて表現する② 応用		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
9		講義・演習	少人数に分け、さらに自分と向き合う。		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
10		講義・演習	テスト対策①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
11		講義・演習	テスト週		次週に向けての自主練習。		
12		講義・演習	テストの反省		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
13		講義・演習	後期に向けて復習		後期に向けて復習		
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	Heels 2		必修 選択	選択	年次	1	担当教員 関根 彩乃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴							
授業の学習内容	対応力、個性などを発揮できるように						
到達目標	Heels を履きながらバランスがとれた身体作りと表現力						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	前期の復習(ストレッチ+α)		次週に向けての自主練習。		
2		講義・演習	前期の復習(筋力トレーニング+α)		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
3		講義・演習	短所と長所への理解①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
4		講義・演習	短所と長所への理解②		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
5		講義・演習	1,2を意識してコンビネーションの中で応用		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
6		講義・演習	個性を磨く①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
7		講義・演習	個性を磨く②		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
8		講義・演習	応用(他のダンサーの良い所を見る)		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
9		講義・演習	振り覚え対策①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
10		講義・演習	振り覚え対策②		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
11		講義・演習	テスト対策①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
12		講義・演習	テスト対策②		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
13		講義・演習	テスト週		復習		
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	クリエイション1(ダンス)		必修 選択	選択	年次	1	担当教員	日置望 喜 西野恭 平
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	40 (4)		
教員の略歴	ダンサー・ヴォーカリスト講師歴18年/7年							
授業の学習内容	他のレッスンで磨いたスキルを活かして、学生どうして作品を作っていく。その際、技術だけでなく団結力、積極性、先見性、習慣性、モラル、コミュニケーション能力、ディレクション受け入れ能力、危機管理能力、問題を解決する能力、時間管理等の能力のスキルアップも求められることに少しずつ気付いていく。クリエイティブかつ、ディレクションの受けられる授業。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・モラルがあり、どんな人ともコミュニケーションの取れる人材を作る。 ・協調性を持って作品を創作できるように積極的な人材育成。 ・ダンサーとしてのスキルアップ&振り付けや作品作りのスキルアップ ・応用力や適応力、ハプニングに強い人材育成。 ・決められたルールや約束をしっかり守れる人材育成。 							
評価方法と基準	実技テストによる採点							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	今後1年間の注意点など、リーダー決め、ユニット作成			筆記用具		
2		講義・演習	チェックのやり方の説明&実践、ユニット作成			筆記用具		
3		講義・演習	6/8,9の学祭に向けてユニット作り、自分達で作品を作り、毎週講師のHIYOがディレクションをし、手直しを行う。			踊れる用意 筆記用具 本番近くには 衣装を用意		
4		講義・演習						
5		講義・演習						
6		講義・演習						
7		講義・演習	夏休み明けまでWe areに動きが無いので、トレーニング、様々なジャンルでの基礎作り、場当たり方法などレッスンする。					
8		講義・演習						
9		講義・演習						
10		講義・演習						
11		講義・演習						
12		講義・演習	ここからWe are作品作りに向けて始動					
13		講義・演習						
14		講義・演習	We areの進行状況によって授業内容は臨機応変に変える場合があります。					
15		講義・演習						
準備学習 時間外学習		作品作り、修正、チーム作り						
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	クリエイション2(ダンス)		必修 選択	選択	年次	1	担当教員 日置望喜 西野恭平
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	40 (4)	
教員の略歴	ダンサー・ヴォーカリスト講師歴18年/7年						
授業の学習内容	他のレッスンで磨いたスキルを活かして、学生どうして作品を作っていく。その際、技術だけでなく団結力、積極性、先見性、習慣性、モラル、コミュニケーション能力、ディレクション受け入れ能力、危機管理能力、問題を解決する能力、時間管理等の能力のスキルアップも求められることに少しずつ気付いていく。クリエイティブかつ、ディレクションの受けられる授業。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・モラルがあり、どんな人ともコミュニケーションの取れる人材を作る。 ・協調性を持って作品を創作できるように積極的な人材育成。 ・ダンサーとしてのスキルアップ&振り付けや作品作りのスキルアップ ・応用力や適応力、ハプニングに強い人材育成。 ・決められたルールや約束をしっかり守れる人材育成。 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	今後1年間の注意点など、リーダー決め、ユニット作成		筆記用具		
2		講義・演習	チェックのやり方の説明&実践、ユニット作成		筆記用具		
3		講義・演習	6/8,9の学祭に向けてユニット作り、自分達で作品を作り、毎週講師のHIYOがディレクションをし、手直しを行う。		踊れる用意 筆記用具 本番近くには衣装を用意		
4		講義・演習					
5		講義・演習					
6		講義・演習					
7		講義・演習	夏休み明けまでWe areに動きが無いので、トレーニング、様々なジャンルでの基礎作り、場当たり方法などレッスンする。				
8		講義・演習					
9		講義・演習					
10		講義・演習					
11		講義・演習					
12		講義・演習	ここからWe are作品作りに向けて始動				
13		講義・演習					
14		講義・演習	We areの進行状況によって授業内容は臨機応変に変える場合があります。				
15		講義・演習					
準備学習 時間外学習			作品作り、修正、チーム作り				
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	アクロバット1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	井上 守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<p>特殊技能であるアクロバットを習得するのが目的。 マットを利用して基礎的なマット運動から始めて徐々に高難度のタンプリング系の技の練習を行う。 アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が望めるので他のダンスや実技 クラスにも活かせる。 具体的に技を習得することの達成感や、難しいことにも繰り返し挑戦する意義を学ぶ。</p>						
到達目標	技の習得やアクロバット技術への理解を深めることにより、表現力の幅を広げる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業内容、注意事項の説明。マット運動の基礎練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	側転の応用、前方転回(ハンドスプリング)を習得する①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	側転の応用、前方転回(ハンドスプリング)を習得する②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	前方転回のバリエーションを習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	前方転回のバリエーションを習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	前方転回、側宙の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	前方転回、側宙の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	前方転回、側宙、バク転の説明と練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	基礎練習、前方転回練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	実技試験。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
15		講義・演習	前期のまとめ、バク転の練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
準備学習 時間外学習		基礎トレーニング、体験トレーニングを随時行う。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクロバット2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	井上 守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<p>特殊技能であるアクロバットを習得するのが目的。 基礎マット運動、タンブリング系に加え、カポエイラやトリッキングなどの動きを取り入れた練習を行う。 アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が望めるので他のダンスや実技 クラスにも活かせる。 具体的に技を習得することの達成感や、難しいことにも繰り返し挑戦する意義を学ぶ。</p>						
到達目標	技の習得やアクロバット技術への理解を深めることにより、表現力の幅を広げる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業内容、注意事項の説明。マット運動の基礎練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	側転の応用、前方転回(ハンドスプリング)を習得する①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	側転の応用、前方転回(ハンドスプリング)を習得する②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	前方転回、側宙、バク転の説明と練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	前方転回、側宙、バク転の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	前方転回、側宙、バク転の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	応用技の練習、バク転の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	応用技の練習、バク転の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	実技試験。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	応用技の練習、バク転の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
15		講義・演習	応用技の練習、バク転の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
準備学習 時間外学習		基礎トレーニング、体験トレーニングを随時行う。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 鄭 壽美
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	K-POPヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。					
到達目標	K-POP音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの基礎と活用方法を習得し実践できるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		演習	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。		
2		演習	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。		
3		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。		
4		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。		
5		演習	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。		
6		演習	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。		
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。		
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。		
9		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。		
10		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。		
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。		
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。		
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。		
14		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成		
15		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成		
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック			
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	K-POP2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鄭 壽美
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	Korean Music ヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリストにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	K-POP音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの基礎と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。			
2		演習	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。			
3		演習	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。			
4		演習	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。			
5		演習	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。			
6		演習	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。			
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。			
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。			
9		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。			
10		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。			
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。			
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。			
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。			
14		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成			
15		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成			
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック				
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	BREAKIN 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石田 創
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	BREAKIN13年 ブレイクダンス日本代表 w-inds.バックダンサー等						
授業の学習 内容	ブレイクダンサーにとって必要な身体作り、フロアムーブを中心に、フットワーク、フリーズ、ムーブメントの知識を取り入れ次実践。必要なメソッドの習得、またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	ブレイクダンスはstreet danceだけではな身体作り・筋肉トレーニングが取り入れられているので幅の広いダンステクニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ブレイクダンスに必要なストレッチ法の習得	各自授業内容を復習
2		演習	基本的なステップムーブの習得・実践	各自授業内容を復習
3		演習	チェアー・スピンの習得・実践	各自授業内容を復習
4		演習	トップロックまでの振付をスムーズに行う	各自授業内容を復習
5		演習	フットワーク・6ステップの実践	各自授業内容を復習
6		演習	バックスピンの実践	各自授業内容を復習
7		演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
8		演習	フリーズの種類を習得・実践	各自授業内容を復習
9		演習	チェアー・エアチェアー・マックス・ジョーダン(片手フリーズ系)	各自授業内容を復習
10		演習	倒立・ラビット・片手ラビット(ステップイン)の実践	各自授業内容を復習
11		演習	マカコ・バク転の実践	各自授業内容を復習
12		演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
13		試験	振付けられた振りといんプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BREAKIN 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石田創
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	BREAKIN13年 ブレイクダンス日本代表 w-inds.バックダンサー等						
授業の学習 内容	ブレイクダンサーにとって必要な身体作り、フロアムーブを中心に、フットワーク、フリーズ、ムーブメントの知識を取り入れ次実践。必要なメソッドの習得、 またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	ブレイクダンスはstreet danceだけではなく身体作り・筋肉トレーニングが取り入れられているので幅の広いダンステクニクを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ブレイクダンスに必要なストレッチ法の習得	各自授業内容を復習
2		演習	基本的なステップムーブの習得・実践	各自授業内容を復習
3		演習	チェアー・スピンの習得・実践	各自授業内容を復習
4		演習	トップロックまでの振付をスムーズに行う	各自授業内容を復習
5		演習	フットワーク・6ステップの実践	各自授業内容を復習
6		演習	バックスピンの実践	各自授業内容を復習
7		演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
8		演習	フリーズの種類を習得・実践	各自授業内容を復習
9		演習	チェアー・エアチェアー・マックス・ジョーダン(片手フリーズ系)	各自授業内容を復習
10		演習	倒立・ラビット・片手ラビット(ステップイン)の実践	各自授業内容を復習
11		演習	マカコ・バク転の実践	各自授業内容を復習
12		演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
13		試験	振付けられた振りといんプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	POP 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西野恭 平
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・ヴォーカリスト歴7年						
授業の学習 内容	ダンサーにとって必要な身体作り、street dance 特にPOPPIN DANCEに必要なメソッドの習得、 またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	Poppinはstreet danceだけではなくjazzやコンテンポラリーにも多く取り入れられているので幅の広いダンステク ニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
		講義・演習	ヒットが実践できる	各自授業内容を復習
2		講義・演習	タイムストップが実践できる	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ハンドウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
4		講義・演習	ボディウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
5		講義・演習	キングコブラが実践できる	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ティックングが実践できる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フローティングが実践できる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ブガルーリズムが実践できる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ブガルーステップが実践できる	各自授業内容を復習
10		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
12		講義・演習	インプロが実践できる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	振付けられた振りとインプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	POP 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西野恭平
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・ヴォーカリスト歴7年						
授業の学習 内容	ダンサーにとって必要な身体作り、street dance 特にPOPPIN DANCEに必要なメソッドの習得、 またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	Poppinはstreet danceだけではなくjazzやコンテンポラリーにも多く取り入れられているので幅の広いダンステク ニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ヒットが実践できる	各自授業内容を復習
2		講義・演習	タイムストップが実践できる	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ハンドウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
4		講義・演習	ボディウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
5		講義・演習	キングコブラが実践できる	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ティックングが実践できる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フローティングが実践できる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ブガルーリズムが実践できる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ブガルーステップが実践できる	各自授業内容を復習
10		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
12		講義・演習	インプロが実践できる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	振付けられた振りとインプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HOUSE1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池田 卓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	世界最高峰のストリートダンスコンテスト「JAPAN DELIGHT」決勝出場。その他バトル、コンテストなど優勝						
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を正しく理解し、HIP HOPなどにも共通するリズムやアームス、ボディコントロールなどを使いこなせるようにする						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・HOUSEのベーシックな動き(体の止め方)を習得すること ・HOUSE特有のスピード感、タメ、止めを体現すること 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎①(ベーシックムーブ)	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE基礎②(ベーシックムーブ応用)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	リズム&アイソレーション	各自授業内容を復習
4		講義・演習	リズム&ベーシックムーブ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	コンビネーション	各自授業内容を復習
6		講義・演習	”遊び”を混ぜる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フロアを混ぜる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	アクロバットを混ぜる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでHOUSEを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HOUSE2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池田 卓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	JAPAN DANCE DELIGHT決勝進出など、全国のバトルやコンテストで優勝など受賞多数						
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を使い、個性的に踊りこなせるように指導をする						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・振付は勿論、フリーでもHOUSEを踊れるようにすること ・様々な曲調に対応したHOUSEができるようになること 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎の復習	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HOUSE応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HOUSE基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	シアターJAZZ1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	谷 さくら 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	テーマパークダンサー・ダンス歴10年/15年						
授業の学習 内容	俳優でも踊りを要求される現場が増えてる今、仕事をして行く上でのカテゴリーの一つとして踊りを踊れる事は重要である。芝居と同じで様々なシチュエーションでの表現を踊りで出来る様に、自分の身体と向き合い必要な集中力や基礎体力を養う。						
到達目標	表現・自己アピールをして行く上で、魅せ方や立ち姿など自分の身体をしっかり観察出来る観察力、想像力、キャッチ力などを意識出来る様になる。 現在の自分より二周りほど広い視野を持ち、身を置ける様になる。 身体の柔軟性、基礎体力を習得し、また、厳しい俳優の世界で続けることのできる精神力も養えるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	2人組でのストレッチ。筋トレ。ターンステップ。音楽に合わせて、振付コンビネーションを覚えて踊る	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
2		講義・演習	2人組でのストレッチ。筋トレ。ターンステップからバランス。音楽に合わせて、振付コンビネーションを覚えて踊る	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
3		講義・演習	2人組でのストレッチ。筋トレ。ターンステップからバランス。音楽に合わせて、振付コンビネーションを覚えて踊る	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
4		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ターンバランス。新しいコンビネーションに入る。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
5		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ターン。コンビネーションを進める。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
6		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。アイソレーション。ターン。コンビネーションを進める。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
7		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ウォーキング。ターン。コンビネーションを見せ合う。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
8		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。前期テスト課題に入る。 テスト内容①ウォーキング②ターン③コンビネーション	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
9		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付コンビネーション① ターンを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
10		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付コンビネーション② ステップを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
11		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付コンビネーション③ 複数の技を組み合わせて踊ることを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	テストの実施 人前で魅せる表現を習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
14		講義・演習	前期のまとめ 後期に向けた課題発表	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			振り入れられたダンスを自主練すること	
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書は使用しない。動きやすい服装、靴で参加。タオル・水分も必ず用意する				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷/東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	シアターJAZZ2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	谷 さくら 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	テーマパークダンサー・ダンス歴10年/15年						
授業の学習 内容	俳優でも踊りを要求される現場が増えてる今、仕事をして行く上でのカテゴリーの一つとして踊りを踊れる事は重要である。芝居と同じで様々なシチュエーションでの表現を踊りで出来る様に、自分の身体と向き合い必要な集中力や基礎体力を養う。						
到達目標	表現・自己アピールをして行く上で、魅せ方や立ち姿など自分の身体をしっかりと観察出来る観察力、想像力、キャッチ力などを意識出来る様になる。 現在の自分より二周りほど広い視野を持ち、身を置ける様になる。 身体の柔軟性、基礎体力を習得できるようになる。 また、厳しい俳優の世界で続けることのできる精神力が身につく。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)①振りの正確な修得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
2		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)②振りの細かなニュアンス	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
3		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)③振りの表現について	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
4		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)④互いに見せ合う	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
5		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ターンバランス。新しいコンビネーションに入る。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
6		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。アイソレーション。ターン。コンビネーションを進める。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
7		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ウォーキング。ターン。コンビネーションを見せ合う。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
8		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。後期テスト課題に入る。 テスト内容①ウォーキング②ターン③コンビネーション	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
9		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付 コンビネーション① ターンを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
10		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付 コンビネーション② ステップを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
11		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付 コンビネーション③ 複数の技を組み合わせて踊ることを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
12		講義・演習	テストの実施 人前で魅せる表現を習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
13		講義・演習	前期のまとめ 2年に向けた課題を各自考え、シェアする	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			振り入れられたダンスを自主練すること	
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書は使用しない。動きやすい服装、靴で参加。タオル・水も必ず用意する				

科目名	パントマイム1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江ノ上 陽 二
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	パントマイム歴35年						
授業の学習 内容	パントマイムとは言語という具象行為を意図的に廃し言葉さえも肉体化する芸術である。それは、日常全ての言語を肉体化すること。そのためには肉体の緊張と弛緩、分解、重心移動、動くスピードのコントロールなどを習得する事が必須である。また、肉体訓練を継続して行い、演技者として人前に立つ為には不可欠な、想いを表現できる身体の獲得を目指す。 同時に、観察を基に無意識な日常行動における身体的動作の認識作業を行い、「動き」に「想い」を込め、独自の魅力的な所作を手に入れる。基本的なテクニックを身につけた上で、「無声」、「何も無い空間」という状況の中で、想像力を駆使し身体だけの表現を体現出来るようにする。						
到達目標	正確なパントマイムテクニックの習得、また自由で型破りな想像力を獲得できるようになる。 身体だけで言葉を使わずに、自分の「想い」を他者に伝えることができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	身体訓練、マイムウォーク、ロボット	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
2		講義・演習	身体訓練、胸のコントラクション、体重移動、表情のスピーディーな変化、マイムウォーク	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
3		講義・演習	身体訓練、胸のコントラクション、体重移動、表情のスピーディーな変化、マイムウォーク	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
4		講義・演習	身体訓練、胸のコントラクション、体重移動、表情のスピーディーな変化、マイムウォーク、ロボット	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
5		講義・演習	身体訓練、体重移動、表情の研究、マイムウォーク、ロボット	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
6		講義・演習	身体訓練、体重移動、表情の研究、マイムウォーク、ロボット	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
7		講義・演習	身体訓練、マイムウォークとロボット組み合わせによる場面の変化の習得	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
8		講義・演習	身体訓練、ストーリーの中のマイムウォーク、ロボットのオリジナル振付	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
9		講義・演習	身体訓練、決められた音楽、時間内でマイムウォークとロボットのテクニックを使った作品創作	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
10		講義・演習	実技テスト	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
11		講義・演習	実技テストでのパフォーマンス再演	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
12		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックの基本	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
13		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックの基本	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書は使用しない。動きやすい服装、ダンススニーカーで出席のこと。				

科目名	パントマイム2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江ノ上 陽 二
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	パントマイム歴35年						
授業の学習 内容	パントマイムとは言語という具象行為を意図的に廃し言葉さえも肉体化する芸術である。それは、日常全ての言語を肉体化すること。そのためには肉体の緊張と弛緩、分解、重心移動、動くスピードのコントロールなどを習得する事が必須である。また、肉体訓練を継続して行き、演技者として人前に立つ為に不可欠な、想いを表現できる身体の獲得を目指す。 同時に、観察を基に無意識な日常行動における身体的動作の認識作業を行い、「動き」に「想い」を込め、独自の魅力的な所作を手に入れる。基本的なテクニックを身につけた上で、「無声」、「何も無い空間」という状況の中で、想像力を駆使し身体だけの表現を体現出来るようにする。						
到達目標	正確なパントマイムテクニックの習得、また自由で型破りな想像力を獲得できるようになる。 身体だけで言葉を使わずに、自分の「想い」を他者に伝えることができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックの応用	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
2		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックの応用	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
3		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックにドアテクニックを追加する	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
4		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックにドアテクニックを追加する	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
5		講義・演習	身体訓練、決められた時間内で壁のテクニックを使用しストーリーを完成させる	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
6		講義・演習	身体訓練、固定点のテクニックの習得	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
7		講義・演習	身体訓練、固定点のテクニックの応用	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
8		講義・演習	身体訓練、決められた時間内にて固定点のテクニックを使用しパフォーマンスを作り上げる	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
9		講義・演習	身体訓練、決められた時間内にて固定点のテクニックを使用しパフォーマンスを作り上げる	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
10		講義・演習	実技試験	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
11		講義・演習	実技試験でのパフォーマンスの再演	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	身体訓練、マイムウォーク、ロボット、壁、ドア、固定点習得したテクニックでパフォーマンス作成	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
15		講義・演習	身体訓練、マイムウォーク、ロボット、壁、ドア、固定点習得したテクニックでパフォーマンス作成	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書は使用しない。動きやすい服装、ダンススニーカーで出席のこと。				

科目名	演劇ワークショップ 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	演習・実 習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	様々に変化する現在の芸能界における俳優としての立ち振る舞いと、必要とされる「演技力」を知る。以上を踏まえ、あらゆる現場でのびのびと表現と演技ができるようになるための基礎力をつける。						
到達目標	演技の基礎である、「自分自身を知ること」「他者の気持ちを慮ること」「自らの『心、声、体』を自在に使いこなすこと」この3つ取っ掛かりを掴めるようになる。 演技に興味を持ち、幅広いジャンルの演技や映画やアニメなどに自主的に触れられるようになる。 身の回りの心動く出来事にワクワクできる柔らかい感性を持てるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	俳優と演技について思考する	
2		講義・演習	実際に演技に触れてみる	
3		講義・演習	実技発表を通して、演技を思考する	授業内の発表に向けた自主稽古
4		講義・演習	演技をブラッシュアップする	授業内の発表に向けた自主稽古
5		講義・演習	台本に触れる	授業内の発表に向けた自主稽古
6		講義・演習	発表を通して役作りと演技を思考する	授業内の発表に向けた自主稽古
7		講義・演習	台本をブラッシュアップする	授業内の発表に向けた自主稽古
8		講義・演習	役作りとは？	授業内の発表に向けた自主稽古
9		講義・演習	心を動かす	授業内の発表に向けた自主稽古
10		講義・演習	他者と演技するということ	授業内の発表に向けた自主稽古
11		講義・演習	ここまででやったことを踏まえた演技発表	授業内の発表に向けた自主稽古
12		講義・演習	演技発表してのフィードバックからの、さらなる研鑽	授業内の発表に向けた自主稽古
13		講義・演習	発表 進級公演(後期)課題の発表と方向性について	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本・ノート・筆記用具				

科目名	演劇ワークショップ 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	演習・実 習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	進級公演課題を通し、自分のキャラクターを知る。 様々に変化する現在の芸能界における俳優としての立ち振る舞いと、必要とされる「演技力」を知る。 以上を踏まえ、あらゆる現場でのびのびと表現と演技ができるようになるための基礎力をつける。						
到達目標	進級公演の課題を通し、「自分自身を知ること」「他者の気持ちを慮ること」「自らの『心、声、体』を自在に使いこなすこと」この3つの取っ掛かりを掴めるようになる。 演技に興味を持ち、幅広いジャンルの演技や映画やアニメなどに自主的に触れられるようになる。 身の回りの心動く出来事にワクワクできる柔らかい感性を持てるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	台本をもらったら	授業内の発表に向けた自主稽古
2		講義・演習	役作りとは？	授業内の発表に向けた自主稽古
3		講義・演習	相手役との芝居とは	授業内の発表に向けた自主稽古
4		講義・演習	全体の流れを掴む	授業内の発表に向けた自主稽古
5		講義・演習	ラストシーンから、自分の役割を思考する	授業内の発表に向けた自主稽古
6		講義・演習	通し稽古から全体像を掴む	授業内の発表に向けた自主稽古
7		講義・演習	抜き稽古で、体に芝居をなじませる	授業内の発表に向けた自主稽古
8		講義・演習	等身大の感情を超える	授業内の発表に向けた自主稽古
9		講義・演習	お客様に魅せる演技とは？	授業内の発表に向けた自主稽古
10		講義・演習	発表に向けての詰め稽古	授業内の発表に向けた自主稽古
11		講義・演習	発表に向けての詰め稽古	授業内の発表に向けた自主稽古
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義	発表を終えてのフィードバック	授業内の発表に向けた自主稽古
15		講義	自分なりの課題をアウトプットすることと、来年に活かすための方法	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本・ノート・筆記用具				

科目名	アクティング基礎1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大谷章 文
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	俳優・演技学校アクターズクリニックにて、演技講師 23年						
授業の学習 内容	自身の感性を扱う「俳優」という職業を、実際に行われているトレーニングを通して追体験することで、自己評価の再確認と、コミュニケーション能力を磨く。本授業はワークショップ形式で、随時自らが体験していく。						
到達目標	演技をする上で必要なコミュニケーションをとり、他者の中で、(自分よりも優先して)相手や環境を感じることができるようになる 想像力を使い、指定された状況・設定の中で自分として存在することができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介ゲーム、あなたわたしゲーム(説明及び体験)、ポーズ回しゲーム(説明及び体験)、名前呼びゲーム(説明及び体験)、名前鬼ゲーム(説明及び体験)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、恥ずかしがらずに存在することができる。
2		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、ポーズ回しゲーム(実践)、リズムしりとリゲーム(説明及び体験)、リズム連想ゲーム(説明及び体験)、名前鬼ゲーム(実践)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、恥ずかしがらずに存在することができる。
3		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、リズムしりとリ、リズム連想ゲーム(実践)、ひとりにならないでゲーム(説明及び体験)、職業当てゲーム(説明及び体験)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、恥ずかしがらずに声を出したり相手の目を見ることができる。
4		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、リズムしりとリ、リズム連想ゲーム(実践及び応用)、ひとりにならないでゲーム(実践)、職業当てゲーム(実践)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、恥ずかしがらずに声を出したり相手の目を見ることができる。
5		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、リズムしりとリ、リズム連想ゲーム(実践及び応用)、イエスアンドゲーム(説明及び体験)、そうしようゲーム(説明及び体験)、セリフを使ったキャッチボール(説明及び体験)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、円滑にコミュニケーションがとれる(恥ずかしがらずに声を出したり笑顔になることができる)
6		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、リズムしりとリ、リズム連想ゲーム(実践及び応用)、イエスアンドゲーム(説明及び体験)、そうしようゲーム(説明及び体験)、セリフを使ったキャッチボール(説明及び体験)、あなたわたしゲーム(実践及び応用)、リズムしりとリ、リズム連想ゲーム(実践及び応用)、そうしようゲーム(実践及び応用)、なにやってくるのゲーム(説明及び体験)、セリフを使ったキャッチボール(実践)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、円滑にコミュニケーションがとれる(恥ずかしがらずに声を出したり笑顔になることができる)
7		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、かゆいところ当て(説明及び体験) なにやってくるのゲーム(実践及び応用)、五感を呼び覚ますエクササイズ(説明及び体験)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。五感を使って、(自分よりも優先して)環境や他者を感じることができる。
8		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、して欲しいこと当てゲーム(説明と体験) 五感を呼び覚ますエクササイズ(実践及び応用)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。五感を使って、(自分よりも優先して)環境や他者を感じることができる。
9		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、ミラーエクササイズ(説明と体験) 五感を呼び覚ますエクササイズ(実践及び応用)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。五感を使って、(自分よりも優先して)環境や他者を感じることができる。
10		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、レベテション(説明及び体験) セリフのないシーン1(説明及び実践/皆の前で一人一人実施)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、緊張せずに、一人で、存在することができる。
11		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、レベテション(実践) セリフのないシーン2(説明及び実践/皆の前で一人一人実施)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、緊張せずに、一人で、存在することができる。
12		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、レベテション(実践) ショートシーン1(説明及び実践/皆の前でペアごとに実施)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、(自分よりも優先して)相手や環境を感じることができる。
13		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、レベテション(実践) ショートシーン2(説明及び実践/皆の前でペアごとに実施)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、(自分よりも優先して)相手や環境を感じることができる。
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			都度講義内容の振り返り・次回講義に向けての課題を指示する	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布されたテキスト、筆記用具、動きやすい服装で参加				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷/東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	アクティング基礎2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大谷章 文
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	俳優・演技学校アクターズクリニックにて、演技講師 23年						
授業の学習 内容	自身の感性を扱う「俳優」という職業を、実際に行われているトレーニングを通して追体験することで、自己評価の再確認と、コミュニケーション能力を磨く。本授業はワークショップ形式で、随時自らが体験していく。						
到達目標	演技をする上で必要コミュニケーションをとり、他者の中で、(自分よりも優先して)相手や環境を感じることができるようになる。 想像力を使い、指定された状況・設定の中で自分として存在することができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	センスワーク、オブジェクトワーク、ファーストインプレッション	前期の復習 環境を五感で感じることができる。
2		講義・演習	センスワーク、インディペンデントアクティビティ、レベション	自意識を排除してパートナーを感じることができる。
3		講義・演習	プライベートモーメント	喜怒哀楽といった感情を自分として体験することができる。
4		講義・演習	インプロ(なにやってるのゲーム)、ショートシーン(説明及び実践/皆の前でペアごとに実施)	演技を実践するにあたり、常に「目的」と「アクション」を設定することができる。 台本の読み込み
5		講義・演習	インプロ(なにやってるのゲーム)、ショートシーン(説明及び実践/皆の前でペアごとに実施)	演技を実践するにあたり、常に「目的」と「アクション」を設定することができる。 台本の読み込み
6		講義・演習	インプロ(なにやってるのゲーム)、ショートシーン(説明及び実践/皆の前でペアごとに実施)	演技を実践するにあたり、常に「目的」と「アクション」を設定することができる。 台本の読み込み・練習
7		講義・演習	ショートシーン(説明及び実践/皆の前でペアごとに実施)	先入観にとらわれずに自分らしくショートシーンをこなすことができる。 台本の読み込み・練習
8		講義・演習	ショートシーン(説明及び実践/皆の前でペアごとに実施)	先入観にとらわれずに自分らしくショートシーンをこなすことができる。
9		講義・演習	ショートシーン(説明及び実践/皆の前でペアごとに実施)	先入観にとらわれずに自分らしくショートシーンをこなすことができる。 感情を思い起こして、リアルな表現を行えるようになる。
10		講義・演習	ショートシーン(説明及び実践/皆の前でグループごとに実施)	先入観にとらわれずに自分らしくショートシーンをこなすことができる。 感情を思い起こして、リアルな表現を行えるようになる。
11		講義・演習	ショートシーン(説明及び実践/皆の前でグループごとに実施)	自分らしくショートシーンをこなし、リアルな演技を行えるようになる。 相手とのコミュニケーションをとり、嘘のないシーンづくりを目指す。
12		講義・演習	ショートシーン(説明及び実践/皆の前でグループごとに実施)	自分らしくショートシーンをこなし、リアルな演技を行えるようになる。 相手とのコミュニケーションをとり、嘘のないシーンづくりを目指す。 2年生への課題を出すことができる。
13		講義・演習	海外実学研修を通じ、海外の演技法と日本の演技法を比較検討する。 ワークの実践	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			都度講義内容の振り返り・次回講義に向けての課題を指示する	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布されたテキスト、筆記用具、動きやすい服装で参加				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷/東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	発声滑舌1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。TSMにて発声滑舌演技講師 8年						
授業の学習内容	発声、滑舌、外郎売り、朗読、台詞の訓練を行います。 歌舞伎の台本である「外郎売」を通じて、発声・滑舌の必要性と、感情解放のコツをつかみます。 繰り返し演習を行い、また、クラスメイトの課題も自身のものにてできる人材を育てます。						
到達目標	声優(俳優)の基礎である発声・滑舌を学び、表現力への一步を踏み出せるようになる。 他人の良いところを盗み、悪いところを自身の技術向上に役立てるように反映させられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	声優・俳優という職業について 授業内容についての説明・自己紹介	腹式呼吸の練習
2		講義・演習	腹式呼吸① 自己解放とは 外郎売りについて歴史から学ぶ	腹式呼吸の練習
3		講義・演習	腹式呼吸② 自己解放ワーク 外郎売り①イントネーションを確認する	腹式呼吸の練習
4		講義・演習	腹式呼吸③ 自己解放ワーク 外郎売り②イントネーションを確認する	腹式呼吸の暗記
5		講義・演習	腹式呼吸④ 自己解放ワーク 外郎売り③イントネーションを確認する	腹式呼吸の暗記
6		講義・演習	腹式呼吸⑤ 自己解放ワーク 外郎売り④イントネーションを確認する	腹式呼吸の暗記
7		講義・演習	腹式呼吸⑥ 自己解放ワーク 外郎売り⑤イントネーションを確認する	腹式呼吸の暗記
8		講義・演習	腹式呼吸⑦ 自己解放ワーク 外郎売り前半部分を通して演じる方法を学ぶ	腹式呼吸の暗記
9		講義・演習	腹式呼吸⑧ 自己解放ワーク 外郎売り後半部分を通して演じる方法を学ぶ	腹式呼吸の暗記
10		講義・演習	腹式呼吸⑨ 自己解放ワーク 外郎売り全体を通して演じ切る発声法を学ぶ	腹式呼吸を意識しながら外郎売を練習
11		講義・演習	外郎売り発表① 一人ひとり外郎売を演じる	腹式呼吸を意識しながら外郎売を練習
12		講義・演習	外郎売り発表② 一人ひとり外郎売を演じる	滑舌の苦手な箇所の練習
13		講義・演習	前週の反省点を振り返る 一人ひとりの課題を発見する	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アクセント辞典				

科目名	発声滑舌2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。TSMIにて発声滑舌演技講師 8年						
授業の学習 内容	発声、滑舌、外郎売り、朗読、台詞の訓練。 絵本の朗読。一冊の絵本を14ブロックに分け、毎週1ブロックずつ練習。 前期で修得した、他人から技術を盗むことはそのままに、自身の発声・滑舌・表現のスキルを更に向上させていきます。						
到達目標	声優(俳優)の基礎である発声・滑舌を学び、表現力への一歩を踏み出せるようになる。 前期習得した発声・滑舌を活かし、表現力を習得できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	脚本解釈について これから課題となる絵本題材について説明	台本の読み込み
2		講義・演習	絵本の朗読① 14-1/パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
3		講義・演習	絵本の朗読② 14-2/パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
4		講義・演習	絵本の朗読③ 14-3/パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
5		講義・演習	絵本の朗読④ 14-4/パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
6		講義・演習	絵本の朗読⑤ 14-5/パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
7		講義・演習	絵本の朗読⑥ 14-6/パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
8		講義・演習	絵本の朗読⑦ 14-7/パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
9		講義・演習	絵本の朗読⑧ 14-8/パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
10		講義・演習	絵本の朗読⑦ 14-9～10/パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
11		講義・演習	絵本の朗読⑧ 14-11～12/パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	絵本の朗読 14-13～14/パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
15		講義・演習	クラス内で全編披露を実施	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アクセント辞典				

科目名	映像アクティング1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	既存の脚本とビデオカメラを使用し、映像に対応できる演技を学ぶ						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ前で演技をする事に慣れ、少しでも自分の考えた通りに動けるようになる。 ・現状の自分と、なりたい自分をしっかり自覚できるようになる。 ・演技が楽しいと感じ、この役を演じてみたいと自ら積極性を持てるようになる。 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介	1年後どうなりたいか自ら考える
2		講義・演習	エチュード① 与えられた設定の中で表現を行う	クラス内での緊張をなくす
3		講義・演習	エチュード② 前週で出た感情を活かして、表現を膨らませる	クラス内での緊張をなくす
4		講義・演習	カメラの前で台詞を言う	カメラ前での緊張をなくす
5		講義・演習	自分の芝居を見てみる① 演技を映像に撮影して、観る	台詞について考えられるようになる
6		講義・演習	相手と芝居をする/本読み① 台本の読み方について	相手と芝居が作れるようになる
7		講義・演習	相手と芝居をする/本読み②	相手と芝居が作れるようになる
8		講義・演習	前週で感じた内容を深く探る 相手と芝居をする/立ち稽古①	パートナーと自主稽古を行う 相手と芝居が作れるようになる
9		講義・演習	自主稽古を行った演技を披露 相手と芝居をする/立ち稽古②	パートナーと自主稽古を行う 相手と芝居が作れるようになる
10		講義・演習	ディレクション(演出)を受ける カメラの前で芝居をする	パートナーと自主稽古を行う カメラ前での緊張をなくす
11		講義・演習	自分の芝居を見てみる② 視聴者視線でのフィードバック	自分を客観的に見れるようになる
12		講義・演習	大人数で芝居をする/本読み① 共演者とコミュニケーションを取る	2人以上の相手と芝居が作れるようになる イメージトレーニングを行う
13		講義・演習	大人数で芝居をする/本読み② 演出を踏まえた表現の構築	2人以上の相手と芝居が作れるようになる
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			①レポート	
【使用教科書・教材・参考書】				
参考書「映画の演技」マイケル・ケイン著 劇書房				

科目名	映像アクティング2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	既存の脚本とビデオカメラを使用し、映像に対応できる演技を学ぶ						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ前で演技をする事に慣れ、少しでも自分の考えた通りに動けるようになる ・現状の自分と、なりたい自分をしっかり自覚できるようになる。 ・演技が楽しいと感じ、この役を演じてみたいと自ら積極性を持てるようになる。 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	大人数で芝居をする/立ち稽古① 台本の読み方・共演者の演技を感じる	2人以上の相手と芝居が作れるようになる
2		講義・演習	大人数で芝居をする/立ち稽古② 演出の意図を探る	2人以上の相手と芝居が作れるようになる
3		講義・演習	大人数で芝居をする/立ち稽古③ ドラマの現場での進行について	2人以上の相手と芝居が作れるようになる
4		講義・演習	大人数で芝居をする/立ち稽古④ 映画の現場での進行について	2人以上の相手と芝居が作れるようになる
5		講義・演習	カメラの前で芝居をする① カメラに対しての演技法	カメラ前での緊張をなくす
6		講義・演習	自分の芝居を見してみる① 視聴者が共感できる演技を目指す	自分を客観的に見れるようになる
7		講義・演習	相手と芝居をする/本読み① リアルな感情表現を学ぶ	相手と芝居が作れるようになる(前期より高いレベルで)
8		講義・演習	相手と芝居をする/本読み② 感情解放の上で脚本に寄りそう	相手と芝居が作れるようになる(前期より高いレベルで)
9		講義・演習	相手と芝居をする/立ち稽古① 脚本を手放したリアルな演技を目指す	相手と芝居が作れるようになる(前期より高いレベルで)
10		講義・演習	相手と芝居をする/立ち稽古② 視聴者が共感するリアルな演技を目指す	相手と芝居が作れるようになる(前期より高いレベルで)
11		講義・演習	相手と芝居をする/立ち稽古③ 共演者と共に、リアルな演技を目指す	相手と芝居が作れるようになる(前期より高いレベルで)
12		講義・演習	カメラの前で芝居をする② いまに集中する	カメラ前での緊張をなくす
13		講義・演習	自分の演技に自分でダメ出しができるようになる	自分を客観的に見れるようになる
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			①レポート	
【使用教科書・教材・参考書】				
参考書「映画の演技」マイケル・ケイン著 劇書房				

科目名	ナレーション1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長谷川歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	子役、演劇大学を経て声優・ナレーターとして活動。劇団主宰もしており演出、執筆経歴もあり。芸歴23年						
授業の学習 内容	正しい日本語を学び、ナレーション原稿を読むことで、原稿の意図や自己演出で試行錯誤する。CM、ラジオCM、バラエティ、ドキュメント、ニュース、吹き替え、朗読など多岐に渡るナレーションの模擬演習を行い、適性やチャレンジ精神を育みます。						
到達目標	正しい日本語の基礎、文章の読解力、演技力を用いて、自分の声質やパーソナリティを含んだ適性を掴めるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ナレーションとは何かのレクチャー、生徒の自己紹介など	自身の読みたい作品を2つ、次回提出
2		講義・演習	教材と生徒が選んできた作品を統合し、ナレーション演習	自身が選択した作品の読みこみ
3		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける① 発声滑舌に気を付けて読む	自身が選択した作品の読みこみ
4		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける② 他人のダメ出しを自分のものにする	自身が選択した作品の読みこみ
5		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける③ 強調する箇所とその効果	自身が選択した作品の読みこみ
6		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける④ 起承転結の表現について	自身が選択した作品の読みこみ
7		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑤ 作品の前後間を考える	自身が選択した作品の読みこみ
8		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑥ 他人の原稿を聞き、良い点を自分に反映させる	自身が選択した作品の読みこみ
9		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑦ 改めて発声滑舌について気を付けて発表をする	自身が選択した作品の読みこみ
10		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑧ タイトルの重要性	自身が選択した作品の読みこみ
11		講義・演習	演習、アドバイスを各々の課題に向かい、録音テスト① マイクワークを学ぶ	自身が選択した作品の読みこみ 録音した音源を聞いてみる
12		講義・演習	演習、アドバイスを各々の課題に向かい、録音テスト② マイクを通して演じられた自分のナレーションを客観的に判断	自身が選択した作品の読みこみ 録音した音源を視点を上げ聞いてみる
13		講義・演習	テストを経て、各生徒にレクチャーとヒアリングを行う	後期に向けた、自身の課題に気づく
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
指定されたナレーション原稿、朗読台本を用意すること				

科目名	ナレーション2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長谷川歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	子役、演劇大学を経て声優・ナレーターとして活動。劇団主宰もしており演出、執筆経歴もあり。芸歴23年						
授業の学習 内容	正しい日本語を学び、ナレーション原稿を読むことで、原稿の意図や自己演出で試行錯誤する。CM、ラジオCM、バラエティ、ドキュメント、ニュース、吹き替え、朗読など多岐に渡るナレーションの模擬演習を行い、適性やチャレンジ精神を育みます。						
到達目標	正しい日本語の基礎、文章の読解力、演技力を用いて、自分の声質やパーソナリティを含んだ適性を掴めるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「架空のラジオCM」を作成するためエチュードを行う	題材についてヒアリング
2		講義・演習	エチュードを元に原稿作成① グループで話し合う	どんなCMにするか話し合う
3		講義・演習	エチュードを元に原稿作成② 話し合った内容の起承転結を考える	プロットを描く
4		講義・演習	エチュードを元に原稿作成③ 演じるキャラクターとナレーション部を考える	台本を完成させる
5		講義・演習	原稿を用いキャストイングし録音、演出指導。① 録音したCMを聞き、改良点を話し合う	収録音源を聞く
6		講義・演習	原稿を用いキャストイングし録音、演出指導。② 聞き手にわかりやすく伝わる表現について考える	収録音源を聞き、チームでディスカッション 収録に向けて準備をする
7		講義・演習	録音、編集① 編集されることを考えた収録について	収録に向けて準備をする
8		講義・演習	録音、編集② 短い時間で高いクオリティのCMを収録するためには	収録で感じたことを踏まえ、現在放送されているラ ジオCMを聞く
9		講義・演習	録音し編集した完成パッケージを視聴しヒアリング	聴いた音源に対して客観的に修正点を理解できる ようになる
10		講義・演習	映像に当てるナレーションの講義、題材紹介	映像とラジオCMの違いについて学び、実際 の映像を見、研究する
11		講義・演習	映画予告、ドキュメント、ニュース、バラエティなど演習① あらゆるナレーションにチャレンジ	状況に応じたナレーションの違いに気づく
12		講義・演習	映画予告、ドキュメント、ニュース、バラエティなど演習② 自分に適性の高いナレーションを知る	状況に応じたナレーションの違いに気づく
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	各ジャンルを演習しての総括、質疑応答など	自身の適正に気づき、2年生に向けチャレン ジしたいジャンルを絞り込む
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
指定されたナレーション原稿、朗読台本を用意すること				

科目名	殺陣1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	所博昭
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	アクション俳優、スタントマン、技斗として活動して30年						
授業の学習 内容	立ちっぱなし、座りっぱなしで演技は出来ません。転んだり、倒れたり、突き飛ばされたりといった動きを怪我無く何度も繰り返し演じなければならないことは数多くあります。マットを使って転がり方から身の守り方である受け身の取り方を身に付けます。						
到達目標	倒れる、倒す演技を安全かつ臨場感を失うことなく演じることが出来る様になる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	注意事項説明、自己紹介(将来のイメージづくり)、アクションとは…	柔軟、筋トレ
2		講義・演習	マット運動(前転)	前週の復習、柔軟、筋トレ
3		講義・演習	マット運動(右起き上がり)	前週の復習、柔軟、筋トレ
4		講義・演習	マット運動(左起き上がり)	前週の復習、柔軟、筋トレ
5		講義・演習	マット運動(右受け身)、投げ飛ばし	前週の復習、柔軟、筋トレ
6		講義・演習	マット運動(左受け身)、投げ飛ばし	前週の復習、柔軟、筋トレ
7		講義・演習	マット運動(横転)、投げ飛ばし	前週の復習、柔軟、筋トレ
8		講義・演習	マット運動(後転)	前週の復習、柔軟、筋トレ
9		講義・演習	マット運動(アクション用後転)、突き飛ばし	前週の復習、柔軟、筋トレ
10		講義・演習	受け身、起き上がり、横転の組み合わせ	前週の復習、柔軟、筋トレ
11		講義・演習	その場に崩れ落ちる、倒れる	前週の復習、柔軟、筋トレ
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	取っ組み合い、揉み合いを演じてみよう	前週の復習、柔軟、筋トレ
14		講義・演習	殺人事件を演じてみよう	前週の復習、柔軟、筋トレ
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			興味のある声優のボイスサンプルを各事務所ホームページから試聴し、研鑽する	
【使用教科書・教材・参考書】				
授業で配ったプリント類、筆記用具、録音機器				

科目名	殺陣2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	所博昭
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	アクション俳優、スタントマン、技斗として活動して30年						
授業の学習 内容	日本の芸能界において「アクション」とは殴る、蹴る、極める、投げる、切る、撃つ等の暴力の表現を差します。前期を更に前半、後半に分けて前半は素手による殴り方、殴られ方、後半は時代劇で使う大刀の扱い方を木刀や竹光を使って学びます。						
到達目標	殴る、殴られるを痛みの表現として、剣は刃物として安全かつ臨場感を失うこと無く演じる事が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	拳の作り方、構え、空手の正拳突き	イメージトレーニング、筋トレ
2		講義・演習	アクション式殴り(顔、腹)、フック(顔、腹)	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
3		講義・演習	リアクション(顔)	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
4		講義・演習	リアクション(腹)	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
5		講義・演習	空手の防御(上段受け、外受け、内受け)	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
6		講義・演習	攻撃のかわし方(さばき、ダッキング)	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
7		講義・演習	帯の結び方、刀の仕組み、抜刀、血振り、納刀	イメージトレーニング、筋トレ
8		講義・演習	素振り1(面、左右面、袈裟斬り)	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
9		講義・演習	素振り2(抜き胴、突き、真っ向)	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
10		講義・演習	打ち込み(空打ち～振り返りまで)	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
11		講義・演習	打ち込み～剣を払われる	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
12		講義・演習	剣を捌く、払う	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
13		講義・演習	斬られたリアクションと戦ってみよう	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			興味のある声優のボイスサンプルを各事務所ホームページから試聴し、研鑽する	
【使用教科書・教材・参考書】				
授業で配ったプリント類、筆記用具、録音機器				

科目名	ボイスサンプル制作1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	平山笑美
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	映画「ダヤンヒジタン」ジタン役、アニメ「異世界はスマートフォンとともに。」レイン役、ゲーム「アイドルマスター ミリオンライブ!」北上麗花役などで活躍する声優。2014年からDA東京にてボイスサンプルの作成方法の講義を担当。						
授業の学習 内容	ボイスサンプルは声の仕事を獲得する上で、この先ずっと必要不可欠なものです。 講義を通して、ボイスサンプルとはなにか、難しく考えずに自分でボイスサンプルを作るポイントを押さえ、 発表を通して、今の自分の実力の中からどれがベストかを見つけていきます。						
到達目標	(1)ボイスサンプルが声の仕事をする人にとって、どの位重要なのか理解し、扱えるようになる。 (2)ボイスサンプルの基本的な作り方を学び、実践して自分なりに工夫しながらサンプルを作ることができるようになる。 (3)ボイスサンプルの作成・発表を通して、自分がやりたい事と、出来る事の整理ができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	自己紹介。今後の授業の説明など	
2		講義	ボイスサンプルとはなにか？ 声優の仕事と照らし合わせながら、プリントを使って理解を深めます。	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
3		講義	ボイスサンプルを作るときのポイントを学んでいきます。	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
4		講義・演習	課題のセリフを使って自分なりに考えた構成で発表。 サンプル作成のポイントを掴む	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
5		講義・演習	前回の授業の反省点を改善できるように課題のセリフを使って発表。	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
6		講義・演習	自分でサンプルの原稿を作るにあたっての注意など。	授業内で配ったプリントを持参
7		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。① 自分に合ったサンプル原稿を知る	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
8		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。② 前週のブラッシュアップを行い、細かな発声滑舌について知る	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
9		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。③ 表現する上で必要な感情解放について学ぶ	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
10		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。④ 前週の課題に加え、聞く企業を考えた構成を考える	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
11		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。夏休み明けの課題などの講義	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	夏休みの課題提出。発表。① 課題へのブラッシュアップ。他の人のアドバイスも含め、研鑽する	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
14		講義・演習	夏休みの課題提出。発表。② 後期に向けて、自分が得意なキャラクターを定める	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			興味のある声優のボイスサンプルを各事務所ホームページから試聴し、研鑽する	
【使用教科書・教材・参考書】				
授業で配ったプリント類、筆記用具、録音機器				

科目名	ボイスサンプル制作2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	平山笑美
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	映画「ダヤンヒジタン」ジタン役、アニメ「異世界はスマートフォンとともに。」レイン役、ゲーム「アイドルマスター ミリオンライブ!」北上麗花役などで活躍する声優。2014年からDA東京にてボイスサンプルの作成方法の講義を担当。						
授業の学習 内容	ボイスサンプルは声の仕事を獲得する上で、この先ずっと必要不可欠なものです。 講義を通して、ボイスサンプルとはなにか、難しく考えずに自分でボイスサンプルを作るポイントを押さえ、 発表を通して、今の自分の実力の中からどれがベストかを見つけていきます。 さらに、新人発掘オーディションに提出できるようなサンプルの作成を目指します。						
到達目標	(1)自分なりに工夫しながらサンプルを作ることができるようになる。 (2)ボイスサンプルの作成・発表を通して、自分がやりたい事と、出来る事の整理が出来るようになる。 (3)より自分のアピールポイントを詰め込んだサンプルづくりを目指し、オーディションに対応できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。① 自分が「やりたい」ではなく「やれる」キャラクターを定める	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
2		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。② 自分が「やれる」キャラクターを演じるためのスキルを学ぶ	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
3		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。③ 原稿の構成を見直し、よりよいサンプル作りを目指す	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
4		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。④ サンプルの並べ順を考えながら、強弱をつける	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
5		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑤ ボイスサンプルの効果的な聞かせ方について知る	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
6		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑥ 「自分の名前」について	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
7		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑦ 目指す事務所を研究し、ふさわしい原稿を考える	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
8		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑧ 前週考えた原稿をブラッシュアップする	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
9		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑨ ナレーション原稿について	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
10		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑩ 前週に続き、ナレーションについて、細かな滑舌表現を考える	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
11		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑪ 冬休み明けについて	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
12		講義・演習	冬休み中に作った原稿を提出。発表① 最終学年にふさわしいボイスサンプルを研鑽する	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
13		講義・演習	冬休み中に作った原稿を提出。発表② 間もなく迫る所属オーディション用ボイスサンプルを完成させる	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習		興味のある声優のボイスサンプルを各事務所ホームページから試聴し、研鑽する		
【使用教科書・教材・参考書】				
授業で配ったプリント類、筆記用具、録音機器				

科目名	紙芝居1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中山知佳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として活動中。						
授業の学習 内容	紙芝居の表現を通して、エンターテイナーとしての基礎を学ぶ。人前に出て表現をすることを学ぶ。						
到達目標	紙芝居を通して、声だけでなく全身を使って表現できるようになる。人前で表現をできるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介 授業説明	
2		講義・演習	模範口演(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	模範口演を観て感じたことをまとめる
3		講義・演習	クイズ紙芝居、感情解放(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	模範口演を観て感じたことをまとめる
4		講義・演習	喜怒哀楽(感情コントロール)	感情コントロールワークをクラスメイトと演じる
5		講義・演習	グループ紙芝居① 課題発表、設定説明	課題練習
6		講義・演習	グループ紙芝居② 感情を考えて演じてみる	課題練習
7		講義・演習	グループ紙芝居③ 自分たちでしか演じられない表現を考える	課題練習・アイデアを盛り込む
8		講義・演習	グループ紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	ディレクションを受け、改善してみる
9		講義・演習	一人で紙芝居① 課題発表、初見での実演	課題練習
10		講義・演習	一人で紙芝居② ナレーション部とセリフとの区分けをする	課題練習
11		講義・演習	一人で紙芝居③ 自身が演じたいキャラクターを考える	課題練習・アイデアを盛り込む
12		講義・演習	一人で紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	ディレクションを受け、改善してみる
13		講義・演習	一人で紙芝居発表、振り返り、総括	クラスメイトの発表から自身の演技を振り返る
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			課題の読み込みは常に実施	
【使用教科書・教材・参考書】				
課題原稿、筆記用具				

科目名	紙芝居2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中山知佳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として活動中。						
授業の学習 内容	紙芝居の表現を通して、エンターテイナーとしての基礎を学ぶ。人前に出て表現をすることを学ぶ。						
到達目標	紙芝居を通して、声だけでなく全身を使って表現できるようになる。人前で表現をできるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	クイズ紙芝居、感情解放① お客さんと一緒に演じることを考える	老若男女のお客様に親んでもらうための表現を考え練習する
2		講義・演習	クイズ紙芝居、感情解放② 進行しながら演じることを感じる	老若男女のお客様に親んでもらうための表現を考え練習する
3		講義・演習	グループ紙芝居① チームでの役割分担を考える	課題練習
4		講義・演習	グループ紙芝居② チームでの役割分担の中で自分の表現するべきことを考える	課題練習
5		講義・演習	グループ紙芝居③ 複数人で同じ作品を演じるグループ感を作り出す	課題練習
6		講義・演習	グループ紙芝居④ 個性を活かしたパフォーマンスを検討する	課題練習・アイデアを盛り込む
7		講義・演習	グループ紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	ディレクションを受け、改善してみる
8		講義・演習	一人で紙芝居① 課題発表、作品について	課題練習
9		講義・演習	一人で紙芝居② 演じ分けについて考える	課題練習
10		講義・演習	一人で紙芝居③ ひとりで演じるためのエネルギーの配分を考える	課題練習・アイデアを盛り込む
11		講義・演習	一人で紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	ディレクションを受け、改善してみる
12		講義・演習	一人で紙芝居発表	課題練習
13		講義・演習	一人で紙芝居発表、振り返り、総括	ディレクションを受け、改善してみる
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			課題の読み込みは常に実施	
【使用教科書・教材・参考書】				
課題原稿、筆記用具				

科目名	舞台基礎 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 大谷 章文
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	
教員の略歴	俳優・演技学校アクターズクリニックにて、演技講師 23年					
授業の学習 内容	俳優として、自分の課題を見つけ、さらにそれに則したものを提案し、形にすることを学ぶ。「複数の人間で創る」演劇を通して、俳優の仕事をしていくために必要な動きを実践する。年間を通じ、成果物を最低2つと定め、それを創り上げることで、自主的な動きを身につける。					
到達目標	表現者として自分の課題を見つけ、解決に向かって提案することができる俳優になることを目標とし、揺れ続ける芸能界へ漕ぎ出しても、自分で発見・研鑽をし続け、多くの関係者の中で動ける表現者になることを目指す。受動的ではなく能動的な俳優を目指すことができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1	4月18日	講義・演習	残り1年間のをどう有意義に過ごしていくか考え、「目標を決定」すること、今の自分への課題を見つける	自身の課題を基に、クラスと発表するための課題を探す		
2	4月25日	講義・演習	課題を提案しあい、クラスで発表する内容を決める	決まった課題台本を作成、または用意する		
3	5月9日	講義・演習	発表のための稽古① 台本読み・台本への向き合い方を学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える		
4	5月16日	講義・演習	発表のための稽古② 立ち稽古・ダメ出しの捉え方を学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える		
5	5月30日	講義・演習	発表のための稽古③ 立ち稽古・他のキャストとのコミュニケーションを学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する		
6	6月13日	講義・演習	発表のための稽古④ 通し稽古・全体を通じての作品の捉え方を学ぶ	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する		
7	6月20日	講義・演習	発表のための稽古⑤ 通し稽古からのフィードバックを分析し演習	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する		
8	6月27日	講義・演習	発表のための稽古⑥ フィードバックから得たものを元に研鑽稽古	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する		
9	7月4日	講義・演習	発表のための稽古⑦ ここまで出てきた問題点のクリアの仕方を考える	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する		
10	7月11日	講義・演習	発表のための稽古⑧ お客様に見せることを意識した作りを行う	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する		
11	7月18日	講義・演習	発表のための稽古⑨ 最後の詰め稽古・自身の課題の解消のためのアクション	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する		
12	7月25日	講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表		
13	9月5日	講義・演習	発表を通してのフィードバック 自身の目標に対しての達成度を考える	後期に向けた題材探し		
14	9月12日	講義・演習	次の課題を考え、話し合う 後期に取り組む作品を決定する	課題発表実施のための準備を行う 課題台本の用意、実施日程の確認等		
15	9月26日	講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表		
準備学習 時間外学習						
【使用教科書・教材・参考書】						
自分たちで決定した台本を持参すること、適時衣裳と小道具の用意						

科目名	舞台基礎 2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 大谷 章文
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)	
教員の略歴	俳優・演技学校アクターズクリニックにて、演技講師 23年					
授業の学習 内容	俳優として、自分の課題を見つけ、さらにそれに則したものを提案し、形にすることを学ぶ。「複数の人間で創る」演劇を通して、俳優の仕事をしていくために必要な動きを実践する。年間を通じ、成果物を最低2つと定め、それを創り上げることで、自主的な動きを身につける。					
到達目標	表現者として自分の課題を見つけ、解決に向かって提案することができる俳優になることを目標とし、揺れ続ける芸能界へ漕ぎ出しても、自分で発見・研鑽をし続け、多くの関係者の中で動ける表現者になることを目指す。受動的ではなく能動的な俳優を目指すことができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	卒業後、社会人として芸能界に足を踏み入れた後をイメージし、現在の自分から自分の課題を見つける	自身の課題を基に、クラスと発表するための課題を探す
2		講義・演習	課題を提案しあい、クラスで発表する内容を決める	決まった課題台本を作成、または用意する
3		講義・演習	発表のための稽古① 台本読み・台本への向き合い方を学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える
4		講義・演習	発表のための稽古② 立ち稽古・ダメ出しの捉え方を学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える
5		講義・演習	発表のための稽古③ 立ち稽古・他のキャストとのコミュニケーションを学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
6		講義・演習	発表のための稽古④ 通し稽古・全体を通じての作品の捉え方を学ぶ	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
7		講義・演習	発表のための稽古⑤ 通し稽古からのフィードバックを分析し演習	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
8		講義・演習	発表のための稽古⑥ フィードバックから得たものを元に研鑽稽古	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
9		講義・演習	発表のための稽古⑦ ここまで出てきた問題点のクリアの仕方を考える	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
10		講義・演習	発表のための稽古⑧ お客様に見せることを意識した作りを行う	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
11		講義・演習	発表のための稽古⑨ 現在の問題点の洗い出し(俳優として、大人として)	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
12		講義・演習	再度、卒業後、社会人として芸能界に足を踏み入れた後をイメージし、現在の自分から自分の課題を見つけなおす	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
13		講義・演習	発表のための稽古⑩ 最後の詰め稽古・自身の課題の解消のためのアクション	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
自分たちで決定した台本を持参すること、適時衣裳と小道具の用意				

科目名	朗読2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。TSMにて発声滑舌演技講師 8年						
授業の学習 内容	うまく朗読するだけでは他に変わりはありません。自分らしい感性と表現力を持てるようになる。						
到達目標	脚本解釈ができるようになる。台詞に感情を乗せられるようになる。						
評価方法と基準							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	外学習(学習課題) 準備学習 時間外
1		講義・演習	自己紹介の実施。人前で自分をアピールできる。	緊張を克服する
2		講義・演習	アクセント辞典の理解。アクセント記号を読解できるようになる。	アットランダムにアクセント辞典を開いて、初見で正しいアクセントを理解できるようにする。
3		講義・演習	アクセント辞典の理解。アクセント記号を見て正しい発音ができる。	アットランダムにアクセント辞典を開いて、初見で正しいアクセントを発音できるようにする。
4		講義・演習	朗読課題1。課題を正しいアクセントで読み上げる事ができる。	人前でもアクセントを間違わないようにする。
5		講義・演習	朗読課題2。。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
6		講義・演習	朗読課題3。台詞に感情を込める事ができる。	、感情を大きく出すことを注意する。アクセント確認
7		講義・演習	朗読課題4。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
8		講義・演習	朗読課題5。台詞に感情を込める事ができる	喜怒哀楽を意識し、感情を大きく出すことを意識する。アクセント確認
9		講義・演習	朗読課題6。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
10		講義・演習	朗読課題7。台詞に感情を込める事ができる。	喜怒哀楽を意識し、感情を大きく出すことを意識する。アクセント確認
11		講義・演習	朗読課題8。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
12		講義・演習	朗読課題9。台詞に感情を込める事ができる。	喜怒哀楽を意識し、感情を大きく出すことを意識する。アクセント確認
13		講義・演習	朗読発表会。クラス内で課題を通して読めるようになる。	アクセント、台詞の感情など総合的に台本を意識して読める
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習		前回までのアドバイスを踏まえ復習		
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典				

科目名	朗読2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。TSMにて発声滑舌演技講師 8年						
授業の学習 内容	前期の朗読経験を活かし、新たな素材でさらに表現力を磨けるようになる。						
到達目標	自分らしい脚本解釈ができるようになる。台詞に感情を乗せ人を惹きつけられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数回数	日程日程	授業形態	学習内容	学習内容
		講義・演習	授業説明。授業内容を理解できる。	配布台本を読み込み理解を深める。
1		講義・演習	朗読課題1 課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
2		講義・演習	朗読課題2。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
3		講義・演習	朗読課題3。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
4		講義・演習	朗読課題4。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
5		講義・演習	朗読課題5。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
6		講義・演習	朗読課題6。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
7		講義・演習	朗読課題7。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
8		講義・演習	朗読課題8。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
9		講義・演習	朗読課題9。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
10		講義・演習	朗読課題10。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
11		講義・演習	朗読課題11。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			前回までのアドバイスを踏まえ復習	
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典				

科目名	JAZZ A-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ピルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	前週の続き。ピルエット練習。バットマン練習。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	ステップの流れからのピルエット。バットマン。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	ピルエット。バットマン。コンビネーション①。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ピルエット。バットマン。コンビネーション②。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	ピルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	ピルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	ピルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション③	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	前期内容分思い出し。コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト実施。	
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZ A-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ピルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	前週の続き。ピルエット練習。バットマン練習。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	ステップの流れからのピルエット。バットマン。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	ピルエット。バットマン。コンビネーション①。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ピルエット。バットマン。コンビネーション②。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	ピルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	ピルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	ピルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション③	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	前期内容分思い出し。コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト実施。	
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZ B-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習内容	プロのダンサーになるために必要なことを取得。ストレッチ、基礎トレーニング、応用					
到達目標	もらった振り付けを正確に覚えて表現する。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチの強化	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	アイソレーションを中心に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	プリエなどバレエの基礎	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	振り付けを覚える。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	振り付けを正確に踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	表情もつけて踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	何回踊っても間違えない。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	スローな動きで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	手足がしっかり伸びるようにする。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	感情をこめて踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	少人数に分けて大きく踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	アップテンポのダンス	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	グローヴとアイソレーションを大切に。	
14		講義・演習	フォーメーションで踊る。	レポートの提出
15		講義・演習	総復習	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 シューズ				

科目名	JAZZ B-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習内容	プロのダンサーになるために必要なことを取得。ストレッチ、基礎トレーニング、応用					
到達目標	もらった振り付けを正確に覚えて表現する。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチの強化	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	アイソレーションを中心に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	セクシーに歩く練習	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	軽いコンビネーションのクロスフロア	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	腰をしっかり動かせるように	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	可愛い歩き方	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	笑顔で歩く	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	アイドルらしい振り付け	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	表情を大切に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	フリーでのダンス強化	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	セクシーな振り付けで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	胸部と腰をしっかり使う。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	フロアでセクシーに。	
14		講義・演習	フォーメーションで踊る。	レポートの提出
15		講義・演習	総復習	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 シューズ				

科目名	JAZZ C-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャズダンス基礎の確認、徹底 ・ダンスを通して表現の実践 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①正しい姿勢を理解し、実践できる。 ②基礎の大切さを理解している。 ③振りを覚え、曲の意味に沿って表現しながら踊ることが出来る。 					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの説明、ピルコット・コンビネーション	各自授業内容を復習
2		講義・演習	ウォームアップの解説 ①姿勢・コンビネーション	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ウォームアップの解説 ②パラレルの重要性・コンビネーション	各自授業内容を復習
4		講義・演習	ウォームアップの解説 ③ルルベ・コンビネーション	各自授業内容を復習
5		講義・演習	プリエの説明、実践	各自授業内容を復習
6		講義・演習	タンデュ・デガジェの説明	各自授業内容を復習
7		講義・演習	体重移動 タンデュ→タンデュ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	片足になる パッセ	各自授業内容を復習
9		講義・演習	体重移動 タンデュ→パッセ	各自授業内容を復習
10		講義・演習	ロンデジャンプ	各自授業内容を復習
11		講義・演習	ロンデジャンプ→ピケ	各自授業内容を復習
12		講義・演習	ピルエットダブルを安定させる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZ C-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする					
到達目標	①テクニックの向上 ②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	各自授業内容を復習
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	各自授業内容を復習
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	各自授業内容を復習
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	各自授業内容を復習
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	各自授業内容を復習
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	各自授業内容を復習
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	各自授業内容を復習
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振りうつしが出来る	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】		時々ゴムやボールを使用		

科目名	JAZZ D-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	基本の姿勢から始まり、ダンスの基礎を学んでいく 振りを覚える					
到達目標	正しい姿勢の理解 基礎の大切さを伝える 振りを覚え、自分なりに踊ることができる					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップ1曲目→コンビネーション	各自授業内容を復習
2		講義・演習	ウォームアップ2曲目→コンビネーション	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ロールアップ、ダウン、フラットバック	各自授業内容を復習
4		講義・演習	正しいプリエ パラレル ターンアウト	各自授業内容を復習
5		講義・演習	指先の正しい使い方 タンデュ デガシエ	各自授業内容を復習
6		講義・演習	パッセの説明→バランス	各自授業内容を復習
7		講義・演習	パッセのバランスからピルエット	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ロンデジャンプの説明	各自授業内容を復習
9		講義・演習	パッセとロンデジャンプからのピケターン	各自授業内容を復習
10		講義・演習	片足プリエ→体重移動	各自授業内容を復習
11		講義・演習	体重移動に気を付けながらクロスフロア	各自授業内容を復習
12		講義・演習	ピルエット、ピケシエネが躊躇なくできる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】		時々ゴムやボールを使用		

科目名	JAZZ D-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	基本の姿勢の振り返り、ダンスの基礎から応用を学んでいく 振りを覚える					
到達目標	正しい姿勢の理解 基礎の大切さを伝える 振りを覚え、自分なりに踊ることができる					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップ→コンビネーション	各自授業内容を復習
2		講義・演習	ウォームアップ→コンビネーション	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ロールアップ、ダウン、フラットバック	各自授業内容を復習
4		講義・演習	プリエ パラレル ターンアウト	各自授業内容を復習
5		講義・演習	指先の正しい使い方 タンデュ デガシェ	各自授業内容を復習
6		講義・演習	パッセの→バランス	各自授業内容を復習
7		講義・演習	パッセのバランスからピルエット	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ロンデジャンプ	各自授業内容を復習
9		講義・演習	パッセとロンデジャンプからのピケターン	各自授業内容を復習
10		講義・演習	片足プリエ→体重移動	各自授業内容を復習
11		講義・演習	体重移動に気を付けながらクロスフロア	各自授業内容を復習
12		講義・演習	ピルエット、ピケシェネ	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】		時々ゴムやボールを使用		

科目名	JAZZ E-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする					
到達目標	①テクニックの向上 ②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	各自授業内容を復習
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	各自授業内容を復習
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	各自授業内容を復習
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	各自授業内容を復習
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	各自授業内容を復習
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	各自授業内容を復習
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	各自授業内容を復習
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振りうつしが出来る	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】		時々ゴムやボールを使用		

科目名	JAZZ E-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする					
到達目標	①テクニックの向上 ②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	各自授業内容を復習
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	各自授業内容を復習
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	各自授業内容を復習
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	各自授業内容を復習
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	各自授業内容を復習
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	各自授業内容を復習
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	各自授業内容を復習
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振りうつしが出来る	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】		時々ゴムやボールを使用		

科目名	JAZZ F-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①テクニックの向上 ②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。 					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	各自授業内容を復習
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	各自授業内容を復習
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	各自授業内容を復習
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	各自授業内容を復習
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	各自授業内容を復習
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	各自授業内容を復習
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	各自授業内容を復習
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振りうつしが出来る	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】		時々ゴムやボールを使用		

科目名	JAZZ F-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする					
到達目標	①テクニックの向上 ②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	各自授業内容を復習
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	各自授業内容を復習
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	各自授業内容を復習
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	各自授業内容を復習
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	各自授業内容を復習
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	各自授業内容を復習
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	各自授業内容を復習
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振りうつしが出来る	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】		時々ゴムやボールを使用		

科目名	JAZZ G-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする					
到達目標	①テクニックの向上 ②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	各自授業内容を復習
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	各自授業内容を復習
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	各自授業内容を復習
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	各自授業内容を復習
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	各自授業内容を復習
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	各自授業内容を復習
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	各自授業内容を復習
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振りうつしが出来る	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】		時々ゴムやボールを使用		

科目名	JAZZ G-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする					
到達目標	①テクニックの向上 ②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	各自授業内容を復習
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	各自授業内容を復習
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	各自授業内容を復習
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	各自授業内容を復習
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	各自授業内容を復習
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	各自授業内容を復習
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	各自授業内容を復習
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振りうつしが出来る	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】		時々ゴムやボールを使用		

科目名	バレエA-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴23年/23年/18年					
授業の学習 内容	クラシックバレエの基礎を身につける。舞台人としての姿勢を学ぶ。					
到達目標	クラシックバレエの基礎を理解し、柔軟性・音楽性・表現力を高める。楽しく踊れるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	1年生で習得したバレエの基礎の確認	復習	
2		講義・演習	軸のアンデオールの意識を高める	復習	
3		講義・演習	動いている足のアンデオールを高める	復習	
4		講義・演習	軸を意識し、上体や顔の付け方を学ぶ	復習	
5		講義・演習	正しいアームスの使い方の必要性を学ぶ ピルエットを学ぶ	復習	
6		講義・演習	ピルエットの質を高める アレグロのパを学ぶ	復習	
7		講義・演習	ピルエット、アレグロをメインにした組み合わせを学ぶ	復習	
8		講義・演習	アダージオの動きの流れや、上半身の使い方を学ぶ	復習	
9		講義・演習	ターンの種類を知り、正しい回り方を学ぶ	復習	
10		講義・演習	グランワルツ、ターンをメインにした組み合わせを学ぶ	復習	
11		講義・演習	総括(アンデオールの意識を高めて楽しく踊る)	復習	
12		講義・演習	実技試験のアンシェネマンを提示し、練習する	復習	
13		講義・演習	試験 (2.3人ずつ踊り、身体の使い方、表現を見直す)	復習	
14		講義・演習	課外授業	復習	
15		講義・演習	課外授業	復習	
準備学習 時間外学習					

【使用教科書・教材・参考書】 なし

科目名	バレエA-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴23年/23年/18年					
授業の学習 内容	クラシックバレエの基礎を身につける。舞台人としての姿勢を学ぶ。					
到達目標	クラシックバレエの基礎を理解し、柔軟性・音楽性・表現力を高める。楽しく踊れるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期で習得したバレエの基礎の確認	復習
2		講義・演習	バーでのフォンジュ、フラッペ、グランバットマンの軸のアンデオールの意識を高める	復習
3		講義・演習	アダージオの軸の意識を高め、上半身やアームス、顔の付け方を学ぶ	復習
4		講義・演習	センターでのタンジュのアームス、上体の使い方を学ぶ	復習
5		講義・演習	ピルエットの質を高める	復習
6		講義・演習	ピルエットがメインの組み合わせを学ぶ	復習
7		講義・演習	アレグロの種類を学び、早い動きに対応できるように学ぶ	復習
8		講義・演習	アレグロがメインの組み合わせを学ぶ	復習
9		講義・演習	ターンの質を高める 軸の意識を高めてアンデオールで回る	復習
10		講義・演習	グランワルツ、ターンをメインにした組み合わせを学ぶ	復習
11		講義・演習	総括 (アンデオールの意識を高めて、楽しく踊る)	復習
12		講義・演習	実技試験のアンシェネマンを提示し、練習する	復習
13		講義・演習	試験 (2,3人ずつ踊り、身体の使い方、表現を見直す)	復習
14		講義・演習	課外授業	復習
15		講義・演習	課外授業	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 なし				

科目名	バレエB-3		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴23年/23年/18年						
授業の学習内容	エクササイズ、コンビネーション、クールダウン 全て呼吸を使って身体を動かし踊るための身体を作る。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸と連動して動けるようになる。 ・筋力と柔軟性を上げる。 						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	呼吸を意識する		復習		
2		講義・演習	身体のアライメントを理解する		復習		
3		講義・演習	エクササイズ1つ1つ、どこを使うかを考えて動かす。		復習		
4		講義・演習	筋感覚だけに集中(形に捉われない)		復習		
5		講義・演習	筋力と柔軟性を同時に意識する。		復習		
6		講義・演習	座位、ストレッチ(股関節周り意識)		復習		
7		講義・演習	体幹トレーニング(呼吸を伴う筋トレの中で)		復習		
8		講義・演習	アイソレーション(流されず部分部分を丁寧に)		復習		
9		講義・演習	ジャンプ足上げ(効果的に行えるようにする)		復習		
10		講義・演習	ターン(重心と軸を探る)		復習		
11		講義・演習	総括(エクササイズも振りも全て呼吸)		復習		
12		講義・演習	試験(見られている意識の中で発揮できる)		復習		
13		講義・演習	振り返り		復習		
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
準備学習		時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	バレエB-4		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴23年/23年/18年						
授業の学習内容	ストレッチ、バー、センター 常に呼吸を意識し、体重を感じるようにする。						
到達目標	バレエを通して、重心と軸を感じられるようになり、他のダンスにも応用できるようにする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	呼吸を意識しストレッチから			復習	
2		講義・演習	アライメントを理解し、立ち方を学ぶ。			復習	
3		講義・演習	プリエ(関節を固めない)			復習	
4		講義・演習	プリエタンデュ(体重を感じることで重心を知る)			復習	
5		講義・演習	体重移動を身につける。			復習	
6		講義・演習	正しいターンアウト			復習	
7		講義・演習	ストレッチ、バー、センターの流れを学ぶ			復習	
8		講義・演習	方向(8つの方向)を学ぶ。			復習	
9		講義・演習	ポールドブラ(基本のアームズ)			復習	
10		講義・演習	エポールマン			復習	
11		講義・演習	試験			復習	
12		講義・演習	身体を総括的に意識し動かせるように。			復習	
13		講義・演習	今までの稽古の留意点を全て意識する。			復習	
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ			レポートの提出	
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ			レポートの提出	
準備学習		時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	バレエC-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴23年/23年/18年					
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシックバレエの技術を身につける。 ・舞台人としての礼儀を学ぶ。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・プロとしてステージに通用するスキルを身につける。 ・オープンクラスの中級レベルが通用する技術・レベル。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎訓練 応用練習	復習
2		講義・演習	基礎訓練 応用練習	復習
3		講義・演習	基礎訓練 基礎の徹底	復習
4		講義・演習	基礎訓練 反復練習	復習
5		講義・演習	基礎訓練 反復練習	復習
6		講義・演習	基礎訓練 振り付けの理解	復習
7		講義・演習	基礎訓練 パの意味	復習
8		講義・演習	基礎訓練 パの組み合わせ	復習
9		講義・演習	基礎訓練 音楽の理解	復習
10		講義・演習	基礎訓練 身体の理解	復習
11		講義・演習	基礎訓練 表現	復習
12		講義・演習	基礎訓練 空間の使い方	復習
13		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
14		講義・演習	基礎訓練 総合力	レポートの提出
15		講義・演習	基礎訓練 総合力	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエC-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴23年/23年/18年					
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシックバレエの技術を身につける。 ・舞台人としての礼儀を学ぶ。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・プロとしてステージに通用するスキルを身につける。 ・オープンクラスの中級レベルが通用する技術・レベル。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎訓練 応用練習	復習
2		講義・演習	基礎訓練 応用練習	復習
3		講義・演習	基礎訓練 基礎の徹底	復習
4		講義・演習	基礎訓練 反復練習	復習
5		講義・演習	基礎訓練 反復練習	復習
6		講義・演習	基礎訓練 振り付けの理解	復習
7		講義・演習	基礎訓練 パの意味	復習
8		講義・演習	基礎訓練 パの組み合わせ	復習
9		講義・演習	基礎訓練 音楽の理解	復習
10		講義・演習	基礎訓練 身体の理解	復習
11		講義・演習	基礎訓練 表現	復習
12		講義・演習	基礎訓練 空間の使い方	復習
13		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
14		講義・演習	基礎訓練 総合力	レポートの提出
15		講義・演習	基礎訓練 総合力	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエD-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴23年/23年/18年					
授業の学習内 容	基礎～応用の習得 立ち姿、手の動き、足運び					
到達目標	自身の身体と向き合い、体軸を確立 手足のスムーズな動きの習得 表現力の幅を広げる					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎確認	復習
2		講義・演習	軸と体幹の意識	復習
3		講義・演習	軸と体幹の弱点強化	復習
4		講義・演習	アンディオールを意識と体幹の連動	復習
5		講義・演習	アームス上半身の使い方と呼吸	復習
6		講義・演習	姿勢と重心移動	復習
7		講義・演習	テクニックを含めた動き	復習
8		講義・演習	ターン、ピルエットの質を高める	復習
9		講義・演習	ワルツステップの習得と応用	復習
10		講義・演習	ジャンプテクニックの質を高める	復習
11		講義・演習	コンビネーション	復習
12		講義・演習	音楽との連動	復習
13		講義・演習	アンシェヌマンを覚え、発表(テスト)	復習
14		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
15		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエD-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴23年/23年/18年					
授業の学習内 容	基礎～応用の習得 立ち姿、手の動き、足運び					
到達目標	自身の身体と向き合い、体軸を確立 手足のスムーズな動きの習得 表現力の幅を広げる					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎確認	復習
2		講義・演習	軸と体幹の意識	復習
3		講義・演習	重心移動の身体の使い方	復習
4		講義・演習	アームス上半身の使い方と呼吸	復習
5		講義・演習	ターン、ジャンプテクニックの質を高める	復習
6		講義・演習	ワルツやアダージオでの連動	復習
7		講義・演習	ダイナミックな動きの練習	復習
8		講義・演習	アンシェヌマンに合わせた表現力の向上	復習
9		講義・演習	音楽に合わせた緩急の使い方	復習
10		講義・演習	アレグロなどの対応	復習
11		講義・演習	ソロ ユールドでの空間の使い方	復習
12		講義・演習	バレエ作品への挑戦	復習
13		講義・演習	アンシェヌマンを覚え、発表(テスト)	復習
14		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
15		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエE-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴23年/23年/18年					
授業の学習内容	基礎力の向上、テクニックの習得					
到達目標	表現力や魅せ方を学び、自らを表現できるようにする					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明、基礎練習	復習
2		講義・演習	ストレッチ	復習
3		講義・演習	筋カトレーニング	復習
4		講義・演習	ピルエットの練習	復習
5		講義・演習	ピルエットがシングル(ダブル)で回る	復習
6		講義・演習	シェネの練習	復習
7		講義・演習	ピケターンの練習	復習
8		講義・演習	アテチュードターンの練習	復習
9		講義・演習	ロンデジャンプの練習	復習
10		講義・演習	クロスフロアでの基本テクニック	復習
11		講義・演習	8×4のコンビネーション	復習
12		講義・演習	8×4のコンビネーション	復習
13		講義・演習	試験	復習
14		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
15		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエE-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴23年/23年/18年					
授業の学習内容	基礎力の向上、テクニックの習得					
到達目標	表現力や魅せ方を学び、自らを表現できるようにする					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ペアテの練習	復習
2		講義・演習	8×8のコンビネーション	復習
3		講義・演習	コンビネーションの復習	復習
4		講義・演習	自己アピールしながら踊る	復習
5		講義・演習	コンビネーションを早く覚える	復習
6		講義・演習	グループでの練習	復習
7		講義・演習	コンビネーションの練習	復習
8		講義・演習	間違えずに自己表現する	復習
9		講義・演習	指先や体幹の意識とコンビネーション	復習
10		講義・演習	指先や体幹の意識とコンビネーション	復習
11		講義・演習	指先や体幹の意識とコンビネーション	復習
12		講義・演習	指先や体幹の意識とコンビネーション	復習
13		講義・演習	試験	復習
14		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
15		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP A-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	基礎となる身体の使い方や体力作りとステップ、表現トレーニング					
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習	
2		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習	
3		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習	
4		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習	
5		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習	
6		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習	
7		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習	
8		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習	
9		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習	
10		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習	
11		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習	
12		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習	
13		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習	
準備学習		時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	HIPHOP A-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	基礎となる身体の使い方や体力作りとステップ、表現トレーニング					
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習	
2		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習	
3		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習	
4		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習	
5		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習	
6		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習	
7		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習	
8		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習	
9		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習	
10		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習	
11		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習	
12		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習	
13		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習	
準備学習 時間外学習						
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	HIPHOP B-3		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習内容	①Hip Hopのカルチャーの基本がオールドスクールにあるので、まずそのリズムの動きを知ることが大切。 ②全てのストリートダンスに繋がる原点。 ③社会人として常識のある人になって欲しい。そこからダンス界に羽ばたいて欲しい。						
到達目標	①1年生の間に基本的な身体作り、リズムコントロールが出来るようになる ②基礎トレーニングの実施。自宅でも出来るトレーニングのレクチャー ③聞く曲が偏らないよう色々なジャンルを聞けるようになる。またレッスンでも使用する。 ④言葉使いの徹底、挨拶						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義・演習	今後のレッスンの説明、基本リズム①、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
2		講義・演習	レッスン説明、基本リズム①、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
3		講義・演習	基本リズム②、ステップ、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
4		講義・演習	基本リズム②、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
5		講義・演習	基本リズム③、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
6		講義・演習	基本リズム③、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
7		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
8		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
9		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
10		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
11		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
12		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
13		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
14		講義・演習	基本リズムのテスト、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
15		講義・演習	基本リズムのテスト、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	HIPHOP B-4		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習内容	①Hip Hopのカルチャーの基本がオールドスクールにあるので、まずそのリズムの動きを知ることが大切。 ②全てのストリートダンスに繋がる原点。 ③社会人として常識のある人になって欲しい。そこからダンス界に羽ばたいて欲しい。						
到達目標	①1年生の間に基本的な身体作り、リズムコントロールが出来るようにする ②基礎トレーニングの実施。自宅でも出来るトレーニングのレクチャー ③聞く曲が偏らないよう色々なジャンルを聞けるようになる。またレッスンでも使用する。 ④言葉使いの徹底、挨拶						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義・演習	今後のレッスンの説明、基本リズム①、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
2		講義・演習	レッスン説明、基本リズム①、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
3		講義・演習	基本リズム②、ステップ、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
4		講義・演習	基本リズム②、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
5		講義・演習	基本リズム③、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
6		講義・演習	基本リズム③、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
7		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
8		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
9		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
10		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
11		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
12		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
13		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
14		講義・演習	基本リズムのテスト、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
15		講義・演習	基本リズムのテスト、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	HIPHOP C-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の向上。 ・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養う。 ・ストレッチ→基礎→振付(基本的な授業の流れ。) 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・振付を自分の踊りに変換して、踊ることができる。 ・素早く振付を覚える。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎 / 振付①	基礎トレーニング&振付の練習
2		講義・演習	基礎 / 振付①	基礎トレーニング&振付の練習
3		講義・演習	基礎 / 振付②	基礎トレーニング&振付の練習
4		講義・演習	基礎 / 振付②	基礎トレーニング&振付の練習
5		講義・演習	基礎 / 振付②	基礎トレーニング&振付の練習
6		講義・演習	基礎 / 振付③	基礎トレーニング&振付の練習
7		講義・演習	基礎 / 振付③	基礎トレーニング&振付の練習
8		講義・演習	基礎 / 振付③	基礎トレーニング&振付の練習
9		講義・演習	基礎 / 振付④	基礎トレーニング&振付の練習
10		講義・演習	基礎 / 振付④	基礎トレーニング&振付の練習
11		講義・演習	基礎 / 振付④	基礎トレーニング&振付の練習
12		講義・演習	基礎 / 振付⑤	基礎トレーニング&振付の練習
13		講義・演習	基礎 / 振付⑤	基礎トレーニング&振付の練習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP C-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の向上。 ・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養う。 ・ストレッチ→基礎→振付(基本的な授業の流れ。) 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・振付を自分の踊りに変換して、踊ることができる。 ・素早く振付を覚える。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎 / 振付①	基礎トレーニング&振付の練習
2		講義・演習	基礎 / 振付①	基礎トレーニング&振付の練習
3		講義・演習	基礎 / 振付②	基礎トレーニング&振付の練習
4		講義・演習	基礎 / 振付②	基礎トレーニング&振付の練習
5		講義・演習	基礎 / 振付②	基礎トレーニング&振付の練習
6		講義・演習	基礎 / 振付③	基礎トレーニング&振付の練習
7		講義・演習	基礎 / 振付③	基礎トレーニング&振付の練習
8		講義・演習	基礎 / 振付③	基礎トレーニング&振付の練習
9		講義・演習	基礎 / 振付④	基礎トレーニング&振付の練習
10		講義・演習	基礎 / 振付④	基礎トレーニング&振付の練習
11		講義・演習	基礎 / 振付④	基礎トレーニング&振付の練習
12		講義・演習	基礎 / 振付⑤	基礎トレーニング&振付の練習
13		講義・演習	基礎 / 振付⑤	基礎トレーニング&振付の練習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP D-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	ダンス業界又はエンターテインメント業界で卒業後稼いで行くために必要なスキル、基礎知識だったバックダンサーはもちろん自分という存在が主体となり求められるダンサー、振付師になれる授業をする。					
到達目標	日本国内は勿論世界でも通用するような技術やパフォーマンス力を習得する。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーション、基礎体力を身に付ける	筋トレ、体幹、アイソレーション
2		講義・演習	音を正確に捉えて身体を使えるようになる	筋トレ、体幹、アイソレーション
3		講義・演習	音を正確に捉えて身体を使えるようになる	筋トレ、体幹、アイソレーション
4		講義・演習	振りを覚えるスピードを上げる	筋トレ、体幹、アイソレーション
5		講義・演習	振りを覚えそれをパフォーマンスする力をつける	筋トレ、体幹、アイソレーション
6		講義・演習	緩急などをつけそれをパフォーマンスできるようにする	筋トレ、体幹、アイソレーション
7		講義・演習	スキルチェック	筋トレ、体幹、アイソレーション
8		講義・演習	ソロでも萎縮しないパフォーマンス力の習得する	筋トレ、体幹、アイソレーション
9		講義・演習	ステージでのパフォーマンスの仕方の習得	筋トレ、体幹、アイソレーション
10		講義・演習	振り付けの中での魅せ方の習得	筋トレ、体幹、アイソレーション
11		講義・演習	振り付けの中での魅せ方の向上	筋トレ、体幹、アイソレーション
12		講義・演習	自分らしさの表現の追求	筋トレ、体幹、アイソレーション
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP D-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	ダンス業界又はエンターテインメント業界で卒業後稼いで行くために必要なスキル、基礎知識だったバックダンサーはもちろん自分という存在が主体となり求められるダンサー、振付師になれる授業をする。					
到達目標	日本国内は勿論世界でも通用するような技術やパフォーマンス力を習得する。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーション、基礎体力を身に付ける	筋トレ、体幹、アイソレーション
2		講義・演習	音を正確に捉えて身体を使えるようになる	筋トレ、体幹、アイソレーション
3		講義・演習	音を正確に捉えて身体を使えるようになる	筋トレ、体幹、アイソレーション
4		講義・演習	振りを覚えるスピードを上げる	筋トレ、体幹、アイソレーション
5		講義・演習	振りを覚えそれをパフォーマンスする力をつける	筋トレ、体幹、アイソレーション
6		講義・演習	緩急などをつけそれをパフォーマンスできるようにする	筋トレ、体幹、アイソレーション
7		講義・演習	スキルチェック	筋トレ、体幹、アイソレーション
8		講義・演習	ソロでも萎縮しないパフォーマンス力の習得する	筋トレ、体幹、アイソレーション
9		講義・演習	ステージでのパフォーマンスの仕方の習得	筋トレ、体幹、アイソレーション
10		講義・演習	振り付けの中での魅せ方の習得	筋トレ、体幹、アイソレーション
11		講義・演習	振り付けの中での魅せ方の向上	筋トレ、体幹、アイソレーション
12		講義・演習	自分らしさの表現の追求	筋トレ、体幹、アイソレーション
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP E-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ●踊るための体作り ●様々な体の使い方を学ぶ ●音に合わせて自由に踊る ●コンビネーションを踊る ●業界やそれぞれの道で何が必要とされるか講義と実技 ●助言や生徒同士の意見から自分を見つめ自分を知る 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ●踊り全般に通用する体を作る ●音楽を聴く事、音楽を聴いて自然と体を動かす事に慣れる ●自分の理想通り踊れるようにする ●仕事の出来る人間、人から仕事を与えたいと思われる人間になる ●踊りや体型、人間性も含め自分を知る 					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、レベルチェック、授業の説明	基礎トレーニング&振付の練習
2		講義・演習	体幹を意識した筋肉トレーニングやストレッチ	基礎トレーニング&振付の練習
3		講義・演習	基礎的な体の使い方や動作の説明&練習	基礎トレーニング&振付の練習
4		講義・演習	基礎的な体の使い方や動作の説明&練習。またそれらを使った応用(振り)	基礎トレーニング&振付の練習
5		講義・演習	基礎的な体の使い方や動作の説明&練習。またそれらを使った応用(振り)	基礎トレーニング&振付の練習
6		講義・演習	場ミリやフォーメーションを意識した振り	基礎トレーニング&振付の練習
7		講義・演習	ポージングの練習と研究	基礎トレーニング&振付の練習
8		講義・演習	音に合わせて自由にリズムをとる練習	基礎トレーニング&振付の練習
9		講義・演習	音に合わせて自由にリズムをとる練習	基礎トレーニング&振付の練習
10		講義・演習	場ミリやフォーメーションを意識した振り	基礎トレーニング&振付の練習
11		講義・演習	場ミリやフォーメーションを意識した振り	基礎トレーニング&振付の練習
12		講義・演習	テストの振り渡し	基礎トレーニング&振付の練習
13		講義・演習	テスト	基礎トレーニング&振付の練習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP E-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ●踊るための体作り ●様々な体の使い方を学ぶ ●音に合わせて自由に踊る ●コンビネーションを踊る ●業界やそれぞれの道で何が必要とされるか講義と実技 ●助言や生徒同士の意見から自分を見つめ自分を知る 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ●踊り全般に通用する体を作る ●音楽を聴く事、音楽を聴いて自然と体を動かす事に慣れる ●自分の理想通り踊れるようにする ●仕事の出来る人間、人から仕事を与えたいと思われる人間になる ●踊りや体型、人間性も含め自分を知る 					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、レベルチェック、授業の説明	基礎トレーニング&振付の練習
2		講義・演習	体幹を意識した筋肉トレーニングやストレッチ	基礎トレーニング&振付の練習
3		講義・演習	基礎的な体の使い方や動作の説明&練習	基礎トレーニング&振付の練習
4		講義・演習	基礎的な体の使い方や動作の説明&練習。またそれらを使った応用(振り)	基礎トレーニング&振付の練習
5		講義・演習	基礎的な体の使い方や動作の説明&練習。またそれらを使った応用(振り)	基礎トレーニング&振付の練習
6		講義・演習	場ミリやフォーメーションを意識した振り	基礎トレーニング&振付の練習
7		講義・演習	ポージングの練習と研究	基礎トレーニング&振付の練習
8		講義・演習	音に合わせて自由にリズムをとる練習	基礎トレーニング&振付の練習
9		講義・演習	音に合わせて自由にリズムをとる練習	基礎トレーニング&振付の練習
10		講義・演習	場ミリやフォーメーションを意識した振り	基礎トレーニング&振付の練習
11		講義・演習	場ミリやフォーメーションを意識した振り	基礎トレーニング&振付の練習
12		講義・演習	テストの振り渡し	基礎トレーニング&振付の練習
13		講義・演習	テスト	基礎トレーニング&振付の練習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Freestyle A-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩崎浩太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	インストラクター10年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義と演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義と演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義と演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義と演習	研修	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義と演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義と演習	アイソレーション、複数のパーツを同時により複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義と演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義と演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義と演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義と演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義と演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義と演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
13		講義と演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
14		講義と演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
15		講義と演習	イベント週	前回の復習・レッスン後のアフターケア
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Freestyle A-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩崎浩太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	インストラクター10年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	研修	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時に複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義と演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
13		講義と演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
14		講義と演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
15		講義と演習	イベント週	前回の復習・レッスン後のアフターケア
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

科目名	Freestyle B-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩崎浩太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	インストラクター10年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスンの後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
4		講義・演習	研修	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時に複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
11		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
12		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
13		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
14		講義・演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
15		講義・演習	イベント週	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	Freestyle B-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩崎浩太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	インストラクター10年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	修学旅行	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時により複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
13		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
14			テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
15			イベント週	前回の復習・レッスン後のアフターケア
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

科目名	コンテンポラリー3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー。経験年数30年						
授業の学習内容	動きの質を高め、アカデミックでダイナミックな動き学ぶ。メンタル面の強化のための講義等する。 (動きのクオリティーを高めるには、思考の使い方が大切です)						
到達目標	動きのクオリティーの向上を図る。メンタル面の強化を図る。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	PART2ストレッチ、ムーブメント①、フロアーテクニク・ジャンプ①	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント②、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
3		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント③、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
4		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント④、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
5		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑤、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
6		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑥、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
7		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑦、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
8		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑧、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
9		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑨、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
10		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑩、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
11		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑪、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
12		講義・演習	成長のプロセス講義(日程変更あり)	筆記用具持参
13		講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策
14		講義・演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	反省と今後の対策
15		講義・演習	イベント週	反省と今後の対策
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷/東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	コンテンポラリー4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー。経験年数30年						
授業の学習内容	骨格の在り方、姿勢、筋肉の使い方を深め、動きの思考の連動を高める。 (骨と筋肉の運動が大切です。) 振付法の講義。(振付、構成法を学ぶ事で可能性を広げる)						
到達目標	強く柔らかな身体を目指し、正しい動き方を修得する。振付の向上。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	PART1ストレッチ、ムーブメント①、フロアーテクニク・ジャンプ①	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント②、フロアーテクニク・ジャンプ②	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
3		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント③、フロアーテクニク・ジャンプ③	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
4		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント④、フロアーテクニク・ジャンプ④	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
5		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑤、フロアーテクニク・ジャンプ⑤	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
6		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑥、フロアーテクニク・ジャンプ⑥	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
7		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑦、フロアーテクニク・ジャンプ⑦	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
8		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑧、フロアーテクニク・ジャンプ⑧	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
9		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑨、フロアーテクニク・ジャンプ⑨	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
10		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑩、フロアーテクニク・ジャンプ⑩	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
11		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑪、フロアーテクニク・ジャンプ⑪	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
12		講義・演習	振付法の講義	筆記用具持参
13		講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策
14		講義・演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	反省と今後の対策
15		講義・演習	イベント週	反省と今後の対策
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

科目名	テーマパークA-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳 竹内ゆかり
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習内容	テーマパークのパフォーマーに必要な基礎力、テクニックを身につけ、オーディション合格を目指す						
到達目標	(1)オーディション合格のために必要不可欠なテクニックを習得する。 (2)表情、見せ方など自らの表現が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介でのアピール方法	自分の目標を確認する
2		講義・演習	ストレッチの仕方、筋肉のトレーニング方法	ストレッチ・筋トレ
3		講義・演習	基本のテクニック(ターンの方法1)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
4		講義・演習	基本のテクニック(ターンの方法2)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
5		講義・演習	基本のテクニック(シェネ・ピケターン1)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
6		講義・演習	基本のテクニック(シェネ・ピケターン2)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
7		講義・演習	基本のテクニック(ロンデジャンプ)	ストレッチ・筋トレ・ターンの練習・今日の復習
8		講義・演習	基本のテクニック(アチチュードターン)	ストレッチ・筋トレ・ターンの練習・今日の復習
9		講義・演習	基本のテクニック(バットマン)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	習得したテクニックをクロスフロアで行う	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	8×2程度のコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	8×4程度のコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	試験(ピルエット・バットマン・コンビネーション)	前週のコンビネーションを練習して試験へ
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優 & 舞台芸術専門学校

科目名	テーマパークA-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳 竹内ゆかり
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習内容	テーマパークのパフォーマーに必要な基礎力、テクニックを身につけ、オーディション合格を目指す						
到達目標	(1)オーディション合格のために必要不可欠なテクニックを習得する。 (2)表情、見せ方など自らの表現が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ターン3(ペアテ)の方法	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
2		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	前週のコンビネーションを踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	表情など自己表現しながら踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	表情など自己表現しながら踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	3人ほどの小グループに分けて踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	間違えずに自分の踊りにして踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	3人ほどの小グループで自己アピールしながら踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	自己アピールしながら間違えずに踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	試験(ピルエット・バットマン・コンビネーション)	試験での反省を踏まえて目標を確認する。
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークB-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳 竹内ゆかり
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習内容	テーマパークのパフォーマーに必要な基礎力、テクニックを身につけ、オーディション合格を目指す						
到達目標	(1)オーディション合格のために必要不可欠なテクニックを習得する。 (2)表情、見せ方など自らの表現が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介でのアピール方法	自分の目標を確認する
2		講義・演習	ストレッチの仕方、筋肉のトレーニング方法	ストレッチ・筋トレ
3		講義・演習	基本のテクニック(ターンの方法1)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
4		講義・演習	基本のテクニック(ターンの方法2)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
5		講義・演習	基本のテクニック(シェネ・ピケターン1)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
6		講義・演習	基本のテクニック(シェネ・ピケターン2)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
7		講義・演習	基本のテクニック(ロンデジャンプ)	ストレッチ・筋トレ・ターンの練習・今日の復習
8		講義・演習	基本のテクニック(アチチュードターン)	ストレッチ・筋トレ・ターンの練習・今日の復習
9		講義・演習	基本のテクニック(バットマン)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	習得したテクニックをクロスフロアで行う	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	8×2程度のコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	8×4程度のコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	試験(ピルエット・バットマン・コンビネーション)	前週のコンビネーションを練習して試験へ
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークB-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳 竹内ゆかり
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習内容	テーマパークのパフォーマーに必要な基礎力、テクニックを身につけ、オーディション合格を目指す						
到達目標	(1)オーディション合格のために必要不可欠なテクニックを習得する。 (2)表情、見せ方など自らの表現が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ターン3(ペアテ)の方法	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
2		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	前週のコンビネーションを踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	表情など自己表現しながら踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	表情など自己表現しながら踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	3人ほどの小グループに分けて踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	間違えずに自分の踊りにして踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	3人ほどの小グループで自己アピールしながら踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	自己アピールしながら間違えずに踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	試験(ピルエット・バットマン・コンビネーション)	試験での反省を踏まえて目標を確認する。
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ヴォイストレーニングA-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングA-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングB-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングB-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングC-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングC-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングD-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングD-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	Heels A-3		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根 彩乃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴							
授業の学習内容	自分と向き合い、短所と長所を知り個性を伸ばす。						
到達目標	Heels を履きながらバランスがとれた身体作りと表現力						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	ストレッチへの理解①		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
2		講義・演習	ストレッチへの理解② 応用		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
3		講義・演習	筋カトレーニングへの理解①		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
4		講義・演習	筋カトレーニングへの理解② 応用		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
5		講義・演習	振り付けの中で基礎を活かす①		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
6		講義・演習	振り付けの中で基礎を活かす② 応用		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
7		講義・演習	表情をつけて表現する①		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
8		講義・演習	表情をつけて表現する② 応用		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
9		講義・演習	少人数に分け、さらに自分と向き合う。		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
10		講義・演習	テスト対策①		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
11		講義・演習	テスト週		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
12		講義・演習	テストの反省		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
13		講義・演習	後期に向けて復習		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	Heels A-4		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根 彩乃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴							
授業の学習内容	対応力、個性などを発揮できるように						
到達目標	Heels を履きながらバランスがとれた身体作りと表現力						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	前期の復習(ストレッチ+ α)		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
2		講義・演習	前期の復習(筋カトレーニング+ α)		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
3		講義・演習	短所と長所への理解①		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
4		講義・演習	短所と長所への理解②		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
5		講義・演習	1,2を意識してコンビネーションの中で応用		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
6		講義・演習	個性を磨く①		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
7		講義・演習	個性を磨く②		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
8		講義・演習	応用(他のダンサーの良い所を見る)		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
9		講義・演習	振り覚え対策①		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
10		講義・演習	振り覚え対策②		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
11		講義・演習	テスト対策①		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
12		講義・演習	テスト対策②		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
13		講義・演習	テスト週		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	Heels B-3		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根 彩乃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴							
授業の学習内容	自分と向き合い、短所と長所を知り個性を伸ばす。						
到達目標	Heels を履きながらバランスがとれた身体作りと表現力						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	ストレッチへの理解①		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
2		講義・演習	ストレッチへの理解② 応用		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
3		講義・演習	筋カトレーニングへの理解①		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
4		講義・演習	筋カトレーニングへの理解② 応用		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
5		講義・演習	振り付けの中で基礎を活かす①		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
6		講義・演習	振り付けの中で基礎を活かす② 応用		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
7		講義・演習	表情をつけて表現する①		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
8		講義・演習	表情をつけて表現する② 応用		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
9		講義・演習	少人数に分け、さらに自分と向き合う。		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
10		講義・演習	テスト対策①		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
11		講義・演習	テスト週		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
12		講義・演習	テストの反省		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
13		講義・演習	後期に向けて復習		ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	Heels B-4		必修 選択	選択	年次	2	担当教員	関根 彩乃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴								
授業の学習内容	対応力、個性などを発揮できるように							
到達目標	Heels を履きながらバランスがとれた身体作りと表現力							
評価方法と基準	実技テストによる採点100%							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	前期の復習(ストレッチ+ α)			ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
2		講義・演習	前期の復習(筋カトレーニング+ α)			ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
3		講義・演習	短所と長所への理解①			ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
4		講義・演習	短所と長所への理解②			ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
5		講義・演習	1,2を意識してコンビネーションの中で応用			ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
6		講義・演習	個性を磨く①			ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
7		講義・演習	個性を磨く②			ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
8		講義・演習	応用(他のダンサーの良い所を見る)			ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
9		講義・演習	振り覚え対策①			ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
10		講義・演習	振り覚え対策②			ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
11		講義・演習	テスト対策①			ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
12		講義・演習	テスト対策②			ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
13		講義・演習	テスト週			ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習		
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ			レポートの提出		
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ			レポートの提出		
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	ジャズコンテ3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺祐子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊地朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ビルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ デベロッパ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。パットマンからピケシエネ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。半シエネービルエット	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを少人数で鏡無しで踊れる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ジャズコンテ4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺祐子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊地朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に着けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ビルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ デベロッパ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。パットマンからピケシエネ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。半シエネ→ビルエット	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを少人数で鏡無しで踊れる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	TAP3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	SWINGBO X
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	タップダンスの基礎ステップの習得 コンビネーション、クロスフロアでの練習 リズムトレーニング						
到達目標	舞台、ミュージカルでパフォーマンスできるようになる ひと通りのベーシックなステップを踏めるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	シャッフル・ブラッシュ・シムシヤム	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	前回の復習、スウィングの練習	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	タイムステップ(トリプルまで)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	クロスフロア、スラップ、バックステップ	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	スウィングのリズムでのコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	プルバックの練習	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	ターン系のステップ練習、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	今までの復習、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	イーブンタイムステップ	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	ローダウン	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	ローダウン	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	前期試験	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけではなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	TAP4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	SWINGBO X
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	タップダンスの応用ステップの習得 コンビネーション、クロスフロアでの練習 リズムトレーニング						
到達目標	舞台、ミュージカルでパフォーマンスできるようになる ひと通りのステップを踏めるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	スウィングの強化①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	スウィングの強化②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	タイムステップ強化	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	スウィングのリズムでのコンビネーション①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	スウィングのリズムでのコンビネーション②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	ターン系のステップ応用、コンビネーション①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	ターン系のステップ応用、コンビネーション②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	今までの復習、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	イーブンタイムステップ	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	ローダウン①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	ローダウン②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	後期試験	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけではなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	クリエイション3(ダンス)		必修 選択	選択	年次	2	担当教員	日置望喜
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	ダンサーおよび指導18年							
授業の学習内容	他のレッスンで磨いたスキルを活かして、学生どうして作品を作っていく。その際、技術だけでなく団結力、積極性、先見性、習慣性、モラル、コミュニケーション能力、ディレクション受け入れ能力、危機管理能力、問題を解決する能力、時間管理等の能力のスキルアップも求められることに少しずつ気付いていく。クリエイティブかつ、ディレクションの受けられる授業。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・モラルがあり、どんな人ともコミュニケーションの取れる人材を作る。 ・協調性を持って作品を創作できるように積極的な人材育成。 ・ダンサーとしてのスキルアップ&振り付けや作品作りのスキルアップ ・応用力や適応力、ハプニングに強い人材育成。 ・決められたルールや約束をしっかりと守れる人材育成。 							
評価方法と基準	実技テストによる採点100%							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	今後1年間の注意点など、リーダー決め、ユニット作成			筆記用具		
2		講義・演習	チェックのやり方の説明&実践、ユニット作成			筆記用具		
3		講義・演習	6/8,9の学祭に向けてユニット作り、自分達で作品を作り、毎週講師のHIYOがディレクションをし、手直しを行う。			踊れる用意 筆記用具 本番近くには衣装を用意		
4		講義・演習						
5		講義・演習						
6		講義・演習						
7		講義・演習	夏休み明けまでWe areに動きが無いので、トレーニング、様々なジャンルでの基礎作り、場当たり方法などレッスンする。					
8		講義・演習						
9		講義・演習						
10		講義・演習						
11		講義・演習						
12		講義・演習	ここからWe are作品作りに向けて始動					
13		講義・演習						
14		講義・演習						
15		講義・演習	We areの進行状況によって授業内容は臨機応変に変える場合があります。					
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	クリエイション4(ダンス)		必修 選択	選択	年次	2	担当教員	日置望喜
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	ダンサーおよび指導18年							
授業の学習内容	他のレッスンで磨いたスキルを活かして、学生どうして作品を作っていく。その際、技術だけでなく団結力、積極性、先見性、習慣性、モラル、コミュニケーション能力、ディレクション受け入れ能力、危機管理能力、問題を解決する能力、時間管理等の能力のスキルアップも求められることに少しずつ気付いていく。クリエイティブかつ、ディレクションの受けられる授業。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・モラルがあり、どんな人ともコミュニケーションの取れる人材を作る。 ・協調性を持って作品を創作できるように積極的な人材育成。 ・ダンサーとしてのスキルアップ&振り付けや作品作りのスキルアップ ・応用力や適応力、ハプニングに強い人材育成。 ・決められたルールや約束をしっかり守れる人材育成。 							
評価方法と基準	実技テストによる採点100%							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	We areに向けた正式ユニット作成			筆記用具		
2		講義・演習	We areに向けた正式ユニット打ち合わせ・実践			筆記用具		
3		講義・演習	We areに向けて ユニット作り、自分達で 作品を作り、毎週講師の HIYOがディレクションをし、 手直しを行う。			踊れる用意 筆記用具 本番近くには 衣装を用意		
4		講義・演習						
5		講義・演習						
6		講義・演習						
7		講義・演習						
8		講義・演習						
9		講義・演習						
10		講義・演習						
11		講義・演習						
12		講義・演習	We areに向けたホールリハーサル および、場当たり、本番					
13		講義・演習						
14		講義・演習	We areのフィードバック					
15		講義・演習	卒業後の立ち振る舞いについてレポート・ナンバー作成					
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	HOUSE 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池田 卓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を正しく理解し、HIP HOPなどにも共通するリズムやアームス、ボディコントロールなどを使いこなせるようにする						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・HOUSEのベーシックな動き(体の止め方)を習得すること ・HOUSE特有のスピード感、タメ、止めを体現すること 						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎①(ベーシックムーブ)	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE基礎②(ベーシックムーブ応用)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	リズム&アイソレーション	各自授業内容を復習
4		講義・演習	リズム&ベーシックムーブ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	コンビネーション	各自授業内容を復習
6		講義・演習	”遊び”を混ぜる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フロアを混ぜる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	アクロバットを混ぜる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでHOUSEを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HOUSE 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池田 卓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を使い、個性的に踊りこなせるように指導をする						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・振付は勿論、フリーでもHOUSEを踊れるようにすること ・様々な曲調に対応したHOUSEができるようになること 						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎の復習	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HOUSE応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HOUSE基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BREAKIN3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石田 創
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	BREAKIN13年 ブレイクダンス日本代表 w-inds.バックダンサー等						
授業の学習 内容	ブレイクダンサーにとって必要な身体作り、フロアムーブを中心に、フットワーク、フリーズ、ムーブメントの知識を取り入れ次実践。必要なメソッドの習得、またソロアプローチ方やインプロテクニクを学ぶ						
到達目標	ブレイクダンスはstreet danceだけではなく身体作り・筋肉トレーニングが取り入れられているので幅の広いダンステクニクを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ブレイクダンスに必要なストレッチ法の習得	各自授業内容を復習
2		講義・演習	基本的なステップムーブの応用・実践	各自授業内容を復習
3		講義・演習	チェアー・スピンの応用・実践	各自授業内容を復習
4		講義・演習	トップロックまでの振付をスムーズに行う	各自授業内容を復習
5		講義・演習	フットワーク・6ステップの実践	各自授業内容を復習
6		講義・演習	バックスピンの実践	各自授業内容を復習
7		講義・演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
8		講義・演習	フリーズの種類を応用・実践	各自授業内容を復習
9		講義・演習	チェアー・エアチェアー・マックス・ジョーダン(片手フリーズ系)	各自授業内容を復習
10		講義・演習	倒立・ラビット・片手ラビット(ステッピン)の実践	各自授業内容を復習
11		講義・演習	マカコ・バク転の実践	各自授業内容を復習
12		講義・演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
13		講義・演習	振付けられた振りといンプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BREAKIN4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石田 創
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	BREAKIN13年 ブレイクダンス日本代表 w-inds.バックダンサー等						
授業の学習 内容	ブレイクダンサーにとって必要な身体作り、フロアムーブを中心に、フットワーク、フリーズ、ムーブメントの知識を取り入れ実践。必要なメソッドの習得、またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	ブレイクダンスはstreet danceだけではなく身体作り・筋肉トレーニングが取り入れられているので幅の広いダンステクニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ブレイクダンスに必要なストレッチ法の習得	各自授業内容を復習
2		講義・演習	基本的なステップムーブの応用・実践	各自授業内容を復習
3		講義・演習	チェアー・スピンの応用・実践	各自授業内容を復習
4		講義・演習	トップロックまでの振付をスムーズに行う	各自授業内容を復習
5		講義・演習	フットワーク・6ステップの実践	各自授業内容を復習
6		講義・演習	バックスピンの実践	各自授業内容を復習
7		講義・演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
8		講義・演習	フリーズの種類を応用・実践	各自授業内容を復習
9		講義・演習	チェアー・エアチェアー・マックス・ジョーダン(片手フリーズ系)	各自授業内容を復習
10		講義・演習	倒立・ラビット・片手ラビット(ステッピン)の実践	各自授業内容を復習
11		講義・演習	マカコ・バク転の実践	各自授業内容を復習
12		講義・演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
13		講義・演習	振付けられた振りといンプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	POP 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西野 恭 平
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ダンサーにとって必要な身体作り、street dance 特にPOPPIN DANCEに必要なメソッドの習得、 またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	Poppinはstreet danceだけではなくjazzやコンテンポラリーにも多く取り入れられているので幅の広いダンステク ニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ヒットが実践できる	各自授業内容を復習
2		講義・演習	タイムストップが実践できる	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ハンドウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
4		講義・演習	ボディウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
5		講義・演習	キングコブラが実践できる	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ティッキングが実践できる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フローティングが実践できる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ブガルーリズムが実践できる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ブガルーステップが実践できる	各自授業内容を復習
10		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
12		講義・演習	インプロが実践できる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	振付けられた振りとインプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	POP 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西野 恭 平
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ダンサーにとって必要な身体作り、street dance 特にPOPPIN DANCEに必要なメソッドの習得、 またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	Poppinはstreet danceだけではなくjazzやコンテンポラリーにも多く取り入れられているので幅の広いダンステク ニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ヒットが実践できる	各自授業内容を復習
2		講義・演習	タイムストップが実践できる	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ハンドウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
4		講義・演習	ボディウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
5		講義・演習	キングコブラが実践できる	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ティッキングが実践できる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フローティングが実践できる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ブガルーリズムが実践できる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ブガルーステップが実践できる	各自授業内容を復習
10		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
12		講義・演習	インプロが実践できる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	振付けられた振りとインプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクロバット3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	井上 守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	特殊技能であるアクロバットを習得するのが目的。 マットを利用して基礎的なマット運動から始めて徐々に高難度のタンブリング系の技の練習を行う。 アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が望めるので他のダンスや実技 クラスにも活かせる。 具体的に技を習得することの達成感や、難しいことにも繰り返し挑戦する意義を学ぶ。						
到達目標	技の習得やアクロバット技術への理解を深めることにより、表現力の幅を広げる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業内容、注意事項の説明。マット運動の基礎練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	側転の応用、前方転回(ハンドスプリング)を習得する①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	側転の応用、前方転回(ハンドスプリング)を習得する②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	前方転回のバリエーションを習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	前方転回のバリエーションを習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	前方転回、側宙の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	前方転回、側宙の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	前方転回、側宙、バク転の説明と練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	基礎練習、前方転回練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	実技試験。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
15		講義・演習	前期のまとめ、バク転の練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
準備学習 時間外学習		基礎トレーニング、体験トレーニングを随時行う。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクロバット4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	井上 守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<p>特殊技能であるアクロバットを習得するのが目的。 基礎マット運動、タンブリング系に加え、カポエイラやトリッキングなどの動きを取り入れた練習を行う。 アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が望めるので他のダンスや実技 クラスにも活かせる。 具体的に技を習得することの達成感や、難しいことにも繰り返し挑戦する意義を学ぶ。</p>						
到達目標	技の習得やアクロバット技術への理解を深めることにより、表現力の幅を広げる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業内容、注意事項の説明。マット運動の基礎練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	側転の応用、前方転回(ハンドスプリング)を習得する①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	側転の応用、前方転回(ハンドスプリング)を習得する②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	前方転回、側宙、バク転の説明と練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	前方転回、側宙、バク転の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	前方転回、側宙、バク転の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	応用技の練習、バク転の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	応用技の練習、バク転の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	実技試験。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	応用技の練習、バク転の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
15		講義・演習	応用技の練習、バク転の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
準備学習 時間外学習		基礎トレーニング、体験トレーニングを随時行う。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	発声滑舌3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。教員歴8年						
授業の学習 内容	身につけた発声・滑舌を元実践的なオーディション原稿を使つての演習と講義を行います。現場に出ても技術を研鑽し続けられる精神力を鍛えます。						
到達目標	表現力の向上、他人の良いところを盗み、悪いところを自身の技術向上に役立てるように反映させられるようになる。声優プロダクションへの所属を目指す。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	発声・滑舌のおさらい。 1年次の復習 腹式呼吸や滑舌練習、外郎売など	滑舌を意識した外郎売の練習
2		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ1 ボイスサンプル課題について考えてみる	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
3		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ2 自分に合うキャラクターとその発声	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
4		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ3 他人の演習から、自分のキャラクターをつかむ	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
5		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ4 所属を希望する事務所に合わせたボイスサンプルについて	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
6		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ5 ナレーション原稿に必要な発声滑舌	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
7		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ6 企業課題へのアドバイス	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
8		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ7 企業課題でのフィードバックを踏まえた練習法	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
9		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ8 初見読みについて	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
10		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ9 初見読み実践	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
11		講義・演習	テスト。セリフや詩などの原稿を当日配布。自分なりに解釈して披露。	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
12		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ10 初見読みを通じ、自身の弱点を知る	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
13		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ11 後期に向けた課題	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			腹式呼吸。滑舌練習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	演劇ワークショップ3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	90 (6)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲームを実施 与えられた役を演じるための準備を学び、役作りを行う 練習(稽古)と、その公演本番を経験し、俳優として必要な技術とマナーを学ぶ						
到達目標	役を正しく理解し、イメージをした演技をできるようになる。 また、演出家の求める演技をできるようになる。(ディレクションに答える) 台詞の裏側にある感情を表現できるようになる。(サブテキストに気づき、考えていけるようになる) 俳優に必要なコミュニケーション力・人間力を身に付けられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 目標を定める・日本語の文法を学ぶ	文法の文例を練習してくる
2		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 公演用台本配布・初見読み	台本を読めるようにしてくる(漢字・アクセント チェックなど)
3		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 前回の台本を読む・脚本解釈	本読みをしてくる・やりたい役を定める
4		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 前回の台本のキャストオーディション	本読みをしてくる・オーディションの反省をす る
5		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ キャスティング発表・本読み	自分の役の本読みとサブテキストを考える
6		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 台本の本読み	自分の役の本読みとサブテキストを考える
7		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 台本の本読み	台詞を覚える
8		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 立ち稽古	動き・演出を整理し、理解、覚える
9		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 立ち稽古	すべてを練習し、理解、覚える 衣裳や小道具を考え、準備を進める
10		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 立ち稽古	すべてを練習し、理解、覚える 衣裳を決定、稽古で使用できるようにする
11		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 通し稽古	すべてを練習し、理解、覚える 衣裳・小道具を準備する
12		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 通し稽古	すべてを練習し、理解、覚える 衣裳・小道具を準備する
13		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 通し稽古	すべてを練習し、理解、覚える 発表当日の段取り確認
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布された公演台本・アクセント確認⇒アクセント辞典を使用				

科目名	演劇ワークショップ4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	90 (6)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲームを実施 与えられた役を演じるための準備を学び、役作りを行う 練習(稽古)と、その公演本番を経験し、俳優として必要な技術とマナーを学ぶ						
到達目標	役を正しく理解し、イメージをした演技をできるようになる。 また、演出家の求める演技をできるようになる。(ディレクションに答える) 台詞の裏側にある感情を表現できるようになる。(サブテキストに気づき、考えていくことができるようになる) 俳優に必要なコミュニケーション力・人間力を身に付けられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・卒業公演稽古はじめ／台本配布	公演用稽古・練習(自主練等の段取り)
2		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・台本の本読み	公演用稽古・脚本読み
3		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・台本の本読み	公演用稽古・脚本読み
4		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・キャストオーディション	台本読み・脚本理解
5		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・キャスト発表・本読み	台本読み・脚本理解・セリフを覚える
6		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・半立ち稽古	台本読み・脚本理解・セリフを覚える
7		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・半立ち稽古	台本読み・脚本理解・セリフを覚える
8		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・立ち稽古	動き、演出を理解し、覚える
9		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・立ち稽古	動き、演出を理解し、覚える
10		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・立ち稽古	公演全体のことを考える (衣裳・小道具・動員など考え決める)
11		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・通し稽古	公演全体のことを考える (衣裳・小道具・動員など考え決める)
12		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・通し稽古	公演全体のことを考える (衣裳・小道具・動員など考え決める)
13		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・通し稽古	公演全体のことを考える (衣裳・小道具・動員など考え決める)
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布された公演台本・アクセント確認⇒アクセント辞典を使用				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	殺陣3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	所 博昭
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	アクション俳優、スタントマン、技斗で活動して30年						
授業の学習 内容	アクションとは本来(行動、動作)を意味する英語ですが、日本では暴力全般を指します。一口に暴力と言っても、殴る、蹴る、極める、投げる、切る、撃つ、等多義に渡り、役(キャラクター)によってもその行動は全く変わってきます。ここでは素手での暴力と痛みに注目し、空手の理論から武道を習ってない一般人的な暴力と痛みまでを演技として表現する事、また受け手のリアクション表現を学びます。						
到達目標	暴力と痛みを表現する為に必要な技術と演技を覚える						
評価方法と基準	実技:各種の技とリアクションを表現できる=40% 理解度:攻撃の強さとそれに伴う痛みの程度を区別できる=30% 授業態度:イメージトレーニングや自主トレを怠らず、毎回の授業での講師や同級生の意見や行動から新しい発見を学ぶ事ができる=30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	拳の作り方、構え、空手の攻撃(正拳突き)	イメージトレーニング、柔軟、筋トレ
2		講義・演習	アクション式殴り(顔)、フック(顔、腹)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
3		講義・演習	リアクション(顔)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
4		講義・演習	リアクション(腹)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
5		講義・演習	空手の防御(上段受け、内受け、外受け、下段受け)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
6		講義・演習	攻撃のかわし方(さばき、ダッキング)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
7		講義・演習	空手の蹴り1(前蹴り、蹴り上げ、回し蹴り)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
8		講義・演習	空手の蹴り2(足刀、後ろ回し蹴り)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
9		講義・演習	特殊蹴り1(外蹴り、内蹴り)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
10		講義・演習	特殊蹴り2(膝蹴り、膝蹴りのリアクション)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
11		講義・演習	特殊技(前肘打ち、後ろ肘打ち、肘打ちの受け方)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
12		講義・演習	特殊技(関節技各種、関節技の受け)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			TV、映画、DVD、アニメ、動画、舞台、漫画、小説等のアクションを観て、他の俳優やアクション俳優、武道家がどう表現をしているか、またはどう動いているかを研究する。自分が出れるようになる為に必要な訓練方法(自主トレ、柔軟、筋トレ等)を見つけて行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	殺陣4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	所 博昭
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	アクション俳優、スタントマン、技斗として活動して30年						
授業の学習 内容	個々が個別の技を覚えて出来るようになってもそれはアクションではありません。全てのアクションは集団行動に依って成り立ちます。複数の出演者が攻撃、被害を繰り返します。更に、それを視聴者や観客に観てもらい、感動を生ませて初めてアクションとなります。カメラの特性を知り、動画で自分の演技を観て足りない部分を見つけます。また、特別授業としてモデルガンを使い、仕組みや種類、取り扱い方のガンアクションを学びます。						
到達目標	出演者と息を合わせ、アクションと演技を組み合わせる事が出来る様になる						
評価方法と基準	実技:安全を確保しつつアクションと演技を組み合わせる=40% 理解度:瞬間瞬間で出来ること、相手にさせられる事を判断できる=30% 授業態度:講師や同級生の演技や意見から幅広く演技プランを見つけ出す=30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	カメラの特性とアクションのバレ	前期の復習、イメトレ、自主トレ
2		講義・演習	1vs1でのアクションとその考察1	前週の復習、イメトレ、自主トレ
3		講義・演習	1vs1でのアクションとその考察2	前週の復習、イメトレ、自主トレ
4		講義・演習	1vs1でのアクションとその考察3	前週の復習、イメトレ、自主トレ
5		講義・演習	1vs2でのアクションとその考察2	前週の復習、イメトレ、自主トレ
6		講義・演習	1vs2でのアクションとその考察2	前週の復習、イメトレ、自主トレ
7		講義・演習	1vs2でのアクションとその考察3	前週の復習、イメトレ、自主トレ
8		講義・演習	1vs多でのアクションとその考察1	前週の復習、イメトレ、自主トレ
9		講義・演習	1vs多でのアクションとその考察2	前週の復習、イメトレ、自主トレ
10		講義・演習	1vs多でのアクションとその考察3	前週の復習、イメトレ、自主トレ、
11		講義・演習	拳銃の仕組み、種類、構え方	前週の復習、イメトレ、自主トレ
12		講義・演習	ガンアクションとその考察	前週の復習、イメトレ、自主トレ
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			TV、アニメ、映画、DVD、動画、舞台、漫画、小説等を観て他の俳優やアクション俳優、キャラクターがどう表現し、どう動いているかを研究する。自分がやりたい事、出来るようになる為に必要な訓練方法(自主トレ、柔軟、筋トレ等)を見つけて行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ステージアクション1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	服部整 治
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	演劇ユニットSPIRALCHARIOTS主宰・主な殺陣経歴 SEGA原作2.5次元舞台「レンタヒーロー」「ゴールデンアックス」						
授業の学習 内容	剣等の得物を使った殺陣指導です。基本から見栄えのあるアクション。実際に殺陣シーンを作り上げるまで手をつけて、演出家の観点からも見栄えがあり、ちゃんとその殺陣を感情を乗せて演じる役者になれる授業を展開します。						
到達目標	①基本的な動きを身に着ける→②基本的な刀の振り(十手)を身に着ける→③つけられた手をすぐに体現出来るようになる→④集団の中で「からみ」と「芯」の違いをとらえる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、学習の目的説明	殺陣シーンのある映画を鑑賞する
2		講義・演習	①基本動作が出来るようになる。	部位の名称、基本型など
3		講義・演習	②基本動作が出来るようになる。	所作から十手の説明
4		講義・演習	①型からの打ち込み練習	2人組みの3手
5		講義・演習	②型からの打ち込み練習	2人組みの6手
6		講義・演習	実際の手をつける上での座学	前週の復習、イメトレ、自主トレ
7		講義・演習	①殺陣シーン参加出来るようになる。	前週の復習、イメトレ、自主トレ
8		講義・演習	②殺陣シーン参加出来るようになる。	前週の復習、イメトレ、自主トレ
9		講義・演習	③殺陣シーン参加出来るようになる。	前週の復習、イメトレ、自主トレ
10		講義・演習	④殺陣シーン参加出来るようになる。	前週の復習、イメトレ、自主トレ
11		講義・演習	⑤殺陣シーン参加出来るようになる。	前週の復習、イメトレ、自主トレ
12		講義・演習	①芝居を交えて殺陣参加が出来る。	前週の復習、イメトレ、自主トレ
13		講義・演習	②芝居を交えて殺陣参加が出来る。	前週の復習、イメトレ、自主トレ
14		講義・演習	テスト(実技)	内容は授業内で発表
15		講義・演習	まとめの授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ステージアクション2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	服部整 治
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	演劇ユニットSPIRALCHARIOTS主宰・主な殺陣経歴 SEGA原作2.5次元舞台「レンタヒーロー」「ゴールデンアックス」						
授業の学習 内容	剣等の得物を使った殺陣指導です。基本から見栄えのあるアクション。実際に殺陣シーンを作り上げるまで手をつけて、演出家の観点からも見栄えがあり、ちゃんとその殺陣を感情を乗せて演じる役者になれる授業を展開します。						
到達目標	①基本的な動きを身に着ける→②基本的な刀の振り(十手)を身に着ける→③つけられた手をすぐに体現出来るようになる→④集団の中で「からみ」と「芯」の違いをとらえる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用①	殺陣シーンのある映画を鑑賞する
2		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用②	部位の名称、基本型など
3		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用③	所作から十手の説明
4		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用④	2人組みの3手
5		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用⑤	2人組みの6手
6		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用⑥	前週の復習、イメトレ、自主トレ
7		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用⑦	前週の復習、イメトレ、自主トレ
8		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用⑧	前週の復習、イメトレ、自主トレ
9		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用⑨	前週の復習、イメトレ、自主トレ
10		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用⑩	前週の復習、イメトレ、自主トレ
11		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用⑪	前週の復習、イメトレ、自主トレ
12		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用⑫	前週の復習、イメトレ、自主トレ
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	まとめの授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	シアターJAZZ 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	谷 さくら
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	俳優でも踊りを要求される現場が増えてる今、仕事をして行く上でのカテゴリーの一つとして踊りを踊れる事は重要である。芝居と同じで様々なシチュエーションでの表現を踊りで出来る様に、自分の身体と向き合い必要な集中力や基礎体力を養う。						
到達目標	表現・自己アピールをして行く上で、魅せ方や立ち姿など自分の身体をしっかり観察出来る観察力、想像力、キャッチ力などを意識出来る様になる。 現在の自分より二周りほど広い視野を持ち、身を置ける様になる。 身体の柔軟性、基礎体力を習得し、また、厳しい俳優の世界で続けることのできる精神力も養えるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	2人組でのストレッチ。筋トレ。ターンステップ。音楽に合わせて、振付コンビネーションを覚えて踊る	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
2		講義・演習	2人組でのストレッチ。筋トレ。ターンステップからバランス。音楽に合わせて、振付コンビネーションを覚えて踊る	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
3		講義・演習	筋トレ。ターンステップからバランス。音楽に合わせて、振付コンビネ	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
4		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ターンバランス。新しいコンビネーションに入る。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
5		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ターン。コンビネーション進める。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
6		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。アイソレーション。ターン。コンビネーション進める。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
7		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ウォーキング。ターン。コンビネーションを見せ合う。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
8		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。前期テスト課題に入る。 テスト内容①ウォーキング②ターン③コンビネーション	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
9		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付コンビネーション① ターンを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
10		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付コンビネーション② ステップを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
11		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付コンビネーション③ 複数の技を組み合わせて踊ることを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	テストの実施 人前で魅せる表現を習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
14		講義・演習	前期のまとめ 後期に向けた課題発表	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			振り入れられたダンスを自主練すること	
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書は使用しない。動きやすい服装、靴で参加。タオル・水分も必ず用意する				

科目名	シアターJAZZ 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	谷 さくら
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	俳優でも踊りを要求される現場が増えてる今、仕事をして行く上でのカテゴリーの一つとして踊りを踊れる事は重要である。芝居と同じで様々なシチュエーションでの表現を踊りで出来る様に、自分の身体と向き合い必要な集中力や基礎体力を養う。						
到達目標	表現・自己アピールをして行く上で、魅せ方や立ち姿など自分の身体をしっかり観察出来る観察力、想像力、キャッチ力などを意識出来る様になる。 現在の自分より二周りほど広い視野を持ち、身を置ける様になる。 身体の柔軟性、基礎体力を習得し、また、厳しい俳優の世界で続けることのできる精神力も養えるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)①振りの正確な修得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
2		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)②振りの細かなニュアンス	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
3		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)③振りの表現について	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
4		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)④互いに見せ合う	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
5		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ターンバランス。新しいコンビネーションに入る。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
6		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。アイソレーション。ターン。コンビネーションを進める。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
7		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ウォーキング。ターン。コンビネーションを見せ合う。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
8		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。後期テスト課題に入る。テスト内容①ウォーキング②ターン③コンビネーション	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
9		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付コンビネーション① ターンを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
10		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付コンビネーション② ステップを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
11		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付コンビネーション③ 複数の技を組み合わせて踊ることを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
12		講義・演習	テストの実施 人前で魅せる表現を習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
13		講義・演習	前期のまとめ 2年に向けた課題を各自考え、シェアする	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			振り入れられたダンスを自主練すること	
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書は使用しない。動きやすい服装、靴で参加。タオル・水も必ず用意する				

科目名	映像アクティング 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	既存の脚本とビデオカメラを使用し、映像に対応できる演技を学ぶ						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ前で、少しでも自分の考えた通りに動けるようになる。 ・現状の自分と、なりたい自分をしっかり自覚できるようになる。 ・演技が楽しいと感じ、この役を演じてみたいと自ら積極性を持てるようになる。 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	【課題1】芝居を作る/本読み① 話の粗筋を理解する	台本の読み込みと理解をしてくる
2		講義・演習	【課題1】芝居を作る/本読み② 登場人物を理解する	台本の読み込みと理解をしてくる
3		講義・演習	【課題1】芝居を作る/立ち稽古① 相手と芝居が作れるようになる	台本を相手役と自主練習
4		講義・演習	【課題1】芝居を作る/立ち稽古② 自分の演技プランを考える	台本を相手役と自主練習
5		講義・演習	【課題1】芝居を作る/立ち稽古③ 自分の思った動きが出来るようになる	衣裳や小道具なども含め、準備
6		講義・演習	【課題1】カメラの前で芝居をする カメラに対する芝居を考える事が出来る	自分の演技について振り返る
7		講義・演習	【課題1】自分の芝居を見してみる① 自分を客観的に見れるようになる	次回課題の台本を読む
8		講義・演習	【課題2】芝居を作る/本読み① 話の粗筋・登場人物を理解する	台本の読み込みと理解をしてくる
9		講義・演習	【課題2】芝居を作る/立ち稽古① 相手と芝居が作れるようになる	台本の読み込みと理解をしてくる
10		講義・演習	【課題2】芝居を作る/立ち稽古② 自分の演技プランを考える	台本を相手役と自主練習
11		講義・演習	【課題2】芝居を作る/立ち稽古③ 自分の思った動きが出来るようになる	台本を相手役と自主練習
12		講義・演習	【課題2】カメラの前で芝居をする カメラに対する芝居を考える事が出来る	衣裳や小道具なども含め、準備
13		講義・演習	【課題2】自分の芝居を見してみる② 自分を客観的に見れるようになる	後期撮影に向けたガイダンスを受けて準備
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			①レポート	
【使用教科書・教材・参考書】				
参考書「映画の演技」マイケル・ケイン著 劇書房				

科目名	映像アクティング 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	主に実践。プロのスタッフと共に1つの作品を作り、その過程も含め映像演技を学ぶ。 オリジナル脚本を使用するため、現場での俳優としての立ち振る舞いや責任感も養う。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ前で、少しでも自分の考えた通りに動けるようになる。 ・演技を仕事として生きていく事のイメージが出来るようになる。 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	作品作り/本読み① 作品の内容を理解する	台本の読み込みと理解をしてくる
2		講義・演習	作品作り/本読み② 登場人物を理解する	台本の読み込みと理解をしてくる
3		講義・演習	作品作り/本読み③ 自分の演技プランを考える	台本の読み込みと理解をしてくる
4		講義・演習	作品作り/本読み④ 作品に対しての自分の役割を考える	台本の読み込みと理解をしてくる
5		講義・演習	作品作り/立ち稽古① 自分の演技プランで動いてみる	台本の読み込みと理解をしてくる 衣裳・小道具を用意する
6		講義・演習	作品作り/立ち稽古② 演出意図を理解する	台本の読み込みと理解をしてくる 衣裳・小道具を用意する
7		講義・演習	作品作り/立ち稽古③ 収録スケジュールとスタッフの確認	台本の読み込みと理解をしてくる 衣裳・小道具を用意する
8		講義・演習	作品作り/立ち稽古④ 現場での立ち振る舞い、最終リハ	台本の読み込みと理解をしてくる 撮影スケジュール、担当割を確認し準備
9		講義・演習	作品作り/撮影① 現場を体験する	撮影準備
10		講義・演習	作品作り/撮影② 現場を体験する	撮影準備
11		講義・演習	作品作り/撮影③ 現場を体験する	撮影準備
12		講義・演習	作品作り/撮影④ 現場を体験する	撮影準備
13		講義・演習	自分たちの作品を見る、2年間のまとめ 卒業後に向けてのメッセージ	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			レポートや撮影に向けた準備を実施すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				
参考書「映画の演技」 マイケル・ケイン著 劇書房				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	アニソンゼミ1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。歌唱指導30年						
授業の学習 内容	アニソンを文化ととらえ、これからどう歌っていくかを求められるかを追求し、アーティストとしての自分を研究し、各自選曲、ステージ上での歌唱(基本発声・音程・リズム・表現・ステージング等)をレクチャーする。 アーティストとしての自身の方向性を考えながら、ステージングや衣裳などセルフプロデュースも学ぶ。 また、ライブの進行や、スタッフとのコミュニケーションも学び、お客様はもちろん、スタッフや共演者からも愛されるアーティストになるための人間力も学ぶ。アーティストとしての自我育成にも努めていく。						
到達目標	セルフプロデュースでライブを行えるアーティストを目指し、歌唱及びステージングの技術やアーティスト感性を持ったパフォーマーになれる。 学期末に音楽テクノロジー科協力のもと、ライブを行い、動員・内容共に成功を目指す。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アニソン文化の流れ、ガイダンス～授業の流れ、セルフプロデュースについて、選曲	選曲をした楽曲のINST音源・歌詞(2部)用意
2		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習 暗譜をしてくる
7		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 暗譜にてパフォーマンス	もらったアドバイスに対しての練習 衣裳を準備する
8		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 衣裳チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
9		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
10		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
11		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー アニソンゼミライブ RH	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習・本番に向けた準備
14		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー アニソンゼミライブ 本番	ライブを通じて、後期に向けた課題を探す
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
Keyboard、マイク、ポータブルスピーカー、iPad・持参音源、歌詞カード(2部用意)、筆記用具				

科目名	アニソンゼミ2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。歌唱指導30年						
授業の学習 内容	アニソンを文化ととらえ、これからどう歌っていくかを求められるかを追求し、アーティストとしての自分を研究し、各自選曲、ステージ上での歌唱(基本発声・音程・リズム・表現・ステージング等)をレクチャーする。 アーティストとしての自身の方向性を考えながら、ステージングや衣裳などセルフプロデュースも学ぶ。 また、ライブの進行や、スタッフとのコミュニケーションも学び、お客様はもちろん、スタッフや共演者からも愛されるアーティストになるための人間力も学ぶ。アーティストとしての自我育成にも努めていく。						
到達目標	セルフプロデュースでライブを行えるアーティストを目指し、歌唱及びステージングの技術やアーティスト感性をもったパフォーマーになれる。 学期末に音楽テクノロジー科協力のもと、ライブを行い、動員・内容共に成功を目指す。 卒業後に、いちアーティストとしてどう活躍していくかのビジョンが見えていと、尚良い。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アニソン文化の流れ、ガイダンス～授業の流れ、セルフプロデュースについて、選曲	選曲をした楽曲のINST音源・歌詞(2部)用意
2		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習 暗譜をしてくる
7		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 暗譜にてパフォーマンス	もらったアドバイスに対しての練習 衣裳を準備する
8		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 衣裳チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
9		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
10		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
11		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
12		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー アニソンゼミライブ RH	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習・本番に向けた準備
13		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー アニソンゼミライブ 本番	ライブを通じて、卒業後に向けた課題を探す
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
Keyboard、マイク、ポータブルスピーカー、iPad・持参音源、歌詞カード(2部用意)、筆記用具				

科目名	日本舞踊1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員: 宮内 梨紗
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	日本舞踊を通じて、伝統芸能、和服の所作を学ぶ。 役の年齢によつての着付け、所作の違いを学ぶ。 小曲「白扇」の振りを勉強し、日本舞踊の基本動作を学ぶ。					
到達目標	浴衣の着付けが、自身と他人、両方できるようになる。 古典舞踊、新舞踊を知ることが出来る。 和服でのスチール撮影、時代劇で生かせる所作を学ぶ事ができる。 男女問わず、男踊り・女踊りを経験することにより、男らしい・女らしい所作を身につけることが出来る。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	浴衣の着付け、たたみ方	浴衣をきれいに着れるようになる
2		講義・演習	浴衣の着付け、挨拶、摺り足	浴衣をスピーティーに着れるようになる
3		講義・演習	「白扇」1 舞扇の名称について	浴衣をスピーティーに着れるようになる 振りの練習
4		講義・演習	「白扇」2 扇子を使った所作	浴衣をスピーティーに着れるようになる 振りの練習
5		講義・演習	「白扇」3 浴衣着付けテスト	振りの練習
6		講義・演習	「白扇」4 前週の復習・男踊りの基本の足さばき	振りの練習
7		講義・演習	「白扇」5 前週の復習・基本に忠実に踊る	振りの練習
8		講義・演習	「白扇」6 前週の復習・反復練習	振りの練習
9		講義・演習	「白扇」7 前週の練習・細かな表現と基礎	振りの練習
10		講義・演習	「白扇」8 男踊り、女踊りについて	振りの練習
11		講義・演習	「白扇」テスト	動画をみて、自身の踊りを振り返る
12		講義・演習	新舞踊1 自分の表現とは	振りを練習してくる
13		講義・演習	新舞踊2 基礎を重視した個性について	所作の確認
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			自主練を行い、踊りを研鑽すること 日本舞踊などの日本の伝統芸能に触れていくこと	
【使用教科書・教材・参考書】				
(自分で用意)浴衣・帯・下着・足袋 (学校で用意)扇子				

科目名	日本舞踊2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 宮内 梨紗
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	日本舞踊を通じて、伝統芸能、和服の所作を学ぶ。 役の年齢によつての着付け、所作の違いを学ぶ。 小曲「白扇」の振りを勉強し、日本舞踊の基本動作を学ぶ。					
到達目標	浴衣の着付け、古典舞踊、新舞踊を知ることで自身の知識として扱えるようになる。 和服でのスチール撮影、時代劇で生かせる所作を学び、自身のスキルとして扱えるようになる。 男女問わず、男踊り・女踊りを経験することにより、男らしい・女らしい所作を身につけられるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「江戸まつり」1 前半部分振り入れ	浴衣をスピーティーに着れるようになる 振りの練習
2		講義・演習	「江戸まつり」2 後半部分振り入れ	浴衣をスピーティーに着れるようになる 振りの練習
3		講義・演習	「江戸まつり」3 全体を通して細かな確認	振りの練習
4		講義・演習	「江戸まつり」4 粋に踊る	振りの練習
5		講義・演習	「江戸まつり」5 間を感じて表現する	振りの練習
6		講義・演習	「江戸まつり」テスト	動画をみて、自身の踊りを振り返る
7		講義・演習	新舞踊「ソーラン鷗」1 女踊りの所作・振り入れ	振りを練習してくる
8		講義・演習	新舞踊「ソーラン鷗」2 表現を感じながら踊る	振りを練習してくる
9		講義・演習	新舞踊「ソーラン鷗」テスト	動画をみて、自身の踊りを振り返る
10		講義・演習	創作舞踊1 現代曲と日本舞踊	振りの練習
11		講義・演習	創作舞踊2 基本を重視した自分らしい表現について	振りの練習
12		講義・演習	創作舞踊3 1年を通じて踊った作品を披露する	
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	創作舞踊 発表	
準備学習 時間外学習			自主練を行い、踊りを研鑽すること 日本舞踊などの日本の伝統芸能に触れていくこと	
【使用教科書・教材・参考書】				
浴衣・帯・足袋・扇子				

科目名	司会・アナウンス1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾真実
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	96年東京コミュニケーションアート専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。その後、DJ、MC、ナレーター、TV、バラエティ、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動 女優18年						
授業の学習内容	声やトーク力を必要とする仕事全般(DJ・MC・レポート・ナレーションなど)に対応するテクニックやスキルを学ぶ						
到達目標	各種声やトーク力を必要とする案件に自信を持って取り組めるスキルを自主的に学びとれるようになり、自身のスキルとして身につけることが出来る。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業説明	
2		講義・演習	「アイテム紹介」3分フリートーク① トークの内容について学び、作成、披露する	課題に合わせたトークを考える
3		講義・演習	「アイテム紹介」3分フリートーク② 前週に考えた内容について、設定を付け披露する	課題に合わせたトークを考える
4		講義・演習	「商品紹介」3分フリートーク① 商品内容について調べ、原稿を作成、披露する	課題に合わせたトークを考える
5		講義・演習	「アイテム紹介」3分フリートーク② 前週に考えた内容について、設定を付け披露する	課題に合わせたトークを考える
6		講義・演習	「グループトーク」告知① トークの内容について学び、作成、披露する	課題に合わせたトークを考える
7		講義・演習	「グループトーク」告知② 前週に考えた内容について、設定を付け披露する	課題に合わせたトークを考える
8		講義・演習	「グループトーク」告知③ 前週の内容について、カメラ前でのグループトークを実施する	課題に合わせたトークを考える
9		講義・演習	「アナウンス」影アナウンス 原稿を配布、初見読み、原稿の読み方を学ぶ	原稿下読み
10		講義・演習	「アナウンス」ニュース原稿① 原稿を配布、初見読み	原稿下読み
11		講義・演習	「アナウンス」ニュース原稿② カメラ前での表現の仕方について学ぶ	原稿下読み
12		講義・演習	テーマに合わせたフリートーク3分(テスト)	トーク内容を考える
13		講義・演習	前期授業内容振り返り 後期に向けての個々の課題を知り、どうしたら活かせるかを考える	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布された原稿・筆記用具・タイムウォッチ				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	司会・アナウンス2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾真実
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	96年東京コミュニケーションアート専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。その後、DJ、MC、ナレーター、TV、バラエティ、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動 女優18年						
授業の学習内容	声やトーク力を必要とする仕事全般(DJ・MC・レポート・ナレーションなど)に対応するテクニックやスキルを学ぶ						
到達目標	各種声やトーク力を必要とする案件に自信を持って取り組めるスキルを自主的に学びとれるようになり、自身のスキルとして身につけることが出来る。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「レポート」地元紹介① 5分間のレポート内容の概要について	レポートする場所の下調べ
2		講義・演習	「レポート」地元紹介② 下調べしてきた内容を利用して2分間のレポートを披露	レポートする場所の資料集め・原稿作成
3		講義・演習	「レポート」地元紹介③ 作成した原稿を利用して5分間のレポートを披露	レポートする場所の資料集め・原稿作成
4		講義・演習	「レポート」地元紹介④ 原稿を利用してさらに内容の濃い5分間のレポートを披露	レポートする場所の資料集め・原稿作成
5		講義・演習	「インタビュー」① インタビューとは 5分間インタビューを実施する	インタビュー内容の作成
6		講義・演習	「インタビュー」② 準備してきたインタビュー内容の実践	インタビュー内容の作成
7		講義・演習	「MC」イベント① MCとは イベントにおけるMCの役割について	原稿下読み
8		講義・演習	「MC」イベント② 原稿内容をお客様に伝え、スムーズに進行することとは	原稿下読み
9		講義・演習	「MC」式典① MCとは 式典におけるMCの役割について	原稿下読み
10		講義・演習	「MC」式典② 原稿内容をお客様に伝え、スムーズに進行することとは	原稿下読み
11		講義・演習	「MC」式典③ イベントと式典におけるMCの違いについて	原稿下読み
12		講義・演習	イベントをイメージしたフリートークの実践(テスト)	トーク内容を考える
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	前期授業内容振り返り／卒業後現場に出るに当たり、個々の課題を知り、どうしたら活かせるかを考える	
準備学習 時間外学習			課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布された原稿・筆記用具・タイムウォッチ				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	ナレーション3	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長谷川歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優、演劇大学を経て声優・ナレーターとして活動。劇団主宰もしており演出、執筆経歴もあり。芸歴23年						
授業の学習 内容	正しい日本語を学び、ナレーション原稿を読むことで、原稿の意図や自己演出で試行錯誤する。CM、ラジオCM、バラエティ、ドキュメント、ニュース、吹き替え、朗読など多岐に渡るナレーションの模擬演習を行い、適性やチャレンジ精神を育みます。						
到達目標	正しい日本語の基礎、文章の読解力、演技力を用いて、自分の声質やパーソナリティを含んだ適性を掴めるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ナレーションとは何かのレクチャー、生徒の自己紹介など	自身の読みたい作品を2つ、次回提出
2		講義・演習	教材と生徒が選んできた作品を統合し、ナレーション演習	自身が選択した作品の読みこみ
3		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける① 発声滑舌に気を付けて読む	自身が選択した作品の読みこみ
4		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける② 他人のダメ出しを自分のものにする	自身が選択した作品の読みこみ
5		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける③ 強調する箇所とその効果	自身が選択した作品の読みこみ
6		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける④ 起承転結の表現について	自身が選択した作品の読みこみ
7		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑤ 作品の前後間を考える	自身が選択した作品の読みこみ
8		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑥ 他人の原稿を聞き、良い点を自分に反映させる	自身が選択した作品の読みこみ
9		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑦ 改めて発声滑舌について気を付けて発表をする	自身が選択した作品の読みこみ
10		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑧ タイトルの重要性	自身が選択した作品の読みこみ
11		講義・演習	演習、アドバイスを各々の課題に向かい、録音テスト① マイクワークを学ぶ	自身が選択した作品の読みこみ 録音した音源を聞いてみる
12		講義・演習	演習、アドバイスを各々の課題に向かい、録音テスト② マイクを通して演じられた自分のナレーションを客観的に判断	自身が選択した作品の読みこみ 録音した音源を視点を上げ聞いてみる
13		講義・演習	テストを経て、各生徒にレクチャーとヒアリングを行う	後期に向けた、自身の課題に気づく
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
指定されたナレーション原稿、朗読台本を用意すること				

科目名	ナレーション4	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長谷川歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優、演劇大学を経て声優・ナレーターとして活動。劇団主宰もしており演出、執筆経歴もあり。芸歴23年						
授業の学習 内容	正しい日本語を学び、ナレーション原稿を読むことで、原稿の意図や自己演出で試行錯誤する。CM、ラジオCM、バラエティ、ドキュメント、ニュース、吹き替え、朗読など多岐に渡るナレーションの模擬演習を行い、適性やチャレンジ精神を育みます。						
到達目標	正しい日本語の基礎、文章の読解力、演技力を用いて、自分の声質やパーソナリティを含んだ適性を掴めるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「架空のラジオCM」を作成するためエチュードを行う	題材についてヒアリング
2		講義・演習	エチュードを元に原稿作成① グループで話し合う	どんなCMにするか話し合う
3		講義・演習	エチュードを元に原稿作成② 話し合った内容の起承転結を考える	プロットを描く
4		講義・演習	エチュードを元に原稿作成③ 演じるキャラクターとナレーション部を考える	台本を完成させる
5		講義・演習	原稿を用いキャストし録音、演出指導。① 録音したCMを聞き、改良点を話し合う	収録音源を聞く
6		講義・演習	原稿を用いキャストし録音、演出指導。② 聞き手にわかりやすく伝わる表現について考える	収録音源を聞き、チームでディスカッション 収録に向けて準備をする
7		講義・演習	録音、編集① 編集されることを考えた収録について	収録に向けて準備をする
8		講義・演習	録音、編集② 短い時間で高いクオリティのCMを収録するためには	収録で感じたことを踏まえ、現在放送されているラ ジオCMを聞く
9		講義・演習	録音し編集した完成パッケージを視聴しヒアリング	聴いた音源に対して客観的に修正点を理解できる ようになる
10		講義・演習	映像に当てるナレーションの講義、題材紹介	映像とラジオCMの違いについて学び、実際 の映像を見、研究する
11		講義・演習	映画予告、ドキュメント、ニュース、バラエティなど演習① あらゆるナレーションにチャレンジ	状況に応じたナレーションの違いに気づく
12		講義・演習	映画予告、ドキュメント、ニュース、バラエティなど演習② 自分に適性の高いナレーションを知る	状況に応じたナレーションの違いに気づく
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	各ジャンルを演習しての総括、質疑応答など	自身の適正に気づき、2年生に向けチャレ ンジしたいジャンルを絞り込む
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
指定されたナレーション原稿、朗読台本を用意すること				

科目名	洋画ワークショップ1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松浦敏昭
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	レコーディングエンジニア及びPAエンジニア歴30年 ナレーター声優歴20年 DA講師歴8年						
授業の学習 内容	外国映画の吹き替えをスタジオで学習します。プロの現場では、役者が喋る英語の口動きに合わせて日本語のセリフを当てるという高度なテクニックをが要求されます。この授業では「タイタニック」や「ターミネーター」、「トイストーリー」などメジャーな作品を教材として使い、様々な吹き替えテクニックを身につけます。						
到達目標	台本の読解力を身につけ、キャラクターの設定ができるようにする。口の動きや役者の芝居に合わせた演技ができる。ナレーションブースでの2マイク、4マイクのフォーメーションを習得する。オンマイクとオフマイク、芝居の距離感をマスターする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「タイタニック」 その1 2マイク キャラクター設定	演技の復習 次回の台本読み
2		講義・演習	「タイタニック」 その2 2マイク オンマイクとオフマイク	演技の復習 次回の台本読み
3		講義・演習	「タイタニック」 その3 2マイク 演技力	演技の復習 次回の台本読み
4		講義・演習	「レゴシティー」 その1 2マイク キャラクター設定	演技の復習 次回の台本読み
5		講義・演習	「レゴシティー」 その2 4マイク マイクワーク	演技の復習 次回の台本読み
6		講義・演習	「レゴシティー」 その3 4マイク 芝居の距離感	演技の復習 次回の台本読み
7		講義・演習	「ターミネーター」 その1 2マイク キャラクター設定	演技の復習 次回の台本読み
8		講義・演習	「ターミネーター」 その2 2マイク オンマイクとオフマイク	演技の復習 次回の台本読み
9		講義・演習	「ターミネーター」 その3 2マイク 演技力	演技の復習 次回の台本読み
10		講義・演習	「サイドウェイ」 その1 2マイク キャラクター設定	演技の復習 次回の台本読み
11		講義・演習	「サイドウェイ」 その2 2マイク オンマイクとオフマイク	演技の復習 次回の台本読み
12		講義・演習	「サイドウェイ」 その3 2マイク テスト課題発表	演技の復習 テスト課題練習
13		講義・演習	期末テスト 前期授業のまとめ	試験内容復習
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表

準備学習 時間外学習

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	洋画ワークショップ1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松浦敏昭
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	レコーディングエンジニア及びPAエンジニア歴30年 ナレーター声優歴20年 DA講師歴8年						
授業の学習 内容	外国映画の吹き替えをスタジオで学習します。プロの現場では、役者が喋る英語の口動きに合わせて日本語のセリフを当てるという高度なテクニックが要求されます。この授業では「タイタニック」や「ターミネーター」、「トイストーリー」などメジャーな作品を教材として使い、様々な吹き替えテクニックを身につけます。						
到達目標	台本の読解力を身につけ、キャラクターの設定ができるようにする。口の動きや役者の芝居に合わせた演技ができる。ナレーションブースでの2マイク、4マイクのリコーデーションを習得する。オンマイクとオフマイク、芝居の距離感をマスターする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「バック・トゥー・ザ・フューチャー」 その1 2マイク キャラクター設定	演技の復習 次回の台本読み
2		講義・演習	「バック・トゥー・ザ・フューチャー」 その2 2マイク オンマイクとオフマイク	演技の復習 次回の台本読み
3		講義・演習	「バック・トゥー・ザ・フューチャー」 その3 2マイク 演技力	演技の復習 次回の台本読み
4		講義・演習	「ストレッチ・アームストロング」 その1 2マイク キャラクター設定	演技の復習 次回の台本読み
5		講義・演習	「ストレッチ・アームストロング」 その2 4マイク マイクワーク	演技の復習 次回の台本読み
6		講義・演習	「マトリクス」 その1 4マイク キャラクター設定	演技の復習 次回の台本読み
7		講義・演習	「マトリクス」 その2 2マイク キャラクター設定	演技の復習 次回の台本読み
8		講義・演習	「トイストーリー」 その1 2マイク オンマイクとオフマイク	演技の復習 次回の台本読み
9		講義・演習	「トイストーリー」 その2 2マイク 演技力	演技の復習 次回の台本読み
10		講義・演習	「トイストーリー」 その3 4マイク テスト課題発表	テスト課題 練習
11		講義・演習	期末テスト 前期授業のまとめ	試験内容復習
12		講義・演習	2年生のみ 自宅録音のプロセス	録音環境の復習
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクティング1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 大谷 章文
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	俳優として、自分の課題を見つけ、さらにそれに則したものを提案し、形にすることを学ぶ。「複数の人間で創る」演劇を通して、俳優の仕事をしていくために必要な動きを実践する。年間を通じ、成果物を最低2つと定め、それを創り上げることで、自主的な動きを身につける。					
到達目標	表現者として自分の課題を見つけ、解決に向かって提案することができる俳優になることを目標とし、揺れ続ける芸能界へ漕ぎ出しても、自分で発見・研鑽をし続け、多くの関係者の中で動ける表現者になることを目指す。受動的ではなく能動的な俳優を目指すことができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	残り1年間のをどう有意義に過ごしていくか考え、「目標を決定」すること、今の自分への課題を見つける	自身の課題を基に、クラスと発表するための課題を探す
2		講義・演習	課題を提案しあい、クラスで発表する内容を決める	決まった課題台本を作成、または用意する
3		講義・演習	発表のための稽古① 台本読み・台本への向き合い方を学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える
4		講義・演習	発表のための稽古② 立ち稽古・ダメ出しの捉え方を学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える
5		講義・演習	発表のための稽古③ 立ち稽古・他のキャストとのコミュニケーションを学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
6		講義・演習	発表のための稽古④ 通し稽古・全体を通じての作品の捉え方を学ぶ	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
7		講義・演習	発表のための稽古⑤ 通し稽古からのフィードバックを分析し演習	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
8		講義・演習	発表のための稽古⑥ フィードバックから得たものを元に研鑽稽古	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
9		講義・演習	発表のための稽古⑦ ここまで出てきた問題点のクリアの仕方を考える	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
10		講義・演習	発表のための稽古⑧ お客様に見せることを意識した作りを行う	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
11		講義・演習	発表のための稽古⑨ 最後の詰め稽古・自身の課題の解消のためのアクション	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	発表を通してのフィードバック 自身の目標に対しての達成度を考える	後期に向けた題材探し
14		講義・演習	次の課題を考え、話し合う 後期に取り組む作品を決定する	課題発表実施のための準備を行う 課題台本の用意、実施日程の確認等
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
自分たちで決定した台本を持参すること、適時衣裳と小道具の用意				

科目名	アクティング2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 大谷 章文
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	俳優として、自分の課題を見つけ、さらにそれに則したものを提案し、形にすることを学ぶ。「複数の人間で創る」演劇を通して、俳優の仕事をしていくために必要な動きを実践する。年間を通じ、成果物を最低2つと定め、それを創り上げることで、自主的な動きを身につける。					
到達目標	表現者として自分の課題を見つけ、解決に向かって提案することができる俳優になることを目標とし、揺れ続ける芸能界へ漕ぎ出しても、自分で発見・研鑽をし続け、多くの関係者の中で動ける表現者になることを目指す。受動的ではなく能動的な俳優を目指すことができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	卒業後、社会人として芸能界に足を踏み入れた後をイメージし、現在の自分から自分の課題を見つける	自身の課題を基に、クラスと発表するための課題を探す
2		講義・演習	課題を提案しあい、クラスで発表する内容を決める	決まった課題台本を作成、または用意する
3		講義・演習	発表のための稽古① 台本読み・台本への向き合い方を学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える
4		講義・演習	発表のための稽古② 立ち稽古・ダメ出しの捉え方を学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える
5		講義・演習	発表のための稽古③ 立ち稽古・他のキャストとのコミュニケーションを学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
6		講義・演習	発表のための稽古④ 通し稽古・全体を通じての作品の捉え方を学ぶ	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
7		講義・演習	発表のための稽古⑤ 通し稽古からのフィードバックを分析し演習	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
8		講義・演習	発表のための稽古⑥ フィードバックから得たものを元に研鑽稽古	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
9		講義・演習	発表のための稽古⑦ ここまで出てきた問題点のクリアの仕方を考える	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
10		講義・演習	発表のための稽古⑧ お客様に見せることを意識した作りを行う	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
11		講義・演習	発表のための稽古⑨ 現在の問題点の洗い出し(俳優として、大人として)	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
12		講義・演習	再度、卒業後、社会人として芸能界に足を踏み入れた後をイメージし、現在の自分から自分の課題を見つけなおす	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
13		講義・演習	発表のための稽古⑩ 最後の詰め稽古・自身の課題の解消のためのアクション	課題台本の読み込み、ミザンスを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
自分たちで決定した台本を持参すること、適時衣裳と小道具の用意				

科目名	演技1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	シェイクスピア=難しいという概念を崩せるように、シアターゲーム等の必要なウォーミングアップを行いつつ、「ロミオとジュリエット」で有名なバルコニーのシーンを演習します。シェイクスピア作品は当時の「大衆演劇」。なんでもありと行っていい。自分の言葉で生き生きと楽しめるよう、レッスンを行っていく。						
到達目標	与えられたセリフを「自分の言葉」のように、実感を持ってしゃべることができるようになる。その場で本当に「生きる」ことができるようになり、その上で、相手(共演者)との関係を成立させることができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	シェイクスピアの時代と作品の解説 テキスト読み合わせ	台本を読み、セリフを練習してくる
2		講義・演習	テキスト(ロミオとジュリエット)作品解説 台詞分割	台本を読み、セリフを練習してくる
3		講義・演習	台詞分割(ロミオ3人・ジュリエット6人)して読み 合わせ	台本を読み、セリフを練習してくる 自分の言葉になるように練習する
4		講義・演習	台詞分割(ロミオ3人・ジュリエット6人)して読み 合わせ/リラックスして自分の言葉で	台本を読み、セリフを練習してくる サブテキストを考え、まとめてくる
5		講義・演習	台詞分割(ロミオ3人・ジュリエット6人)して読み 合わせ/サブテキストを意識	台本を読み、セリフを練習してくる サブテキストを考え、さらに演技を深める
6		講義・演習	1対1でそれぞれで練習 相手との関係を成立させる	台本を読み、セリフを練習してくる 相手との自主練習も行うこと
7		講義・演習	1対1でそれぞれで演習し、チェック	台本を読み、セリフを練習してくる 相手との自主練習も行うこと
8		講義・演習	1対1でそれぞれで演習し、チェック	台本を読み、セリフを練習してくる 相手との自主練習も行うこと
9		講義・演習	1対1でそれぞれで演習し、チェック	台本を読み、セリフを練習してくる 相手との自主練習も行うこと
10		講義・演習	1対1でそれぞれで演習し、チェック	台本を読み、セリフを練習してくる 相手との自主練習も行うこと
11		講義・演習	1組ずつ発表 ※テスト・成績つける	発表の際の反省点を見つめ、さらに何が できるか、台本を読み、セリフ練習
12		講義・演習	1組ずつ発表	自主練
13		講義・演習	1組ずつ発表	自主練
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布された台本(シェイクスピア作「ロミオとジュリエット」ちくま文庫・松岡和子訳)				

科目名	アフレコワークショップ 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中山知佳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として14年間活動中。						
授業の学習 内容	アニメーションやゲーム、声優のマイク前でのアテレコ演習を行い、マイク前での演技や環境、マイクワークを体感する。 毎回異なる台本、アニメーションを使用し、実際にアフレコ演習を行う。 声優として必要な、収録現場での立ち振る舞いや好感度について学ぶ。						
到達目標	声優としての表現の探求、マイク前での発声を学ぶことができる。 そのためのトレーニングの指示。 自分が持っている声の性質、心の性質について発見し、自己研鑽ができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業の進め方、説明。オーディション 自分についてどれだけ理解し、表現できるか	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
2		講義・演習	オーディション作品のアフレコ演習 自己評価と他己評価について	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
3		講義・演習	アフレコ演習1 セリフ、マイクワークを理解し、台本を読解する	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
4		講義・演習	アフレコ演習2 スタジオマナー・演出に対しての態度など、基本的なマナーについて	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
5		講義・演習	アフレコ演習3 演出に対しての瞬発力を養う	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
6		講義・演習	アフレコ演習4 演出を理解して、瞬発力とともに対応する力を養う	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
7		講義・演習	アフレコ演習5 大人数でのアテレコ演習	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
8		講義・演習	アフレコ演習6 音響監督と声優	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
9		講義・演習	アフレコ演習7 演じ分けとマイクワーク	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
10		講義・演習	アフレコ演習8 台本を深く読み込む マイクワークを身につける	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
11		講義・演習	アフレコ演習9 実践を通じてマイク前での表現技法を覚える	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
12		講義・演習	アフレコ演習10 実践を通じて、アテレコ表現をさらに学ぶ	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
13		講義・演習	アフレコ演習11、振り返り、総括 ディレクションに対しての瞬発力を試す	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			プロ同様のスケジュール(1週間～2日)で原稿配布・キャストイングを発表。プロの現場と思って、各自予習と準備をすること	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本を各自用意(キャストイング発表と共に、教室へ自主的に取りに行く)				

科目名	アフレコワークショップ 2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中山知佳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として14年間活動中。						
授業の学習 内容	アニメーションやゲーム、声優のマイク前でのアフレコ演習を行い、マイク前での演技や環境、マイクワークを体感する。 毎回異なる台本、アニメーションを使用し、実際にアフレコ演習を行う。 声優として必要な、収録現場での立ち振る舞いや好感度について学ぶ。						
到達目標	声優としての表現の探求、マイク前での発声を学ぶことができる。 そのためのトレーニングの指示。 自分が持っている声の性質、心の性質について発見し、自己研鑽ができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アフレコ演習1 自分についてどれだけ理解し、表現できるか	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
2		講義・演習	アフレコ演習2 アフレコ関係者への立ち振る舞い(好感度について)	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
3		講義・演習	アフレコ演習3 自己評価と他己評価について	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
4		講義・演習	アフレコ演習4 演出に対する瞬発力と応用力	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
5		講義・演習	アフレコ演習5 自分が「演じられるキャラクター」と「演じたいキャラクター」の違い	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
6		講義・演習	アフレコ演習6 「演じられるキャラクター」を極める	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
7		講義・演習	アフレコ演習7 感情解放とマイクワーク	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
8		講義・演習	アフレコ演習8 音響監督と声優 共演者とのコミュニケーション	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
9		講義・演習	アフレコ演習9 作品について調べ上げ、セリフ一つ一つにこだわる	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
10		講義・演習	アフレコ演習10 視聴者を意識する	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
11		講義・演習	アフレコ演習11 間について考える	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	アフレコ演習12 声で共演者の芝居を感じる 壊す勇気と貫く勇気	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
15		講義・演習	アフレコ演習13 振り返り、総括	
準備学習 時間外学習			プロ同様のスケジュール(1週間～2日)で原稿配布・キャストイングを発表。プロの現場と違って、各自予習と準備をすること	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本を各自用意(キャストイング発表と共に、教室へ自主的に取りに行く)				

科目名	紙芝居3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中山知佳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として14年間活動中。						
授業の学習 内容	紙芝居の表現を通して、エンターテイナーとしての基礎を学ぶ。人前に出て表現をすることを学ぶ。						
到達目標	紙芝居を通して、声だけでなく全身を使って表現できるようになる。人前で表現をすることが出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	喜怒哀楽(感情コントロール)	次週課題について予習する
2		講義・演習	クイズ紙芝居、感情解放1 元気よく演じる	老若男女のお客様に親しんでもらうための表現を考え練習する
3		講義・演習	クイズ紙芝居、感情解放2 キャラの使い分けを実践する	老若男女のお客様に親しんでもらうための表現を考え練習する
4		講義・演習	グループ紙芝居① 担当割を決め、子供たちに伝わるトーンで演じる	課題練習
5		講義・演習	グループ紙芝居② 身体を使って表現すること、自由な発想について	課題練習
6		講義・演習	グループ紙芝居③ チームでテーマを決め、共有する	課題練習・アイデアを盛り込む
7		講義・演習	グループ紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団/倉嶋らむね)	ディレクションを受け、改善してみる
8		講義・演習	一人で紙芝居① ナレーション部分とセリフ部分の使い分け	課題練習
9		講義・演習	一人で紙芝居② 表現を「発散」すること	課題練習
10		講義・演習	一人で紙芝居③ 自分も楽しく、お客さんも楽しく	課題練習・アイデアを盛り込む
11		講義・演習	一人で紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団/倉嶋らむね)	ディレクションを受け、改善してみる
12		講義・演習	一人で紙芝居④ 発表 クラスメイトの発表を聞き、いいところを盗む	課題練習
13		講義・演習	一人で紙芝居⑤ 発表 振り返り、総括	ディレクションを受け、改善してみる
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			幼稚園・児童館等へ実習に行く可能性があります	
【使用教科書・教材・参考書】				
課題原稿、メモ、筆記用具				

科目名	ミュージカルゼミ1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	瀬戸香 織
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	玉川大学文学部芸術学科芸術表現演劇コース卒業。2003年～2010年まで、ワイドアートの専門家として、全国各地のミュージカル事業に携わる他、演出、演出助手、文芸助手、舞台俳優、MCとして活動。2011年～現在に至るまで東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校の常勤スタッフとして勤務。						
授業の学習 内容	歌・ダンス・演技を組み合わせたミュージカルの演技法を学ぶ。 ミュージカル唱法・シアターダンス・演技を総合的に学ぶ。						
到達目標	ミュージカルの演技術を学び、卒業後にミュージカル業界で活躍できるレベルの歌・ダンス・演技のスキルを身に付けられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ミュージカルのため表現する身体 1 呼吸を中心にトレーニング法	ボディートレーニングの復習
2		講義・演習	ミュージカルのため表現する身体 2 ダンスを中心にトレーニング法	ボディートレーニングの復習
3		講義・演習	発声・呼吸法 1 繰り返しできる方法について・自己トレーニングの方法	発声・呼吸法の復習
4		講義・演習	発声・呼吸法 2 自己トレーニングの見直し	発声・呼吸法の復習
5		講義・演習	ミュージカル唱法 1 音階とリズム	課題曲の復習
6		講義・演習	ミュージカル唱法 2 感情をこめて歌うということ	課題曲の復習
7		講義・演習	課題曲の振り入れ 1 作品の決定・構成・配役について	課題曲の復習
8		講義・演習	課題曲の振り入れ 2 振付の細かな確認・表現について	課題曲の復習
9		講義・演習	課題曲の振り入れ 3 ミザンスをとる	課題曲の復習
10		講義・演習	課題曲の振り入れ 4 フォーメーションについて	課題曲の復習
11		講義・演習	アンサンブル 1 共演者とのコミュニケーション	定期テストに向けて
12		講義・演習	アンサンブル 2 作品を完成させる	定期テストに向けて
13		講義・演習	定期テスト 練習してきた課題曲の発表・評価・後期に向けての課題	定期テスト振り返り
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表

準備学習 時間外学習

腹式呼吸。滑舌練習。

【使用教科書・教材・参考書】

配布台本・楽譜・筆記用具・動きやすい服装と役に合った仮衣裳(ロングスカート等)

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	ミュージカルゼミ2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	瀬戸香 織
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	玉川大学文学部芸術学科芸術表現演劇コース卒業。2003年～2010年まで、ワイドアートの専門家として、全国各地のミュージカル事業に携わる他、演出、演出助手、文芸助手、舞台俳優、MCとして活動。2011年～現在に至るまで東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校の常勤スタッフとして勤務。						
授業の学習 内容	歌・ダンス・演技を組み合わせたミュージカルの演技法を学ぶ。 ミュージカル唱法・シアターダンス・演技を総合的に学ぶ。						
到達目標	ミュージカルの演技術を学び、卒業後にミュージカル業界で活躍できるレベルの歌・ダンス・演技のスキルを身に付けられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	実技公開試験(発表会)に向けて 課題発表	実技公開試験に向けての自主課題
2	10月11日	講義・演習	課題曲 歌唱 発声法から見直す	実技公開試験に向けての自主課題
3	10月18日	講義・演習	課題曲 ダンス フォーメーション・ミザンスについて、全員で考える	実技公開試験に向けての自主課題
4	10月25日	講義・演習	実技公開試験に向けてのオーデション	実技公開試験に向けての自主課題
5	11月8日	講義・演習	実技公開試験 キャスト発表 リハーサル開始	実技公開試験に向けての自主課題
6	11月15日	講義・演習	実技公開試験 リハーサル 1 配役に応じたキャラクターづくり	実技公開試験に向けての自主課題
7	11月22日	講義・演習	実技公開試験 リハーサル 2 キャラクターをダンス・歌・演技に反映させる	実技公開試験に向けての自主課題
8	11月29日	講義・演習	実技公開試験 リハーサル 3 お客様の視点を踏まえたブラッシュアップをする	実技公開試験に向けての自主課題
9	12月6日	講義・演習	実技公開試験 リハーサル 4 自分の配役の責任・相手から発信されることを受け取る	実技公開試験に向けての自主課題
10	12月13日	講義・演習	実技公開試験 リハーサル 5 稽古場での立ち振る舞いやキャスト同士の相乗効果について	実技公開試験に向けての自主課題
11	12月20日	講義・演習	実技公開試験 ドレスリハーサル 衣装・小道具の取り扱い	実技公開試験に向けての自主課題
12	1月10日	講義・演習	実技公開試験 通リリハーサル 衣装・メイク・小道具・照明・音響・共演者・お客さんを考えたリハーサル	実技公開試験に向けての自主課題
13	1月17日	講義・演習	実技公開試験(発表会)と復習	実技公開試験に向けての自主課題
14	1月24日	講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15	2月7日	講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表

準備学習 時間外学習

腹式呼吸。滑舌練習。

【使用教科書・教材・参考書】

配布台本・楽譜・筆記用具・動きやすい服装と役に合った仮衣装(ロングスカート等)

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校